

2024年度（令和6年度）

事業報告書

社会福祉法人 手稲ロータス会

目 次

社会福祉法人 手稲ロータス会

手稲ロータス会の理念	2
中期経営（前期）計画（2022～2024 年度）の取組内容	4
1. 法人の運営	
(1) 法人の開設	6
(2) 寄付金品の状況	6
(3) 理事会 2024 年度 理事会開催状況	7
(4) 評議員会 2024 年度 開催状況	7
(5) 監査及び外部評価	8
(6) 研修実施状況	11

手稲ロータス会 法人本部事務局

1. 重点推進課題の実施報告	16
----------------------	----

特養手稲

1. 重点推進課題の実施報告	20
2. 事業運営	
(1) 施設の開設	22
(2) 施設職員の配置状況	22
(3) 行事实施状況	23
(4) 利用者の状況	24
(5) 苦情受付件数と主な内容	27
(6) 介護事故件数	27
(7) 慰問・ボランティア状況	28
(8) 実習生受入れ状況	28
(9) 地域における公益的な取組	28

手稲ロータス 指定居宅介護支援事業所

1. 重点推進課題の実施報告	30
2. 事業運営	
(1) 事業所の開設	33
(2) 施設職員の配置状況	33
(3) 居宅介護支援事業所 相談実件数及び相談内容	34
(4) 介護度別 居宅介護サービス計画作成状況	34
(5) 苦情受付件数と主な内容	34
(6) 介護事故件数	34
(7) 地域における公益的な取組	34

老健手稲

1. 重点推進課題の実施報告	
(1) 老人保健施設 手稲あんじゅ	37
(2) 手稲あんじゅ（介護予防）通所リハビリテーション事業所	41

(3) 手稲あんじゅ（介護予防）訪問リハビリテーション事業所	43
--------------------------------------	----

2. 事業運営

(1) 施設の開設	44
(2) 施設職員の配置状況	44
(3) 行事实施状況	45
(4) 利用者の状況	46
(5) 苦情受付件数と主な内容	49
(6) 介護事故件数	49
(7) 慰問・ボランティア状況	50
(8) 実習生受入れ状況	50
(9) 地域における公益的な取組	50

在宅手稲

(介護予防) 認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう

1. 重点推進課題の実施報告	53
2. 事業運営	
(1) 施設の開設	54
(2) 施設職員の配置状況	54
(3) 行事实施状況	55
(4) 利用者の状況	56
(5) 苦情受付件数と主な内容	58
(6) 介護事故件数	58
(7) 慰問・ボランティア状況	58
(8) 地域における公益的な取組	58

手稲ゆうゆう 通所介護事業所

1. 重点推進課題の実施報告	60
2. 事業運営	
(1) 施設の開設	62
(2) 施設職員の配置状況	62
(3) 行事实施状況	63
(4) 利用者の状況	64
(5) 苦情受付件数と主な内容	64
(6) 介護事故件数	64
(7) 慰問・ボランティア状況	65
(8) 実習生受入れ状況	65
(9) 地域における公益的な取組	65

手稲ゆうゆう 指定居宅介護支援事業所

1. 重点推進課題の実施報告	67
2. 事業運営	
(1) 事業所の開設	69
(2) 施設職員の配置状況	69
(3) 居宅介護支援事業所 相談実件数及び相談内容	70
(4) 介護度別 居宅介護サービス計画作成状況	70
(5) 苦情受付件数と主な内容	70

(6) 介護事故件数	70
(7) 地域における公益的な取組	70
手稲ゆうゆう 訪問介護事業所・札幌市指定相当訪問型サービス事業所・ 小樽市指定相当型サービス事業所・指定居宅介護事業所	
1. 重点推進課題の実施報告	72
2. 事業運営	
(1) 事業所の開設	73
(2) 施設職員の配置状況	73
(3) 訪問介護事業 訪問時間数	74
(4) 苦情受付件数と主な内容	75
(5) 介護事故件数	75
手稲ゆうゆう 札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置	
1. 重点推進課題の実施報告	77
2. 事業運営	
(1) センターの開設	79
(2) 施設職員の配置状況	79
(3) 介護予防センター相談実施数及び相談内容	80
(4) 介護予防事業実施回数及び参加人数	80
(5) 苦情受付件数と主な内容	80
(6) 介護事故件数	80
(7) 地域における公益的な取組	80

特養音更

1. 重点推進課題の実施報告	
(1) 介護老人福祉施設 ロータス音更	83
(2) ロータス音更（介護予防）通所介護事業所 認知症対応型通所介護事業所	85
2. 事業運営	
(1) 施設の開設	87
(2) 施設職員の配置状況	87
(3) 行事实施状況	88
(4) 利用者の状況	90
(5) 苦情受付件数と主な内容	93
(6) 介護事故件数	93
(7) 慰問・ボランティア状況	94
(8) 実習生受入れ状況	94
(9) 地域における公益的な取組	94
音更町地域包括支援センター ロータス音更	
1. 重点推進課題の実施報告	96
2. 事業運営	
(1) 施設の開設	98
(2) 施設職員の配置状況	98
(3) 利用者状況（介護給付実績 ケアマネジメントA）	99
(4) 利用者状況（音更町通所型介護予防事業 ケアマネジメントB）	99
(5) 相談件数・内訳	100

(6) 訪問件数・内訳	102
(7) 認定調査件数	102
(8) 地域活動	103

あんじゅ音更 指定居宅介護支援事業所

1. 重点推進課題の実施報告	107
2. 事業運営	
(1) 事業所の開設	108
(2) 施設職員の配置状況	108
(3) 居宅介護支援事業所 相談日件数及び相談内容	109
(4) 介護度別 居宅介護サービス計画作成状況	109
(5) 苦情受付件数と主な内容	109
(6) 介護事故件数	109
(7) 地域における公益的な取組	109

老健音更

1. 重点推進課題の実施報告	
(1) 老人保健施設 あんじゅ音更	112
(2) あんじゅ音更（介護予防）通所リハビリテーション事業所	114
(3) あんじゅ音更（介護予防）訪問リハビリテーション事業所	116
2. 事業運営	
(1) 施設の開設	118
(2) 施設職員の配置状況	118
(3) 行事实施状況	119
(4) 利用者の状況	121
(5) 苦情受付件数と主な内容	124
(6) 介護事故件数	125
(7) 慰問・ボランティア状況	125
(8) 実習生受入れ状況	125
(9) 地域における公益的な取組	125

社会福祉法人 手稲ロータス会

社会福祉法人「手稲ロータス会」の理念

「手稲ロータス会」は4つの笑顔を大切にします

利用者様の笑顔、ご家族の笑顔、地域の皆様の笑顔、そして私たち職員の
笑顔です

清浄な花を咲かせる「ロータス(蓮)」の名にふさわしい、明るい笑顔とこま
やかな思いやりに満ちた介護事業を目指します

基本方針

○利用者様の笑顔のために

- ・一人ひとりの尊厳を大切にし、地域の中で自立した生活を目指します
- ・安全で安心できる良好な生活療養環境の実現を目指します

○ご家族の笑顔のために

- ・ご家族とご利用者様のコミュニケーションが保たれ、交流が深まるように努めます
- ・ご家族の介護負担の軽減が図られるように支援します

○地域の皆様の笑顔のために

- ・介護予防の知識や介護への意識の普及啓発に努めます
- ・地域の皆様との交流、ボランティアの受入、施設開放等に努め地域と共に歩みます
- ・地域の関係機関、事業所と連携協働し、地域と一体になったケアを担います
- ・環境にやさしい施設運営を目指します

○職員の笑顔のために

- ・意欲を持って、安心して働ける職場環境を目指します
- ・職員それぞれの職務の専門性向上のために支援します

3 経営方針

手稲ロータス会は、国連が採択した「持続可能な開発目標 SDGs」に賛同し、「だれ一人取り残さない持続可能な地域社会の実現」を目指し、法人の理念である「4 つの笑顔」を基に、社会福祉法人としての役割を果たします。

利用者様へのサービス向上を基本に、環境変化に対応し、長期的な視点からの確な目標を定めて事業運営を行い、安定した運営を目指します。また、関係者や職員の意見を尊重し、透明性の高いコンプライアンスを意識した運営を確立し、法人の存在価値を高め、社会に貢献します。

すべての役職員は謙虚な心と協調性を持ち、エンパワーメントを意識した業務を行い、法人にかかわるすべての人を「笑顔」にすることを目指して自己研鑽に努めます。

4 職員行動指針

就業規程(サービスの基本原則・サービスの心得)及び業務管理体制整備規程(職員の行動範囲)の他、以下の指針を定めます。

- (1) 私たちは、利用者様とご家族の思いやニーズをくみとる感性を大切にし、明るい笑顔とこまやかな思いやりに満ちた最高のサービスを提供します。
- (2) 私たちは、介護のプロとして、個人の尊厳と自己決定・自立を基本としたサービスの向上と個別ケアに取り組み、創意工夫を重ねます。
- (3) 私たちは、それぞれの地域の特性・実情に応じた各種事業・サービスを提供し、連携・交流など地域と共に歩んで、皆様から信頼される取り組みを進めます。
- (4) 私たちは、職種や役職を問わず職場の仲間として常にお互いに尊重し、コミュニケーションの充実とチームワークを高めるよう努めます。
- (5) 私たちは、それぞれの職種と役職に応じた能力を身に付け高めるために必要な研修に参加し、能力開発や資格取得に努めます。
- (6) 私たちは、自分たちの働きがどのように収支に反映するかを知って、効果的な予算の編成や執行に努めます。
- (7) 私たちは、地域の一員として、手稲ロータス会の各種情報をあらゆる機会を捉えてタイムリーにわかりやすく伝えます。

中期経営(前期)計画(2022～2024 年度)の取組内容

各事業所における重点推進課題は以下の(1)～(8)の取組内容に沿って作成しております。

(1) 入居(利用)者様の笑顔をつくる環境づくり

- ・ 入居(利用)者様が「安全・安心」に生活できるよう環境を整えます。
- ・ 入居(利用)者様が持っている能力を十分に発揮して頂くとともに、持ち続けられるよう専門職が共同で支援します。
- ・ 入居(利用)者様の自己の選択や決定を尊重し、個人の尊厳を守れる支援を行います。
- ・ 入居(利用)者様の自立を維持できるよう支援を行います。
- ・ 入居(利用)者様に対しケアマネジメントプロセスと利用者中心を意識したケアプランを作成し内容の充実を図ります。

(2) ご家族に安心・満足していただける環境づくり

- ・ 入居(利用)者様の日常生活の様子(通所利用時の様子)や体調等の情報をお伝えし、共有することでより良いサービスにつなげ、また、ご家族に安心していただきます。
- ・ 入居(利用)者様とご家族の生活時間を有意義なものとなるよう支援します。
- ・ ご家族のご意向(ニーズ)を把握し、ケアプラン等に反映、ケアマネジメントのプロセス(PDCA サイクル)を意識した支援を行います。
- ・ 施設や事業所等の運営についてご理解、ご支援いただくため、活動情報を伝えます。

(3) 地域の皆様から信頼される環境づくり

- ・ 施設の地域交流スペースや会議室等を地域活動等に利用していただくなど、施設開放を促進します。
- ・ 地域の皆様との交流機会を積極的に企画します。
- ・ 地域の皆様を対象に、専門的知識を持つ専門職による介護予防、健康づくり等の知識や意識の普及啓発を行うなど、公益的な取組みを進めます。
- ・ 地域ボランティアの受入れを促進します。

(4) 職員が働き続けられる職場づくり

- ・ 職員のスキルアップ(専門性向上)やキャリアパスの検討など職員研修の充実を図ります。
- ・ ICT 化やロボットの導入等を進めることで、業務の効率化を図ります。また、職員の健康管理(腰痛防止やストレス抑制)を促進します。
- ・ 仲間や上司から必要とされていると感じられ働き甲斐がある職場づくりを目指し、職員相互のコミュニケーションづくり(良好な人間関係を構築し、チーム力を向上)を促進します。
- ・ 職員の意見や発想を大切に、有意義なものは具現化していきます。
- ・ 適正な人事評価と給与体系を構築するために見直しなどを行っていきます。

(5) 法人の財政基盤の健全化に向けて

- ・ 主体性のある事業運営を推進するため、現状把握に努め自施設の強みと弱みを知り、これから来る未来について情報を収集(常に勉強)し、課題を分析して具体的な対策を講じます。その結果、目標稼働率を達成させ、収入の増加を目指します。
- ・ 経費については、収益を生むための経費と収益を生まないランニングコストとしての経費に分けて考えます。収益を生むための経費については積極的に使いながら、収益を生まない経費であるランニングコストは抑制に努めます。

(6) 組織体制・運営の在り方検討に向けて

- ・ 組織体制について、本部事務局と事業所の業務分担の見直しも含めた検討を行います。
- ・ 各施設の運営に関して、権限と責任の明確化や責任ある事業運営に当たれる体制づくりのほか、年功序列を意識せず能力に応じた適材適所の異動・登用を進めます。
- ・ 法人・事業所の基本情報を発信するホームページの積極的な運用、及び日常の情報発信するための SNS 等各種ソーシャルメディアの活用方法について検討し取り組みます。
- ・ 感染症・自然災害 BCP(業務継続計画)を策定し、職員への周知を徹底するとともに、地域との連携・協働を進めます。

(7) 職員の確保・育成に向けて

- ・ 介護人材の確保に向けて、一人ひとりの職員を尊重し、仕事の達成感を感じられる職場づくりを行います。
- ・ 職員の職場定着(離職防止)を目指し、仲間や上司から必要とされていると感じられ、かつ目標の達成を実感できる職場づくりを行っていきます。
- ・ 職員の定年制度の延長及び役職の定年制導入の検討を行います。
- ・ 1年間に複数回の接遇・マナーの研修を実施します。
- ・ 職員との面談や個別指導等を実施します。
- ・ 職員のスキルアップのため積極的に内部・外部の研修会に参加させます。
- ・ 幹部職員及び幹部候補者の計画的な教育・育成に努めます。
- ・ 介護従事者の雇用環境が厳しくなっていることから、職員数の安定に資する為にも外国人労働者の受け入れに関する他の法人の実情や課題を調査・検討を行います。

(8) 新規事業

- ・ 札幌旧特養施設建物取り壊し
2024年度までの資金収支見通し及び課税動向に基づき実施時期を判断します。
- ・ 音更在宅部門施設建設
地域包括支援センターの移転を含めた事業部門などの検討を進め、2024年度までの資金収支見通し及び地域ニーズ等事業環境に基づき実施時期を判断します。
- ・ ICTの活用
新規システムの導入や既存システムの更新・改修の際には、既存の各事業所の多様なシステムとの統合、連動・整合性の確保を第一に企画実施することとし、事業所ごとではなく法人全体で方向性を定めて取り組みを進めます。

1. 法人の運営

(1) 法人の開設

多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、昭和 63 年 6 月 23 日に社会福祉法人を設立した。

概要は、次のとおり

法人名称	社会福祉法人 手稲ロータス会
法人所在地	札幌市手稲区稲穂 5 条 2 丁目 6 番 5 号
事業内容	社会福祉事業 第一種社会福祉事業 特別養護老人ホーム 第二種社会福祉事業 老人デイサービス事業・老人短期入所事業・生活困難者に対して、無料又は低額な費用で介護保険法に規定する介護老人保健施設を利用させる事業・老人居宅介護等事業・障害福祉サービス事業・認知症対応型共同生活介護事業・移動支援事業 公益を目的とする事業 居宅介護支援事業・札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置の事業
職員数	424 名（正職員:278 名、契約職員:16 名、パート職員:130 名）2024. 3. 31 現在

(2) 寄付金品の状況

寄付金件数	2 件	寄付金総額	230,000 円
-------	-----	-------	-----------

物品名	数量
電動ベッド	1 台
シャワーチェア	2 台
ヨーグルト	多数
野菜・果物など	多数
紙パンツ・パッド	多数
タオル・ウエス	多数
車椅子	数台
レクリエーション用材料（囲碁版・書籍など）	多数

(3) 理事会 2024年度 開催状況

開催年月日	出席理事数 (定数9人)	出席監事数 (定数2人)	議 題
第1回 2024.6.13	8人	2人	1 2023年度 決算の承認 2 定款の変更 3 諸規程の改正 4 手稲ロータスに係る給食業務委託契約 5 手稲あんじゅに係る給食業務委託契約 6 手稲あんじゅに係るLED照明機器の交換工事契約 7 あんじゅ音更に係る介護用ベッドのリース契約 8 手稲ゆうゆうに係る浴室及びキッチン改修工事契約 9 定時評議員会の招集
第2回 2024.9.27	8人	2人	1 諸規程の改正 2 臨時評議員会の招集
第3回 2024.11.29	9人	2人	1 2024年度 第一次補正予算(案) 2 非常勤職員就業規程の一部改正 3 奨学金貸与規程の制定 4 特養音更における車両の購入契約 5 特養音更における特殊浴槽の購入契約 6 在宅手稲・法人本部及び老健手稲における電話設備の更新契約 7 在宅手稲における渡り廊下屋根の補修工事契約
第4回 2024.3.28	8人	2人	1 2024年度 第二次補正予算 2 2025年度 事業計画 3 2025年度 事業予算 4 中期経営計画(後期) 5 役員等賠償責任保険の契約 6 評議員選任・解任委員の選任 7 評議員選任・解任委員会の招集と議案の提案 8 諸規程の改正

(4) 評議員会 2024年度 開催状況

開催年月日	出席評議員数 (定数10人)	出席監事数 (定数2人)	議 題
定 時 2024.6.27	7人	2人	1 2023年度 計算書類及び財産目録の承認 2 定款の変更
臨 時 2024.11.29	8人	2人	報告事項のみ

(5) 監査及び外部評価

ア 法人監事による監査

監査年月日	実施監査員	監査項目	指摘事項
2024. 5. 28	加賀 三千博 原子 茂樹	1 事業報告等の監査	指摘事項なし
		2 計算関係書類及び財産目録の監査	指摘事項なし
		その他の意見	介護事故総件数が昨年より増えていることを踏まえ、介護事故削減に向け職員の質の向上に努めるとともに、2023年度の退職者は職員総数の15%にもなることから、魅力ある職場づくりと職員の定着により力を入れていただきたい。
2024. 9. 11	加賀 三千博 原子 茂樹	1 2024年度 第一四半期までの収支状況	指摘事項なし
		2 2024年度 第一四半期分監査・実地指導及び事故・苦情の報告	指摘事項なし
		その他の意見	今後の経営方針などを役員全体で確認するためにも、役員向けの研修及び親睦を図る機会を検討していただきたい。 各事業所の運営規程にハラスメント防止に関わる条文を記載していただき、研修も実施していただきたい。
2024. 11. 15	加賀 三千博 原子 茂樹	1 2024年度上半期収支状況	指摘事項なし
		2 2024年度 第二四半期分監査・実地指導及び事故・苦情の報告	指摘事項なし
		3 2024年度 上半期の事業実施状況について その他の意見	事業収入が堅調に推移し、上半期の収支状況は近年において良好である。下期においても引き続き入所率の維持・向上と経費の削減に努め、中期経営計画(前期)の財務目標を是非達成していただきたい。 事業計画においては、事業計画評価表の「今後の取組予定」に記載されていることを実行して更に成果を出して頂きたい。
2024. 03. 13	加賀 三千博 原子 茂樹	1 2024年度上半期収支状況	指導事項なし
		2 2024年度 第三四半期分監査・実地指導及び事故・苦情の報告	指摘事項なし
		その他の意見	在宅手稲の減収については、年度毎に対応は施されたと思われるが、改めて対策を講ずるべく検討を行っていただきたい。

			<p>4月から12月までの行政への事故報告件数は前年比29件増加している。(今年度99件、前年度70件) 誤薬32.3%、転倒・転落23.2%の割合が依然と高い状況にある。ヒューマンエラーが多く、第三四半期においても、もう少し注意・確認することにより未然に防げる事故が見受けられる。改めて組織横断的に削減への取組と基礎体力を強化していただきたい。</p>
--	--	--	---

イ 社会福祉法人に関する監査……………実施なし

ウ 社会福祉施設等に関する監査

年月日	実施機関名	監査項目	指摘事項
2024.10.24	北海道十勝総合振興局 保健環境部 社会福祉課	・介護老人福祉施設ロータス音更に対する一般監査	特になし

エ 介護保険施設等に関する実地指導

監査年月日	実施機関名	監査対象・監査項目	指摘事項・結果
2024.6.4	札幌市 介護保険課	認知症対応型共同生活介護事業所 手稲ゆうゆうに対する運営指導	<p>指定認知症対応型共同生活介護事業者は、共同生活住居ごとに、虐待防止のための措置に関する規程を定めておかなければならないが、当該事業所において虐待防止のための措置に関する事項について、虐待防止のための措置を講じていることは確認できたが、運営規程に記載がなかった。</p> <p>虐待防止のための措置に関する事項について、運営規程に記載すること。</p> <p>⇒2024.7.1 虐待防止のための措置に関する規程を、運営規程に記載した。</p>
2024.10.24	北海道十勝総合振興局 保健環境部 社会福祉課	介護老人福祉施設ロータス音更に対する運営指導 ・ロータス音更通所介護事業所に対する運営指導	特になし

2025.2.27	札幌市 介護保険課	手稲ゆうゆう通所介護事業所 (通所介護・第1号通所事業) に対 する運勢指導	特になし
-----------	--------------	--	------

オ 事業所に関する実地指導……………実施なし

(6) 研修実施状況

ア 施設内研修(手稲ロータス)

実施日	内 容	対 象 者	講 師 等	参加人数
4月20日	感染症の予防及びまん延防止に関する研修①(Web研修)	手稲ロータス全職員	Webにて実施	35名
5月22日	腰痛予防に関する研修	手稲ロータス全職員	Webにて実施	52名
5月28日	事故発生又は再発防止に関する研修②(Web研修)	手稲ロータス全職員	Webにて実施	44名
7月1日	食中毒の予防に関する研修(Web研修)	手稲ロータス全職員	Webにて実施	41名
7月24日	看取り介護に関する研修(Web研修)	手稲ロータス全職員	Webにて実施	41名
8月15日	高齢者虐待防止及び身体的拘束廃止に関する研修①(Web研修)	手稲ロータス全職員	Webにて実施	46名
9月10日	BCPIに基づく感染症の予防及びまん延防止に関する研修	手稲ロータス全職員	Webにて実施	45名
10月9日	ハラスメント防止・コンプライアンス(法令遵守)	手稲ロータス全職員	(有)オフィスブレイン代表取締役 佐々木厚史氏	36名
10月15日	事故発生又は再発防止に関する研修②(Web研修)	手稲ロータス全職員	Webにて実施	46名
11月26日	緊急時の対応に関する研修	手稲ロータス全職員	手稲消防署稲穂出張所の消防士と消防団	23名
12月16日	BCPIに基づく自然災害時に対応に関する研修	手稲ロータス全職員	Webにて実施	56名
1月20日	褥瘡予防に関する研修	手稲ロータス全職員	Webにて実施	57名
2月10日	高齢者虐待防止及び身体的拘束廃止に関する研修②(Web研修)	手稲ロータス全職員	Webにて実施	62名
3月25日	認知症に関する研修	手稲ロータス全職員	社会福祉法人溪仁会 地域密着型サービス担当課長 木村むつみ氏	20名
合 計				604名

イ 施設内研修(手稲ロータス居宅)

実施日	内 容	対 象 者	講 師 等	参加人数
4月20日	感染症に関する研修	介護支援専門員	Webにて実施	3名
5月28日	事故防止に関する研修	介護支援専門員	Webにて実施	3名
7月1日	認知症ケアに関する研修	介護支援専門員	Webにて実施	3名
8月15日	虐待防止及び身体的拘束廃止に関する研修	介護支援専門員	Webにて実施	3名
9月10日	BCPIに基づく感染症の予防及びまん延防止に関する研修	介護支援専門員	Webにて実施	2名
10月9日	ハラスメント防止・コンプライアンス(法令遵守)	介護支援専門員	(有)オフィスブレイン代表取締役 佐々木厚史氏	3名
11月8日	非常災害時の対応に関する研修(自衛消防訓練)	介護支援専門員	Webにて実施	3名
11月13日	事故発生(又は再発防止)に関する研修	介護支援専門員	Webにて実施	3名
11月22日	倫理及び法令遵守のための研修	介護支援専門員	Webにて実施	3名
11月26日	事故発生又は再発防止に関する研修	介護支援専門員	札幌市手稲消防署稲穂出張所消防士	3名
12月16日	BCPIに基づく自然災害時に対応に関する研修	介護支援専門員	Webにて実施	3名
1月20日	認知症に関する研修	介護支援専門員	Webにて実施	3名
1月20日	褥瘡予防に関する研修	介護支援専門員	Webにて実施	3名
2月10日	高齢者虐待防止及び身体的拘束廃止に関する研修	介護支援専門員	Webにて実施	3名
3月25日	認知症に関する研修	介護支援専門員	手稲溪仁会デイサービス織彩 管理者 木村むつみ氏	2名
合 計				43名

ウ 施設内研修(手稲あんじゅ)

実施日	内 容	対 象 者	講 師 等	参加人数
4月16日	感染症の予防及びまん延防止に関する研修①	各専門職	ジョブモデルアカデミー(オンライン動画研修サービス)	55名
5月18日	事故発生又は再発防止に関する研修①	各専門職	ジョブモデルアカデミー(オンライン動画研修サービス)	53名
6月20日	食中毒の予防に関する研修	各専門職	ジョブモデルアカデミー(オンライン動画研修サービス)	56名
7月1日	緊急時の対応(夜間救急対応)に関するシミュレーション研修	介護職員(夜勤に従事する正職員)	統括介護主任、介護主任、介護副主任	11名
7月9日	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修①	各専門職	ジョブモデルアカデミー(オンライン動画研修サービス)	55名
8月15日	口腔衛生管理等に関する研修	各専門職	ジョブモデルアカデミー(オンライン動画研修サービス)	55名
8月26日	口腔衛生管理に関する研修①	(入所部門)介護、看護及びリハビリ職員	札幌ファースト歯科クリニック 歯科衛生士 中井未来氏	11名
10月1日	食事介助に関する研修	(入所部門)介護、看護及びリハビリ職員	ジョブモデルアカデミー(オンライン動画研修サービス)	46名
10月3日	ハラスメント防止・コンプライアンス(法令遵守)	全職員	有限会社オフィスブレイン 代表取締役 佐々木厚史氏	34名
10月10日	感染症の予防及びまん延防止に関する研修②	全職員	医療法人社団藤花会 江別谷藤病院 「感染管理認定看護師」池間友美氏	25名
10月31日	メンタルヘルス研修(こころの健康づくり～メンタルヘルスとモチベーション)	各専門職	公益財団法人 介護労働安定センター北海道支部 産業カウンセラー 米倉美和子氏	10名
11月7日	防火の対応に関する訓練(自衛消防訓練)	全職員	Web研修	51名
11月19日	防災の対応に関する研修(自衛消防訓練)	全職員	Web研修	54名
11月20日	褥瘡予防に関する研修	各専門職	JA北海道厚生連 札幌厚生病院「皮膚・排泄ケア認定看護師」宮田照美氏	24名
11月27日	事故防止に関する研修②	全ての職員	事故防止・苦情検討委員会	25名
12月1日	新規採用職員研修	新規採用職員(介護職員)	ジョブモデルアカデミー(オンライン動画研修サービス)	2名
12月2月	接遇に関する研修	各専門職	ジョブモデルアカデミー(オンライン動画研修サービス)	49名
12月4日	特定技能職員に対する研修	特定技能職員	各専門職の役職者	2名
2月1日	新規採用職員研修	新規採用職員(リハビリ職員)	ジョブモデルアカデミー(オンライン動画研修サービス)	1名
2月3日	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修②	各専門職	ジョブモデルアカデミー(オンライン動画研修サービス)	60名
2月19日	接遇に関する研修	全職員	公益財団法人 介護労働安定センター北海道支部 介護能力開発アドバイザー 石井瑞央氏	22名
2月19日	防火の対応に関する研修(夜間想定訓練)	全職員	Web研修	46名
3月1日	新規採用職員研修	新規採用職員(看護職員)	ジョブモデルアカデミー(オンライン動画研修サービス)	1名
3月1日	認知症ケアに関する研修	各専門職	ジョブモデルアカデミー(オンライン動画研修サービス)	59名
3月3日	口腔衛生管理に関する研修②	(入所部門)介護、看護及びリハビリ職員	札幌ファースト歯科クリニック 歯科衛生士 岩澤・籠原氏	6名
3月5日	事故防止(送迎時の対応)に関する研修	デイケア職員	ジョブモデルアカデミー(オンライン動画研修サービス)、職員間研修	7名
合 計				820名

エ 施設内研修(手稲ゆうゆうGH)

実施日	内 容	対 象 者	講 師 等	参加人数
4月24日	2023年度事故報告・ヒヤリハット報告の分析と対策	介護職員	事故対策委員	6名
5月20日	法令遵守について	介護職員	施設長	3名
5月23日	認知症の理解(レビー小体型認知症について)	介護職員	管理者	17名
7月24日	身体的拘束廃止・虐待防止対策について①	介護職員	身体的拘束廃止委員会	16名
8月26日	感染症・食中毒の予防について	介護職員	公益財団法人 介護労働安定センター	5名
9月25日	身体的拘束廃止・虐待防止対策について② ユマニチュードについて	介護職員	身体的拘束廃止委員会	16名
10月3日	ハラスメント防止・コンプライアンス(法令遵守)	介護職員	(有)オフィスブレイン代表取締役 佐々木厚史氏	16名
11月19日	感染対策の基礎知識(訓練含む)	介護職員	研修委員会	3名
12月26日	接遇について	介護職員	管理者	17名
1月 20~31日	アンガーマネジメントについて	介護職員	ジョブモデル	17名
2月 6~28日	個人情報・プライバシー保護について	介護職員	ジョブモデル	17名
3月 17~31日	医療知識・緊急時対応について	介護職員	ジョブモデル	17名
合 計				150名

オ 施設内研修(手稲ゆうゆう通所)

実施日	内 容	対 象 者	講 師 等	参加人数
5月18日	法令遵守について	通所職員	施設長	8名
6月21日	身体拘束 高齢者虐待防止について	通所職員	通所主任	8名
8月26日	感染症 食中毒の予防について	通所職員	公益財団法人 介護労働安定センター	6名
10月3日	ハラスメント防止・コンプライアンス(法令遵守)	通所職員	(有)オフィスブレイン代表取締役 佐々木厚史氏	8名
11月19日	感染症対策の基礎知識(訓練含む)	通所職員	研修委員会	7名
2月 ^{6~28} 日	個人情報・プライバシーの保護について	通所職員	ジョブメドレー	10名
3月19日	入浴介助加算① ②	通所職員	通所相談員	10名
3月19日	感染症コロナウイルスについて	通所職員	看護職員	10名
合 計				67名

カ 施設内研修(手稲ゆうゆう居宅)

実施日	内 容	対 象 者	講 師 等	参加人数
4月4日	接遇マナーについて	介護支援専門員	介護支援専門員	3名
5月10日	緊急時の対応について・法令遵守について(20日)	介護支援専門員	介護支援専門員(10日) 施設長(20日で参加2名)	3名
6月5日	認知症について	介護支援専門員	介護支援専門員	3名
7月18日	苦情対応について	介護支援専門員	介護支援専門員	3名
8月8日	BCPIについて	介護支援専門員	介護支援専門員	3名
8月26日	感染症、食中毒の予防について	介護支援専門員	公益財団法人 介護労働安定センター	2名
10月3日	ハラスメント防止・コンプライアンス(法令遵守)	介護職員	(有)オフィスブレイン代表取締役 佐々木厚史氏	3名
10月17日	多職種連携について・緊急時の対応について(24日)	介護支援専門員	介護支援専門員	3名
11月19日	感染対策の基礎知識(訓練含む)	介護支援専門員	研修委員会	3名
12月 ^{12~31} 日	高齢者虐待について	介護支援専門員	ジョブメドレー	3名
1月16日	コミュニケーションについて	介護支援専門員	ジョブメドレー	3名
2月 ^{6~28} 日	個人情報・プライバシーの保護について	介護支援専門員	ジョブメドレー	3名
3月21日	ターミナルケアについて	介護支援専門員	ジョブメドレー	3名
合 計				38名

キ 施設内研修(手稲ゆうゆう訪問)

実施日	内 容	対 象 者	講 師 等	参加人数
4月17日	接遇マナーについて	介護職員	サービス提供責任者	16名
5月22日	法令遵守	介護職員	施設長	15名
6月19日	緊急時対応について	介護職員	サービス提供責任者	16名
7月29日	虐待防止について	介護職員	サービス提供責任者	16名
8月20日	感染症について	介護職員	サービス提供責任者	16名
9月22日	BCPIについて(机上訓練)	介護職員	サービス提供責任者	16名
10月3日	ハラスメント防止・コンプライアンス(法令遵守)	介護職員	(有)オフィスブレイン代表取締役 佐々木厚史氏	6名
11月19日	感染症(実技)	介護職員	研修委員	17名
12月23日	個人情報・プライバシーの保護について	介護職員	サービス提供責任者	17名
1月15日	個人目標に沿った研修	介護職員	ジョブメドレー	17名
2月15日	認知症について	介護職員	ジョブメドレー	17名
3月15日	事故対応と再発防止について	介護職員	ジョブメドレー	17名
合 計				186名

ク 施設内研修(ロータス音更)

実施日	内 容	対 象 者	講 師 等	参加人数
4月21日	感染症予防及びまん延防止のための研修	全職員	感染症予防対策委員会	81名
5月30日	メンタルヘルス研修「介護の現場におけるメンタルヘルスケア」	全職員	小春日和 中田千賀子	38名
8月27日	看取りに関する研修「看取りケア～看取り期の心身の変化」	特養介護・看護	看取り介護検討委員会	48名
9月17日	入浴介助研修(動画視聴研修)	通所職員	通所主任	13名
9月24日	認知症ケア研修「認知症ケアの基本～基本の振り返りをしてみよう」	特養・通所職員	通所主任	29名
10月1日	身体拘束の排除・高齢者虐待防止に関する研修	全職員	ジョブメドレーアカデミー(オンライン動画研修)	50名
10月17日	防災訓練「避難訓練・非常災害及び停電対応訓練」	全職員	施設向上・研修委員会	100名
11月1日	感染症・食中毒の予防及びまん延防止に関する研修	全職員	ジョブメドレーアカデミー(オンライン動画研修)	49名
11月5日	事故防止対策研修「高齢者施設のリスクマネジメント」	全職員	事故防止対策委員会	71名
11月21日	ハラスメント防止・コンプライアンス(法令遵守)	全職員	(有)オフィスブレイン代表取締役 佐々木厚史氏	53名
12月1日	感染症及び災害に係る業務継続計画のための研修	全職員	ジョブメドレーアカデミー(オンライン動画研修)	51名
1月16日	感染予防及びまん延防止のための研修「嘔吐物処理について」	全職員	感染症予防対策委員会	80名
2月25日	急変時緊急対応研修・AED実技研修	全職員	施設向上研修委員会	44名
合 計				707名

ケ 施設内研修(あんじゅ音更)

実施日	内 容	対 象 者	講 師 等	参加人数
4月3日	「虐待防止について」【動画閲覧】	あんじゅ音更全職員	防災・研修・接遇委員会 (4月3日～4月17日の期間)	53名
5月29日	「あんじゅ音更防災研修2024.05」【動画視聴】	あんじゅ音更全職員	防災・研修・接遇委員会 (5月29日～6月5日の期間)	68名
6月10日	「身体拘束廃止について」【動画閲覧】	あんじゅ音更全職員	防災・研修・接遇委員会 (6月10日～6月17日の期間)	72名
7月5日	「手順書を用いた吐物処理」【動画視聴・実技】	あんじゅ音更全職員	感染対策委員会 (7月5.9.12.16.19.22.23.30日)	66名
8月5日	「口腔ケアについて」【動画視聴】	あんじゅ音更全職員	防災・研修・接遇委員会 (8月5日～8月19日の期間)	57名
8月5日	「医療事故防止について」【動画閲覧】	あんじゅ音更全職員	防災・研修・接遇委員会 (8月5日～8月19日の期間)	65名
9月17日	「接遇について」【チェックリスト実施・動画閲覧】	あんじゅ音更全職員	防災・研修・接遇委員会 (9月17日～9月30日の期間)	70名
10月24日	「不適切ケアは虐待の始まり」【グループ討議】	あんじゅ音更全職員	虐待防止委員会	34名
10月31日	「幸せな時間・空間をつくりだすステップアップ」【講義】	あんじゅ音更全職員	帯広コア専門学校 畠山 晴美 様	39名
11月21日	ハラスメント防止・コンプライアンス研修会	あんじゅ音更全職員	有限会社オフィスブレイン 体表取締役 佐々木厚史氏	45名
12月3.4日	「心肺蘇生について」【実技】	あんじゅ音更全職員	音更消防署員 3名	46名
1月22日	「口腔ケアについて」【動画視聴・実技】	あんじゅ音更全職員	防災・研修・接遇委員会	27名
2月10日	「ボジショニングについて」【動画閲覧】	あんじゅ音更全職員	褥瘡予防委員会(2月10日～2月17日の期間)	42名
2月20日	「コールマットについて」【講義・グループ討議】	あんじゅ音更全職員	身体拘束廃止委員会	23名
3月12日	「スタンダードアプリケーションについて」【講義】	あんじゅ音更全職員	感染対策委員会所属 大野看護主任	28名
合 計				735名

コ 施設外研修(手稲ロータス)

実施日	内 容	受 講 者	主 催 者 等	参加事業所名	参加人数
5月24日～8月30日	介護施設における安全対策担当者養成研修	介護職員他	全国老人福祉施設協議会	手稲ロータス	4名
5月24日～5月24日	看取りの住まいの現状とACP(人生会議)	事務職員	planet	手稲ロータス	1名
6月13日～6月13日	ICT機器を使った業務改善についての研修	生活相談員	(公財)介護労働安定センター	手稲ロータス	1名
7月19日～7月19日	介護職員専門研修Ⅱ	介護職員	北海道社会福祉協議会	手稲ロータス	1名
8月26日～9月13日	高齢者虐待防止推進研修会	介護職員等	北海道社会福祉協議会	手稲ロータス	4名
8月30日～8月30日	成年後見制度研修	生活相談員	札幌市成年後見推進センター	手稲ロータス	1名
9月12日～9月12日	全国老協北海道ブロック研究大会	理学療法士	北海道老人福祉施設協議会	手稲ロータス	1名
合 計					13名

サ 施設外研修(手稲ロータス居宅)

実施日	内 容	受 講 者	主 催 者 等	参加事業所名	参加人数
6月19日～6月19日	年度介護報酬改定！運営指導対策	介護支援専門員	グリーンケア・フォーラム	手稲ロータス指定居宅介護支援事業所	1名
7月18日～7月18日	手稲区支部定例研修会「対人援助職とは」	介護支援専門員	札幌市介護支援専門員連絡協議会	手稲ロータス指定居宅介護支援事業所	3名
8月16日～8月16日	北海道高齢者虐待防止推進研修会【管理者編】	介護支援専門員	社会福祉協議会 北海道高齢者虐待防止・相談支援センター	手稲ロータス指定居宅介護支援事業所	1名
8月26日～8月26日	ケアラー支援関係機関職員等研修	介護支援専門員	北海道保健福祉部 福祉局高齢者保健福祉課	手稲ロータス指定居宅介護支援事業所	3名
9月18日～9月18日	介護支援専門員研修会 対人援助職とは	介護支援専門員	手稲区主任介護支援専門員有志の会	手稲ロータス指定居宅介護支援事業所	2名
10月15日～10月15日	北海道高齢者虐待防止推進研修会【在宅編】	介護支援専門員	社会福祉協議会 北海道高齢者虐待防止・相談支援センター	手稲ロータス指定居宅介護支援事業所	1名
11月13日～11月13日	西区支部定例研修会「もう怖くない！クレーマー対応のポイント」	介護支援専門員	札幌市介護支援専門員連絡協議会	手稲ロータス指定居宅介護支援事業所	1名
12月14日～12月14日	ACPの基本を学ぶセミナー	介護支援専門員	北海道	手稲ロータス指定居宅介護支援事業所	1名
1月23日～1月23日	VR出前イベント	介護支援専門員	パナソニック	手稲ロータス指定居宅介護支援事業所	3名
1月28日～1月28日	スーパービジョン研修	介護支援専門員	札幌市介護支援専門員連絡協議会	手稲ロータス指定居宅介護支援事業所	2名
2月21日～2月21日	主任介護支援専門員資質向上研修会「認知症になっても穏やかに暮らせる街づくり」	介護支援専門員	札幌市介護支援専門員連絡協議会	手稲ロータス指定居宅介護支援事業所	3名
3月12日～3月12日	弁護士との合同研修会	介護支援専門員	手稲区第1・2地域包括支援センター	手稲ロータス指定居宅介護支援事業所	1名
3月21日～3月21日	ケアマネジメントリーダー活動支援事業「介護予防ケアマネジメント研修」	介護支援専門員	札幌市介護支援専門員連絡協議会	手稲ロータス指定居宅介護支援事業所	1名
合 計					23名

シ 施設外研修(手稲あんじゅ)

実施日	内 容	受 講 者	主 催 者 等	参加事業所名	参加人数
5月26日	安全対策担当者養成研修	副主任相談員	公益社団法人全国老人福祉施設協議会	手稲あんじゅ	2名
7月26日	安全対策担当者養成研修	リハビリ副主任	公益社団法人全国老人福祉施設協議会	手稲あんじゅ	1名
11月21日～11月22日	防火管理講習(甲種防火管理新規講習)	部門長	札幌市防災協会	手稲あんじゅ	1名
2月3日	特定給食施設等研修会	副主任管理栄養士	札幌市保健福祉局ウェルネス推進課	手稲あんじゅ	1名
2月26日～2月27日	防火管理講習(甲種防火管理新規講習)	副主任相談員	札幌市防災協会	手稲あんじゅ	1名
3月1日～3月31日	認知症介護基礎研修	特定技能職員	認知症介護研究・研修仙台センター	手稲あんじゅ	3名
3月25日	認知症ケアに関する研修(BPSDってなんだろう?)	手稲あんじゅ全職員の希望者	介護老人福祉施設 手稲ロータス	手稲あんじゅ	4名
合 計					13名

ス 施設外研修(手稲ゆうゆう居宅)

実施日	内 容	受 講 者	主 催 者 等	参加事業所名	参加人数
7月18日	相談援助職とは	介護支援専門員	手稲区第1・2包括支援センター	手稲ゆうゆう居宅	1名
9月18日	対人援助職とは	介護支援専門員	手稲区第1・2包括支援センター	手稲ゆうゆう居宅	1名
11月20日	対人援助職とは	介護支援専門員	手稲区第1・2包括支援センター	手稲ゆうゆう居宅	1名
11月26日	第2回TEINEスキンケアネットワーク研修会	介護支援専門員	手稲溪仁会病院	手稲ゆうゆう居宅	1名
12月4日	服薬支援ロボットの活用方法と利用の実際	介護支援専門員	手稲区在宅ケア連絡会	手稲ゆうゆう居宅	1名
12月18日	事例検討	介護支援専門員	手稲区第2包括支援センター	手稲ゆうゆう居宅	1名
1月23日	認知症VR研修	介護支援専門員	パナソニックエイジフリー札幌中央	手稲ゆうゆう居宅	3名
1月28日	スーパービジョン研修	介護支援専門員	札幌市介護支援専門員連絡協議会	手稲ゆうゆう居宅	1名
2月21日	認知症を有する方への訪問診療を再考する	介護支援専門員	北海道社会福祉協議会	手稲ゆうゆう居宅	2名
2月1-28日	ケアラー支援関係機関職員等研修(動画視聴)	介護支援専門員	北海道社会福祉協議会	手稲ゆうゆう居宅	3名
3月17日	在宅生活を支える手稲区の新たな訪問診療	介護支援専門員	手稲区在宅ケア連絡会	手稲ゆうゆう居宅	3名
3月24日	緩和ケアについての疑問・不安を解消しよう!	介護支援専門員	札幌市介護支援専門員連絡協議会	手稲ゆうゆう居宅	1名
合 計					19名

セ 施設外研修(手稲ゆうゆう訪問)

実施日	内 容	受 講 者	主 催 者 等	参加事業所名	参加人数
7月18日	若年性認知症従事者向け研修(外部研修)	介護職員	公益社団法人日本認知症グループ協会北海道支部	手稲ゆうゆう訪問	1名
12月17日	令和6年度難病患者等ホームヘルパー養成研修(外部研修)	介護職員	一般社団法人北海道難病連	手稲ゆうゆう訪問	1名
2月19日	難病患者への支援～知っておきたい制度利用のあれこれ～(web研修)	介護職員	北海道医療センター	手稲ゆうゆう訪問	1名
合 計					3名

ソ 施設外研修(ロータス音更)

実施日	内 容	受 講 者	主 催 者 等	参加事業所名	参加人数
4月26日	通所サービスの見学(静苑ホーム・いろはな等)	通所主任・相談員等	北海道友愛福祉会	ロータス音更通所	3名
4月16日	令和6年度介護報酬 処遇改善・生産性向上対策研修	施設長	パナソニック介護経営セミナー	ロータス音更	1名
5月12日	令和6年度 新設加算の取り方	管理栄養士	日本栄養士会	ロータス音更	1名
5月23日～8月1日	ユニットリーダー研修	介護職員	北海道社会福祉協議会	ロータス音更	1名
5月23日	音更町医療・介護連携推進会	相談員	音更町	ロータス音更	2名
6月10日～10月31日	令和6年度認定調査研修	介護支援専門員	帯広市	ロータス音更	1名
6月28日	音更町介護サービス事業所係る集団指導	相談員	音更町	ロータス音更	1名
7月10日	認知症介護基礎研修	介護職員	社会福祉法人東北福祉会	ロータス音更	1名
7月26日	令和6年度第1回相談員部会研修「相談員交流会」	相談員	十勝老人福祉施設協議会	ロータス音更	3名
9月11日	口腔衛生管理強化のための研修会	管理栄養士等	十勝圏域在宅歯科医師会	ロータス音更	4名
9月25日～12月25日	介護リスクマネジメント動画セミナー	事故対策委員	帯広大谷短期大学	ロータス音更	12名
10月3日～12月17日	ユニットリーダー研修	介護職員	北海道社会福祉協議会	ロータス音更	1名
10月25日	令和6年度事務部会研修「事務職員情報交換会」	部門長	十勝老人福祉施設協議会	ロータス音更	1名
1月17日	介護実習者担当者研修	介護主任	帯広大谷短期大学	ロータス音更	1名
1月31日	十老施設施設長研修「介護現場からみた事故の検証」	施設長	十勝老人福祉施設協議会	ロータス音更	1名
2月5日	地域施設の加算報酬・算定等の取り組み情報交換会	生活相談員	ユニチャームメンリック	ロータス音更	1名
2月21日	防災講座「避難所開設に伴う備蓄品等について」	部門長	音更町防火安全協会研修会	ロータス音更	2名
合 計					37名

タ 施設外研修(あんじゅ音更)

実施日	内 容	受 講 者	主 催 者 等	参加事業所名	参加人数
5月13日	介護職員等のための医療の基礎知識講座【オンライン】	介護職員	北海道社会福祉協議会	あんじゅ音更	1名
6月20日・7月11日	新任介護職員研修 帯広【集合・オンライン】	介護職員	北海道社会福祉協議会	あんじゅ音更	1名
6月25日	接遇・マナー基礎研修【オンライン】	介護職員	北海道社会福祉協議会	あんじゅ音更	1名
7月9日・8月17日	介護職員専門研修Ⅱ 帯広【集合・オンライン】	介護職員	北海道社会福祉協議会	あんじゅ音更	2名
7月10日～8月30日	認知症ケア特別研修Ⅰ【オンライン】	介護主任・介護職員・看護職員	北海道社会福祉協議会	あんじゅ音更	4名
7月30日～7月31日	福祉専門職のためのキャリアアップ研修(初任者)【オンライン】	介護職員	北海道社会福祉協議会	あんじゅ音更	1名
8月6日～8月7日	福祉専門職のためのキャリアアップ研修(チームリーダー)【オンライン】	介護副主任	北海道社会福祉協議会	あんじゅ音更	1名
8月10日	施設・事業所のためのリスクマネジメント研修【オンライン】	介護職員・看護職員	北海道社会福祉協議会	あんじゅ音更	2名
8月15日	メンタルヘルスクア研修【オンライン】	看護職員	北海道社会福祉協議会	あんじゅ音更	1名
8月19日・9月4日	介護職員専門研修Ⅰ 帯広【ライブ配信・オンライン】	介護職員	北海道社会福祉協議会	あんじゅ音更	1名
9月10日	介護・保育施設の感染症対策研修【オンライン】	介護職員	北海道社会福祉協議会	あんじゅ音更	1名
9月10日～10月31日	認知症ケア特別研修Ⅱ 食事ケア【オンライン】	言語聴覚士・介護職員・看護職員	北海道社会福祉協議会	あんじゅ音更	3名
9月11日	口腔衛生管理強化のための研修会【オンライン】	言語聴覚士・管理栄養士	北海道歯科医師会	あんじゅ音更	3名
9月14日	高齢者ケア施設の看護管理者交流会【集合】	看護主任	北海道看護協会	あんじゅ音更	1名
9月25日	看護師専門研修【オンライン】	看護主任	北海道社会福祉協議会	あんじゅ音更	1名
9月26日～9月27日	福祉専門職のためのキャリアアップ研修(中堅職員)【オンライン】	介護職員	北海道社会福祉協議会	あんじゅ音更	1名
10月24日～10月25日	福祉専門職のためのキャリアアップ研修(チームリーダー)【オンライン】	介護職員	北海道社会福祉協議会	あんじゅ音更	1名
10月30日	苦情・クレーム対応セミナー【オンライン】	看護職員	北海道社会福祉協議会	あんじゅ音更	1名
11月11日	高齢者・障がい者虐待防止セミナー【オンライン】	介護副主任	北海道社会福祉協議会	あんじゅ音更	1名
12月5日	摂食嚥下ケア研修【オンライン】	介護職員	北海道社会福祉協議会	あんじゅ音更	1名
12月14日～12月15日	初めての通所ハ実践研修会【オンライン】	理学療法士	全国デイケア協会	あんじゅ音更	1名
合 計					30名

手 稲 口 一 夕 会 法 人 本 部 事 務 局

1 重点推進課題の実施報告

法人本部事務局

法人経営を安定なものにするため、拠点間の連携及び協力体制の強化に努める。

《重点推進課題》

1. 職員の確保に向けて

《中期経営計画（7）》

介護従事者の雇用環境が厳しさを増す中、外国人労働者の雇用を目指して受入体制を構築し、安定した事業運営を実施する。

【指標・評価方法】

札幌圏内や十勝管内において、すでに外国人労働者を受け入れている事業者の実態を調査の上、当法人に合った仕組みや費用対効果を検証し、年度内の雇用開始を目標とする。また、学校新卒の就職希望者向けに、ホームページの職員募集コーナーの充実に努める。

【結果】

他法人や登録支援業者から実際の外国人雇用の運用について実態確認を行い支援業者を選定。2024年12月より3名のインドネシア国籍の特定技能外国人を札幌事業所に採用した。学校新卒者向けには、奨学金貸与制度を新設し、来年度からの運用体制を整備した。

2. 職員育成のための研修体系の見直し

《中期経営計画（4）（7）》

現在、事業所ごとに計画・実施している職員研修を、経験年数・職種・職位に求められる研修及び法定必須研修などに体系化し、効果的な研修が受講・習得できる体制をつくる。

【指標・評価方法】

法定研修の他、経験年数・職種・職位等を考慮した効果的な研修を行う。

【結果】

研修制度の体系化は具体化できなかったが、法定研修として、法人主催の「パワーハラスメント」および「法令遵守」についての研修を外部の講師を招き、札幌事業所で2回、音更事業所で2回集合研修を行った。参加職員も半数を超え有意義な研修となった。来年度以降も職位や職種等を考慮した合同研修を企画していきたい。

3. 中期経営（後期）計画の策定

中期経営計画の計画期間は2022年度から2027年度の6年間であり、前期分は2024年度で終了することから、今年度は前期計画の進行管理と評価を行うと共に、後期計画を策定し公表していく。今後も継続的に安定した法人運営を目指して取り組むべき方向性(目標)を示す。

【指標・評価方法】

中期経営(前期)計画に対する取組内容の評価と、会計事務所等による専門家の視点を加えた分析を行い、より効果的・効率的な中期経営(後期)計画を提案する

【結果】

2025年度から2027年度中期経営(後期)計画を策定した。後期分策定においては、新たに「職員行動指針」を追加し、前期分の取組項目別に達成率で評価し、その結果を基により具体的な取組内容にした。また、国連が提唱する「SDGs 宣言」にも関連付けることとし、より効果的・効率的な計画としてまとめた。

特 養 手 稻

介護老人福祉施設 手稲口一タス

1. 重点推進課題の実施報告

介護老人福祉施設 手稲ロータス

ご家族や地域の皆様が集まるイベント・外出レクや外泊・面会等が当たり前に行っていた「日常」。新型コロナウイルス感染症により、ご家族との触れ合いや、地域の皆様との関わりが「非日常」となり、4年が経過した。入居されている方々の暮らしが、「当たり前の日常」を取り戻し、楽しく、喜びを感じることができるよう、職員一人ひとりが入居者様に、寄り添い、想いや願いを実現できるケアを構築する。

また、職員間のチームワーク力を向上し、働きやすい環境づくりに取り組むことで、入居者様により良いサービスを提供する。

《重点推進課題》

1. 楽しく喜びを感じながら暮らせるように、全職員で入居者の皆様が笑顔になれる生活環境をつくる

《中期経営計画 (1)(2)(3)(4)(7)》

制限のない行事や外出レク、ご家族・地域の皆様が集まって行うイベントが開催できるよう、感染対応策を確立し、入居者様が楽しく安全に暮らせる生活環境をつくる。

【指標・評価方法】

- ① 新型コロナウイルス感染症やノロウイルス感染症、インフルエンザ等、標準予防策の徹底、感染症発生時に、適切な対応策が実践できるよう、感染予防委員会を中心に、施設内研修の実施及び感染予防マニュアルの見直しをする。
- ② 直接面会の実施方法について、人数及び時間制限の見直しを図る。
- ③ 入居者様、ご家族が楽しめる行事を企画・立案・実施する。
- ④ 地域の皆様が、地域交流スペースの利用再開できるよう、安全策を構築する。

【結果】

- ① 感染予防委員会を中心に施設内研修を実施し、職員への周知徹底を図ってきた。また、感染症発生時には速やかに対応し、実践することができた。感染予防マニュアルについては、段階的に見直しを進め改定を完了。現場での実践に反映できる体制を構築した。
- ② 2024年11月より、面会における人数及び時間制限を段階的に緩和し、入居者様とご家族がより充実した時間を過ごせる環境を提供した。ご家族からは、「面会の制限解除に向けた対応に感謝する。」との意見が寄せられた。今後も感染状況を踏まえながら柔軟な対応を継続する。
- ③ 夏まつりや餅つき大会を実施した。これらのイベントは、職員による事前準備や当日の連携も円滑であったこともあり、多くの入居者様(利用者様)とご家族の皆様が参加し、笑顔あふれる時間を共有できた。今後も事前準備の負担軽減を図りつつ、更なる多様な行事の実施を検討していく。
- ④ 2024年12月より、地域交流スペースの利用を再開した。感染予防策を講じ、地域住

民へは、感染症に関するリスクについて説明を行い、利用を迎え入れる体制を整備した。再開後、地域住民からの利用申請は継続しており、交流の場として順調に機能している。

2. 職員間のチームワーク力を向上し、質の高いケアを提供する

《中期経営計画 (1)(2)(4)(7)》

多職種の専門職員によるチームワーク(連携・協調性・共同性)が円滑に図られることで、入居者様へ質の高いケアを提供する。

【指標・評価方法】

- ① 態度・姿勢・表情・顔色・声のトーン・話す速度・ジェスチャー・視線(言語・非言語)を意識し、コミュニケーションを図る。
- ② チームワークスキル(心理的安全性)、接遇マナーやコミュニケーションスキルに関する研修の実施。

【結果】

- ① 職員個人面談や会議を通じて、態度や姿勢、声のトーン、視線といった非言語コミュニケーションの重要性を周知した。職員間で意識や取り組み方にばらつきは見られたが、全体的には対話の質の向上、日々のケアにおけるチームワークの強化につながっている。全職員が同じ意識を持つには、まだ時間がかかるものの、施設全体では少なからず意識改革ができたと判断している。
- ② 心理的安全性を高めるための研修や明確な取り組みは未実施であったが、運営会議や主任会議等を通じ、職員間のコミュニケーションの課題が共有され、改善の必要性を認識する機会となった。研修実施が進められなかった点は反省点として挙げられるが、今後は具体的な研修計画を立案し、職員全体のスキル向上と信頼関係の強化に取り組む。

2 介護老人福祉施設・(介護予防)短期入所生活介護の運営

(1)施設の開設

第一種社会福祉事業としての特別養護老人ホームの設置については、老人福祉法第15条第3項に基づき、平成元年5月15日付で札幌市長に対し設置許可申請を行い、平成元年5月26日付（札老第188号指令）で許可を受け、平成元年6月1日付で、「老人ホーム事業開始届」を札幌市に提出し受理された。

平成12年4月1日の介護保険法施行に伴い、介護老人福祉施設を開設した。

平成18年4月1日より介護保険制度の改正に伴い、居宅系サービスについては予防事業を開設した。

令和元年5月1日からの新築移転に伴い、ユニット型介護老人福祉施設に転換するとともに、前日である平成31年4月30日をもって、通所介護事業を切り離した。

概要は、次のとおり

施設 の 名 称 介護老人福祉施設 手稲ロータス
 施設 の 所 在 地 札幌市手稲区稲穂3条6丁目7番5号
 施設 の 種 類 介護老人福祉施設
 (介護予防)短期入所生活介護
 入 所 定 員 80名(うちショートステイ定員10名・併設型・空床型)

(2)施設職員の配置状況

2025.3.31現在

		施 設 長	医 師	事 務 員	生 活 相 談 員	介 護 職 員	看 護 職 員	管 理 栄 養 士	介 護 支 援 専 門 員	機 能 訓 練 指 導 員	用 務 員	介 助 員	夜 間 警 備 員	調 理 員	計
入 所	基準数 (人)	1	1 ①		1	25	3	1	1	1					34 ①
	現員 (人)	1	1 ①	2	2	46 ⑨	6 ③	1	4 (3)	1	2 ②	3 ③	3 ③	委 託	72 ⑳

* ()は兼務。○は非常勤の内数。

(3) 行事实施状況表

月	実施日	内 容	場 所	参加人数
4月	誕生日毎	誕生日会	施設内	5名
5月	誕生日毎	誕生日会	施設内	4名
	12(日)	母の日(2階)(3階)(4階)(5階)	施設内	63名
	16(木)	個別外出(3階)	入居者宅	1名
	30(木)	外出行事(5階)	山口イオン	3名
6月	誕生日毎	誕生日会	施設内	5名
	3(月)	開設記念行事(2階)(3階)(4階)(5階)	施設内	78名
	16(日)	父の日(2階)(3階)(4階)(5階)	施設内	19名
7月	誕生日毎	誕生日会	施設内	7名
	21(火)	かき氷レク(5階)	施設内	19名
8月	誕生日毎	誕生日会	施設内	3名
	9(金)	夏まつり(2階)(3階)(4階)(5階)	施設内	76名
	28(水)	じゃがいも収穫祭	施設内	1名
9月	誕生日毎	誕生日会	施設内	10名
	6(金)	いも団子作り(5階)	施設内	20名
	13(金)	手稲ロータス敬老祝賀会(2階)(3階)(4階)(5階)	施設内	76名
10月	誕生日毎	誕生日会	施設内	5名
11月	誕生日毎	誕生日会	施設内	4名
	14(火)	外出行事(4階)	山口イオン	3名
12月	誕生日毎	誕生日会	施設内	5名
	22(金)	クリスマス・忘年会(2階)(3階)(4階)(5階)	施設内	78名
	27(金)	餅つき会(2階)(3階)(4階)(5階)	施設内	79名
1月	誕生日毎	誕生日会	施設内	17名
	1(月)	お正月(2階)(4階)(5階)	施設内	53名
2月	誕生日毎	誕生日会	施設内	2名
	2(日)3(月)	節分(2階)(3階)(4階)(5階)	施設内	72名
3月	誕生日毎	誕生日会	施設内	3名
	3(日)	桃の節句(2階)(3階)(4階)(5階)	施設内	73名
合計				784名

(4)利用者の状況

ア. 年齢別構成状況(人)

	未満	65	70	75	80	85	90	95	合計	最低年齢	最高年齢	平均年齢	前年平均
	5	5	5	5	5	5	5	以上					
男	0	2	1	1	3	4	3	0	14	65	92	82.5	81.0
女	0	0	2	2	7	20	16	9	56	71	102	88.6	88.5
計	0	2	3	3	10	24	19	9	70			85.0	86.9

イ. 要介護度別利用者状況(延人数)

性別	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	平均	前年平均
男	0	0	1,333	1,378	2,091	4,802	4.15	4.13
女	0	301	3,557	9,233	6,938	20,029	4.13	4.07
計	0	301	4,890	10,611	9,029	24,831	4.14	4.08

ウ. 介護保険者別構成状況(人)

	札幌市					小樽市	旭川市	その他	合計
	西	手稲	北	中央					
男	1	12	1	0		0	0	0	14
女	5	39	2	1		7	1	1	56
計	6	51	3	1		7	1	1	70

エ. 入所者所得段階

	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	合計
男	0	0	3	11	14
女	1	11	27	17	56
計	1	11	30	28	70

オ. 健康保険加入状況(人)

	後期高齢者医療制度	国民健康保険	社会保険	組合健康保険	生活保護	合計
男	11	3	0	0	0	14
女	53	2	0	0	1	56
計	64	5	0	0	1	70

カ. 在所者利用期間別構成状況(人)

	1年未満	1~2	2~3	3~4	4~5	5~6	6~7	7~8	8~9	9~10	10年以上	合計
男	2	3	2	1	2	1	2	0	0	1	0	14
女	9	11	5	1	11	6	3	3	1	0	6	56
計	11	14	7	2	13	7	5	3	1	1	6	70

キ. 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)

	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
男	0	1	0	3	3	2	2	1	2	14
女	0	0	0	4	12	7	28	2	3	56
計	0	1	0	7	15	9	30	3	5	70

ク. 認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	合計
男	0	1	1	3	4	3	1	1	14
女	2	3	2	9	18	9	13	0	56
計	2	4	3	12	22	12	14	1	70

ケ. 通院状況(延人数)

	内科	精神科	循環器科	呼吸器科	外科	整形外科	形成外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	婦人科	眼科	耳鼻科	肛門科	合計
男	1	0	0	0	0	9	0	7	1	16		0	0	0	34
女	19	0	10	0	0	14	0	14	13	7	0	0	5	0	82
計	20	0	10	0	0	23	0	21	14	23	0	0	5	0	116

(重複掲載)

コ. 往診状況(延人数)

	内科	歯科	眼科	皮膚科	精神科	合計
男	156	55	0	0	73	284
女	684	188	0	0	192	1,064
計	840	243	0	0	265	1,348

(重複掲載)

サ. 機能訓練実施状況(延人数)

内 容	可 動 域 訓 練	筋 力 強 化	平 行 棒 内 歩 行 訓 練	平 行 棒 内 立 位 訓 練	杖 歩 行 訓 練	歩 行 器 歩 行 訓 練	立 ち 上 が り 訓 練	立 位 保 持 訓 練	ホ ッ ト パ ッ ク	体 操	立 位 バ ラ ン ス	介 助 歩 行 訓 練	独 歩	合 計
男	463	296	13	21	23	42	325	286	0	0	0	41	62	1,572
女	489	376	16	17	54	113	762	519	0	0	35	82	52	2,515
計	952	672	29	38	77	155	1,087	805	0	0	35	123	114	4,087

シ. 入所・短期利用状況

利用 状 況		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計
		目数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	
入所利用延人数	2,070	2,132	2,068	2,108	2,112	2,091	2,167	2,050	2,138	2,095	1,823	1,980	24,834	24,997	
短期利用延人数	274	300	298	301	288	256	256	266	268	299	301	267	3,374	2,741	
1日平均人数	78.13	78.45	78.87	77.71	77.42	78.23	78.16	77.20	77.61	77.23	75.86	72.48	77.28	75.79	
入所率(%)	97.67	98.06	98.58	97.14	96.77	97.79	97.70	96.50	97.02	96.53	94.82	90.60	96.60	94.73	

ス. 入退所状況(人)

入 所		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計
		家庭	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	
病院	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	4	10
他施設	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	3
合計	0	0	0	1	1	1	1	0	1	0	0	2	4	10	16
退 所	家庭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	病院	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	5	9
	他施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	死亡	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	2	5	6
	合計	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	3	2	10	16

セ. 入所待機者状況(人)

	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男	0	0	0	0	4	2	2	8
女	0	0	0	0	8	6	1	15
計	0	0	0	0	12	8	3	23

ソ. 入所者・利用者減免状況

	入所減免額			(予防)短期減免額			合計 (円)
	通常減免		1件当平均 (円)	通常減免		1件当平均 (円)	
	件数	金額(円)		件数	金額(円)		
4月	8	166,723	20,840	1	12,499	12,499	179,222
5月	8	172,270	21,534	1	13,436	13,436	185,706
6月	8	167,250	20,906	1	12,583	12,583	179,833
7月	8	172,784	21,598	1	11,587	11,587	184,371
8月	8	177,202	22,150	2	15,439	7,720	192,641
9月	8	171,496	21,437	2	19,807	9,904	191,303
10月	8	176,566	22,071	2	17,159	8,580	193,725
11月	8	169,923	21,240	3	24,078	8,026	194,001
12月	8	176,075	22,009	1	18,366	18,366	194,441
1月	8	173,758	21,720	1	28,409	28,409	202,167
2月	8	140,768	17,596	1	25,524	25,524	166,292
3月	8	153,066	19,133	1	28,253	28,253	181,319
合計	96	2,017,881	21,020	17	227,140	13,361	2,245,021

(5) 苦情受付件数と主な内容

3 件				
部門	苦情申出者	内 容	第3者委員等の報告	結果
短期入所	利用者様	入所時に、女性利用者の荷物を確認するため、写真を撮る際、男性職員が下着をベッドの上を広げたことに対し、大変不快な思いをした。改善してほしいとの内容。 対応策 ⇒ 当該職員へ説明と指導を行うとともに、利用者及び家族へ状況を説明し謝罪した。今後も利用継続していただけることを確認したため苦情解決とした。	無	解決
入所	入居者様	「職員Aとの入浴を他の職員に変更してほしい」との申し出。顔にタオルがかかったことへの不快感や、介助時の進め方に戸惑いを感じたこと、他職員と比べ配慮が不足していると感じ取られたことが理由。 対応策 ⇒ 当該職員へ指導を実施した。入居者へ謝意を伝えた上で、入浴介助は他職員が担当し、その他の介助は継続する方針を説明。了承を得られたため苦情解決とした。	無	解決
入所	入居者ご家族 (長女)	入居者の長女より、職員2名の対応について気になる点があったとの申し出があった。事実確認を行ったが、問題となる接遇はなかったと判断したが、様々な家族対応を考え、該当職員に説明を行った。 対応策 ⇒ 長女より「職員2名の対応が良くなった」との言葉があった。今後も接遇向上に努めることを伝え、同意を得たうえで対応を完了とした。	無	解決

(6) 介護事故件数

重大事故 (行政報告)		誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	4	8	10	4	2	0	0	0	0	0	0	3	31
	短期	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	合計	4	9	10	5	2	0	0	0	0	0	0	3	33

事故 (施設内処理)		誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	0	0	22	9	2	8	0	0	0	2	0	2	45
	短期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	22	9	2	8	0	0	0	2	0	2	45

ヒヤリ ハット		誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	18	13	35	42	243	55	7	0	0	1	0	13	427
	短期	0	4	8	2	7	2	1	0	0	0	0	2	26
	合計	18	17	43	44	250	57	8	0	0	1	0	15	453

(7) 慰問・ボランティア状況

	名 前	内 容	来 所 日	延べ人数
理美容	ヘアースタジオ310	理美容	毎月第1・3火曜日	343 名
その他				
合 計			延べ人数(団体)	0 名
			〃 (個人)	343 名
			〃 合計	343 名

(8) 実習生受入れ状況

受入期間	人 数	受入日数	延べ人数	学 校 名	学 部 ・ 学 科	実 習 内 容
2024 . 4 . 10 ~ 2024 . 4 . 11	3	2	6	北海道公立大学法人札幌医科大学	保健医療学部	施設内実習
2024 . 9 . 2 ~ 2024 . 9 . 13	2	12	24	北海道留寿都高等学校	農業福祉コース	施設内実習
2024 . 11 . 26 ~ 2024 . 11 . 26	5	1	5	手稲前田中学校	中学2年生	施設内実習
合 計	10	15	35			

(9) 地域における公益的な取組(事例について自由記述)

町内会資源回収へ協力 町内会定期総会を地域交流スペースにて開催 町内会役員会に参加 施設の広報誌を回覧板に掲載 自動販売機売り上げに関する一部寄付(日本財団チャリティー)

手稲口一タス 指定居宅介護支援事業所

1. 重点推進課題の実施報告

手稲ロータス 指定居宅介護支援事業所

利用者様とご家族が、共に在宅生活を継続することができ、その人らしく過ごしていただけるよう支援する。

また、利用者様の同意のもとに、心身の状況に応じ適切なサービスを利用することができるよう、地域包括支援センターや各サービス事業者との連絡調整等を行い、利用者様だけでなくそのご家族も含めての「自立」を目指す。

《重点推進課題》

1. 質の高いケアマネジメントの実施

《中期経営計画（1）（2）》

介護保険制度改正に伴い、新たな知識を習得し、ケアマネジメントの理解を深める。

また、研修及び居宅会議等を通し、意見交換や情報共有することで、利用者様及びご家族の多様化するニーズに対応できる、専門職としてのスキルアップに努める。

【指標・評価方法】

- ① ジョブメドレーでのオンライン研修や、介護支援専門員連絡協議会や地域包括支援センター主催の研修会、他機関主催の研修会への参加。
- ② 事例検討会の参加、事例検討会の開催。
- ③ 特定事業所として法令に基づき、定期的に利用者様の情報共有、カンファレンス等を事業所全体でケースのケアへの取り組みや振り返りについて会議を開催。

【結果】

- ① ジョブメドレーによるオンライン研修は、各職員が個別に受講したほか、介護支援専門員連絡協議会主催の研修や、地域包括支援センター主催の研修にも参加し、居宅会議の場で伝達研修を実施した。
- ② 他法人との合同事例検討会には参加したが、事業所内での事例検討は1回の開催となった。当初は1～2ヶ月に1回、居宅会議後に開催する計画であったが、職員間の情報共有や急を要する利用者対応に時間を要したため、計画通りの開催には至らなかった。
- ③ 居宅会議では、処遇困難ケースにおける具体的な支援方法や、過去に取り扱った事例の問題点と改善策を議題とし、利用者情報の共有や対応策の検討を行った。加えて、随時必要に応じて相談の場を設け、臨機応変に対応策を検討した。

2. 地域社会との関係性の強化を図る

《中期経営計画 (1)(3)》

地域住民が抱える、在宅介護に関する「不安」や「悩み」等の課題を抽出し、解決に向け、関係機関との連携を図る。

【指標・評価方法】

- ① 地域の高齢者についての相談や、介護支援専門員連絡協議会役員の参加や、区の情報交換会などでネットワーク作りを行う。
- ② 利用者様の入退院や受診等の機会を通し、日頃から地域の医療機関と情報交換を実施していく。
- ③ 居宅介護支援事業所を知っていただくために、近隣の町内会住民を対象とした電話相談会、対面での相談会を開催する。

【結果】

- ① 地域の方からの相談対応に加え、札幌市介護支援連絡協議会の役員を1名が務めたことや外部研修及び地域ケア推進会議等への参加等で、他事業所との交流が図られ、ネットワーク構築につながった。
- ② 入退院時には電話や訪問により病院スタッフと利用者情報の共有を行い、必要に応じて受診の付き添いも実施するなど、顔の見える関係性を築き、連携を図った。
- ③ 昨年度の状況を考慮し、新たな形での相談会の実施を検討していたが、本来業務に追われたことで検討時間の確保が難しく、実施には至らなかった。

3. 運営基盤の安定化

《中期経営計画 (3)(4)(6)(7)》

各関係機関及び地域からの多様なニーズに、「ワンストップ」の相談窓口として、対応することができるよう、介護相談の拠点をつくり、運営基盤の安定化を図る。

【指標・評価方法】

- ① 全員が主任介護支援専門員である強みを活かし、困難事例や急な動きを要する場などなどのケースも担当していく。
- ② 地域包括支援センターや医療機関からの相談を受けることのできる体制を整えていく。
- ③ 介護報酬における適切な加算算定を行っていく。

【結果】

- ① 地域包括支援センターからの相談に応じて困難事例を受け入れ、これまでの経験を活かしたことで、がん末期の方など急なサービス調整が必要なケースにも対応した。
- ② 担当件数については、要支援と要介護のバランスを考慮し、より多くの要介護者への支援が可能となるよう調整を行った。地域包括支援センターや病院からの相談に多く対応できたが、職員間で業務負担に偏りが生じる場面もあった。

- ③ 人員配置が安定していたことにより、特定事業所加算Ⅲを継続して算定することができた。初回加算や医療との連携による加算等についても、算定要件を都度確認しながら、各担当者の管理のもとで申請を行った。

2 居宅介護支援の運営

(1) 事業所の開設

居宅介護支援事業所の設置については、令和2年7月22日付で札幌市長に対し指定許可申請を行い、令和2年9月1日付けで、介護老人福祉施設手稲ロータスの併設事業として開設した。

概要は、次のとおり

施設 の 名 称 手稲ロータス指定居宅介護支援事業所
施設 の 所 在 地 札幌市手稲区稲穂3条6丁目7番5号
施設 の 種 類 居宅介護支援事業所

(2) 施設職員の配置状況 2025.3.31現在

		管 理 者	主任 介護 支援 専門 員	介 護 支 援 専 門 員	計
居 宅	現 員 (人)	1 (1)	2 (0)	0 (0)	3 (1)

※1 ()は兼務。○は非常勤の内数。

※2 基準配置については表記困難な為、現員についてのみ掲載。

(3) 居宅介護支援事業所 相談実件数及び相談内容

電話	来所	訪問	合計
1,550 件	20 件	1,200 件	2,770 件

介護保険関係						合計
制度全般	認定申請	在宅サービス	施設サービス	保険・利用料等	相談・苦情	
70 件	12 件	880 件	60 件	6 件	50 件	1,078 件

地域・福祉・医療関係						合計
高齢者福祉	障害制度	通院・入退院	介護予防	地域支援	その他	
0 件	6 件	72 件	7 件	0 件	70 件	155 件

(重複掲載)

(4) 介護度別 居宅介護サービス計画作成状況

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	前年合計
4月	0.0 件	2.3 件	6.7 件	58 件	26 件	11 件	2 件	3 件	109.0 件	87.0 件
5月	0.0 件	3.0 件	6.7 件	60 件	29 件	10 件	1 件	3 件	112.7 件	89.0 件
6月	0.0 件	3.0 件	6.7 件	58 件	31 件	10 件	1 件	4 件	113.7 件	93.0 件
7月	0.0 件	3.0 件	7.0 件	60 件	34 件	12 件	1 件	5 件	122.0 件	100.0 件
8月	0.0 件	3.0 件	7.3 件	59 件	33 件	13 件	2 件	5 件	122.3 件	104.0 件
9月	0.0 件	3.7 件	7.0 件	62 件	33 件	13 件	2 件	4 件	124.7 件	103.0 件
10月	0.0 件	3.3 件	6.0 件	61 件	30 件	12 件	6 件	3 件	121.3 件	107.0 件
11月	0.0 件	3.3 件	6.0 件	60 件	27 件	16 件	5 件	3 件	120.3 件	103.5 件
12月	0.0 件	3.0 件	5.3 件	58 件	26 件	19 件	8 件	2 件	121.3 件	103.5 件
1月	0.0 件	3.0 件	5.7 件	55 件	27 件	16 件	7 件	2 件	115.7 件	102.5 件
2月	0.0 件	2.7 件	5.7 件	56 件	27 件	16 件	6 件	1 件	114.4 件	96.0 件
3月	0.0 件	2.7 件	5.0 件	62 件	27 件	13 件	6 件	1 件	116.7 件	92.0 件
合計	0 件	36 件	75 件	709 件	350 件	161 件	47 件	36 件	1,414 件	1,181 件

(5) 苦情受付件数と主な内容

0 件		2024/4/1 ~ 2025/3/31		
部門	苦情申出者	内 容	第三者委員等の報告	結果
	なし	対応策 ⇒ ()		

(6) 介護事故件数

2024/4/1 ~ 2025/3/31

	誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬誤配	転倒	転落	打撲捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
居 宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※事故に至っていない「ヒヤリ・ハット」を含む件数を計上しております。

(重複掲載)

(7) 地域における公益的な取組

自動販売機売り上げに関する一部寄付(日本財団チャリティー)

老 健 手 稻

介 護 老 人 保 健 施 設 手 稻 あ ん じ ゆ
手稲あんじゅ(介護予防)通所リハビリテーション事業所
手稲あんじゅ(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

1 重点推進課題の実施報告

介護老人保健施設 手稲あんじゅ

入所(利用)者様が、安心して健康的な日常生活を送り、ご自身で行える生活動作の維持、拡大に取り組むことができるよう、各専門職がプロとしての意識を強く持ちながら協働し、根拠に基づいたチームケアを持続的に提供することができる体制を強化する。

また、新型コロナウイルス感染症を始めとした感染症からの感染予防対策を見直し、入所(利用)者様のコミュニティを拡大することで、生活環境の充実と満足度の向上を促進する。さらに、入所(利用)者様の生活をご家族と共に支えることができるよう、ご家族に入所(利用)者様の状況をより一層理解していただくことで、ご家族が抱く在宅介護への不安を軽減するための情報共有を強化する。

《重点推進課題》

1 プロの専門職として、根拠に基づいたチームケアを提供する

《中期経営計画(1)(2)(4)(7)》

職員一人ひとりが、入所(利用)者様が抱える生活上の希望や課題等に向き合い、寄り添い、そして共に笑顔になるため、ホスピタリティ精神を深めるとともに、プロの介護施設職員によるケアサービスが提供されることを強く意識し、さまざまな専門職から構成されるチーム力が発揮されるよう、根拠に基づくケアサービスの質と量が持続的、かつ安定的に提供することができる支援体制の強化に努める。

【指標・評価方法】

入所(利用)者様の生活全般を支えていく中で、重要な役割を担う介護職員のサービス提供体制とその内容を職員視点の業務にとらわれず、入所(利用)者様の生活リズムや希望等に合わせた、柔軟な対応が可能となるケアサービスの提供体制に組み直していく。具体的には、プロの介護職員が行うべきサービスとそれ以外のサービスの混在をできるだけ解消し、プロの介護職員が行うケアの質と量を増やし、その結果、入所(利用)者様が笑顔になる時間が増えるよう、業務の整理を行っていく。

また、入所(利用)者様が健康的な生活を維持することができるよう、口腔衛生や摂食・嚥下機能の評価に基づく経口維持への取組みを進めていくほか、褥瘡や感染症にかかる予防的ケアの推進を加速させるため、前年度(2023年度)に策定した各種マニュアルを着実に実行するとともに、委員会活動の活性化を進めていく。さらに、褥瘡や感染症等の外部専門家による研修や、万一、発生した場合に備えて「シミュレーション」を定期的に行うほか、転倒等の事故に対する予防的ケアを推進していくため、発生事故の分析方法の見直しや、有効的な再発防止対策を実行していくための各専門職の役割を明確にしていく取組みを進めていくことにより、入所(利用)者様の生活環境の向上と、職員がスキルアップできる機会をつくる。

加えて、職員一人ひとりが、ケアチームの一員であることを強く意識し、頼りきり体制ではなく、互助的体制のチームになるよう、入所(利用)者様に向けられるホスピタリティにと

どまらず、職員同士の関係においてもホスピタリティが形成されるチームづくりのため、グループワーク等による協力型研修の実施を進めていく。

【結果】

介護職員の役職者による定期会議を通じて介護現場における課題を抽出し、業務分担の見直しを進めたうえで、介護アシスタントを増員し、シフト交換等の間接業務を担う体制を強化した。また、法人として初めて特定技能職員を採用・受け入れたことをきっかけに、従来の業務内容やケア方法、マニュアル等を振り返り、見直す取り組みに着手することができた。これにより、入所(利用)者様の個別ニーズに応じたケア体制の構築が着実に進展している。

また、経口摂取の維持に向けては、歯科医師及び歯科衛生士との連携による口腔衛生管理に加え、管理栄養士を中心とした多職種連携によるミールラウンドを継続的に実施した。その結果、嚥下機能の低下や誤嚥性肺炎のリスクを抱える入所(利用)者様に対して、個別評価に基づく食事形態の見直し等を行い、生活の質の向上と予防的ケアの推進に取り組むことができた。

褥瘡予防の取組みにおいては、外部の認定看護師による集合研修の実施に加え、自動除圧クッションを新たに導入する等、除圧用具の活用を推進し、日常的に褥瘡予防ケアを提供できる環境の整備を図るとともに、職員の知識と技術の向上に努めた。

感染症予防に関しては、ノロウイルス感染症の流行に備えるため、吐物処理マニュアルの見直し、さらに外部の認定看護師による集合研修及び実地シミュレーション研修を通じて、具体的かつ実践的な対応方法に関する助言を受け、課題解決に向けた取組みを進めている。また、2024年12月に集団発生した新型コロナウイルス感染症への対応を振り返り、入所(利用)様の生活の質を確保するための具体的な課題を抽出し、感染症予防対策の修正を行った。

事故防止の取組みにおいては、発生要因に着眼した記入が行えるよう事故報告書の記入方法を見直し、効果的な再発防止策の立案が可能となったことで、リスク低減につながる実効性の高い対応を考案できる仕組みを構築した。さらに、センサーマット等の転倒予防に関するセンサー機器の使用基準、及び使用判断の評価方法を見直し、必要な場面において適切なセンサー機器の活用ができる体制を整備した。

加えて、職員一人ひとりが自らの接遇を振り返り、適切な接遇を実践できるよう接遇に関する自己点検、及び外部講師による集合研修をそれぞれ2回実施した。あわせて、職員間においてもホスピタリティを醸成させるため、グループワーク形式による協力型研修を行い、チーム力の向上と相互支援の姿勢の育成に努めた。

2 入所(利用)者様のコミュニティ拡大による生活環境の充実を推進する

《中期経営計画(1)(2)(3)》

入所(利用)様の健康的な生活を守るために行われる感染予防対策の実施は重要であるが、一方で、入所(利用)者様のコミュニティが縮減し、閉塞感からの不安が生じやすい環境にあることから、段階的に緩和している新型コロナウイルス感染症等からの感染症予防対策の見直しを進めていく。また、限定されるコミュニティの枠を超えて、ボランティア活動等の社会資源の活用や外出の確保等、幅広いコミュニティと地域社会に接する機会を増やし、入所(利用)者様の心が豊かになる生活の実現に向けた取組みを進めていく。

【指標・評価方法】

実施中の入所(利用)者様とご家族の直接面会の頻度や場所等に関する条件緩和の検討と実施のほか、四季を感じる機会を持つことができるよう、外出行事を再開する。

また、入所(利用)者様が意欲的にリハビリテーションを行うことができるよう、入所(退所)前の自宅環境等の評価に基づき、自宅における環境と介護量等に即した運動機能と認知機能に対するリハビリテーション、在宅復帰後の社会活動への参加を視野に入れた屋外環境におけるリハビリテーションの実施を促進する。

さらに、入所(利用)者様同士の会話が弾み、笑顔になる機会をつくるため、ケアプラン作成時におけるアセスメントに「興味・関心チェックシート」の内容を加え、入所(利用)者様が持つ共通の趣味や技能に関する活動幅が拡充できる環境を整えていく。

【結果】

入所(利用)者様とご家族の直接面会の頻度を増やしたことにより、入所(利用)者様とご家族の絆を深める機会が増加した。今後も、感染症予防対策の見直しに伴い、面会の頻度や方法について検討を進めていく。行事については、春季、及び秋季に外出行事を実施し、入所(利用)者様が季節の移ろいを感じるとともに、外出による喜びを実感できる機会を提供することができた。

また、在宅復帰を見据えた支援においては、入所(退所)前の住環境調査に加え、入所(利用)者様と生活を共にするご家族の生活リズム等、在宅介護の背景にも配慮したケアプランの作成に努めたことにより、在宅復帰後の活動や社会参加を見据えたりハビリテーションを効果的に実施することができた。

さらに、認知機能にアプローチするリハビリテーションでは、自宅での生活習慣に関する情報や「興味・関心チェックシート」を活用して趣味や関心事等を把握し、入所(利用)者様が意欲的かつ楽しみながら取り組める活動の提供を通じて、認知症の進行予防に取り組んだ。

加えて、余暇時間においては、トランプや装飾づくり等の活動を通じて、複数の入所(利用)者様同士の交流が生まれ、コミュニティの拡大につながった。

3 ご家族とともに入所(利用)者様の生活を支援する

《中期経営計画(2)(3)》

ご家族が入所(利用)者様の生活のご様子や変化等の情報を身近に感じることができるよう、施設とご家族を結ぶネットワーク環境を拡充させていく。また、入所(利用)者様とご家族の共生関係の絆が実感できる環境を整えていくとともに、介護保険施設の入所サービスを利用するご家族が抱きやすい不安や葛藤が、できるだけ緩和されるよう、ご家族の笑顔につなげていく。

【指標・評価方法】

コロナ禍における施設とご家族を結ぶネットワーク環境を整えるために開設したコミュニケーションツール(LINE(ライン)やメール)を使い、個人情報の使用に配慮しながら、入所(利用)者様の日常生活やそのご様子に関する動画の個別配信を行う等、ネットワーク環境の活用範囲を拡げていく。また、ご家族に毎月発行・送付している「お便り(あんじゅ通信)」を継続していくとともに、停止中の3か月に1回定期発行していた広報誌を再開させ、行事のご様子や施設からの案内等を発信するほか、地域の関係機関等へ積極的に情報発信していく礎を築いていく。

【結果】

毎月発行している「お便り(あんじゅ通信)」において、入所(利用)者様の日常生活や季節ごとの行事の様子を写真付きで紹介し、継続的にご家族との共有ツールとして活用している。また、コミュニケーションツール(LINE(ライン)やメール)を活用し、来所が難しいご家族に対して画像データを個別に配信する等、視覚的な情報提供を行うことで、電話のみでは伝えきれない具体的な情報をご家族と共有できる環境の整備に積極的に取り組むことができた。

さらに、休止していた「広報誌(すまいる)」を3か月に1回の頻度で再開し、ご家族に限らず地域の医療機関や居宅介護支援事業所等にも定期的に配布することで、施設の取組みを広く発信することに努めた。加えて、ホームページやSNS(Instagram(インスタグラム)やTikTok(ティックトック))についても積極的に活用し、施設内外での行事や日々の取組みの様子を幅広く配信し、広報活動のさらなる強化に努めた。

手稲あんじゅ（介護予防）通所リハビリテーション事業所

利用者様が「住み慣れた地域で過ごすことができる」ために、必要な生活動作の維持または獲得につながるよう、生活動作に密着したリハビリテーションや活動の機会を、多職種が協働して提供することができる体制を構築する。

また、利用者様の生活課題について、在宅介護を担うご家族と共に考え、共に課題の解決に向けて取り組むことができるよう、ご家族との接点を積極的に持ち、ご家族の不安を軽減できるよう支援することで、利用者様及びご家族から求められる事業所を目指す。

《重点推進課題》

1 利用者様の得意なことを見つけ、その動作の維持・獲得に向けた、リハビリ専門職を始めとした多職種からのアプローチ 《中期経営計画(1)》

利用者様が日常生活の中で「あんなことができるようになりたい」、「これからも続けていきたい」と願うことを日々の関わりやサービス担当者会議等を通じて「興味・関心チェックシート」を使って確認する。

また、その実現に必要な生活動作の維持と獲得に向けて、各専門職がプロの専門職によるチームとしての自覚を持ちながら協働して、利用者様へ個別かつ具体的なケアサービスの提供に努める。

【指標・評価方法】

利用者様が願う「できるようになりたいこと」、「これからも続けていきたいこと」を把握して、それらの実現に必要な生活の動作と環境を毎月のカンファレンスで協議する。特に、利用者様の生活動作においては、日常的に取り組むことができる点に着眼したリハビリテーションの内容を提供する。

加えて、利用者様の趣味趣向に基づき、利用者様が主体的に参加することができる余暇活動を提供する。

さらに、摂食・嚥下機能や栄養状態の課題を持つ利用者様には、言語聴覚士による摂食・嚥下機能の評価に基づき、機能維持・改善に向けたリハビリテーションを提供するとともに、管理栄養士と連携して、ご自宅でも安全に食事を摂取できるよう、栄養指導等を行う。

【結果】

「興味・関心チェックシート」に加えて、2024年9月から使用を開始した「生活状況確認シート」を通じ、利用者様の生活における過去と現在の役割・興味があることや、ご本人とご家族が考える目標等を具体的に聞き取ることにより、想いを組み込んだ、個別性のあるリハビリテーションを提供することができた。

また、利用者様の意向に基づいたカラオケや麻雀、作品作り等の活動が提供できる環境に整備し、利用者様の趣味や得意なことに関連する内容の余暇活動が創出されたほか、共通の趣味趣向の利用者様同士が声を掛け合う新たなコミュニティが形成される等、楽しみをもった時間を過ごしてもらうことができた。また、2025年3月に実施した「野菜の詰め放題」の企画では、日頃からのリハビリテーションにより維持・向上した身体機能や認知機

能を最大限に発揮する機会とするとともに、笑顔につながる時間を提供することができた。さらに、利用者様及びご家族からの食事や飲み込みに関する相談では、言語聴覚士が摂食・嚥下評価を行ったうえで、調理方法も含めた食事形態の提案や歯科受診の推奨、安全に食事等を摂取できる姿勢や環境などのアドバイスを迅速に行った結果、不安を解消することができ、言語聴覚士による継続的なリハビリテーションの実施につながった。

2 ご家族が抱える悩みや在宅生活継続の課題を把握と課題解決への取組み

《中期経営計画（2）》

利用者様とご家族の生活が一層豊かになることができるよう、介護方法や環境等に関する課題を持続的に把握し、ご家族と一緒に課題の解決に向けた取組みを進めていく。

【指標・評価方法】

サービス担当者会議や送迎サービスでの機会、アンケート調査を通じて、ご家庭ごとで抱える介護に関する課題を把握するとともに、把握した課題の解決に向けて、専門職が協働して解決策を考案し、介護支援専門員と情報共有を図りながら、迅速に助言を行う。

また、ご家族を当事業所に招く機会を設け、利用者様の当事業所での過ごし方を理解していただくとともに、ご家族が抱える在宅介護での悩みを直接に受け止め、共に解決策を見出す取組みを進める。

【結果】

送迎時やLINE(ライン)などの連絡手段を活用することにより、利用者様やご家族からの困りごとなどを迅速に把握するとともに、介護支援専門員との円滑な情報共有につながった。さらに、居宅での住環境や転倒事故に課題があるケースでは、担当者会議に限らず、リハビリ職員が直接に居宅を訪問し、手すり等の設置位置や福祉用具のアドバイスを行い、利用者様が安全かつ安心して居宅での生活を過ごすことができる環境を整えることができた。

また、新型コロナウイルス感染症からの感染症予防対策の継続により、ご家族を招く機会の実現には至らなかったが、2024年12月に実施したアンケート調査からも見学の希望があるため、2025年度に事業所の様子が伝えられる取組みを実行していきたい。

手稲あんじゅ(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

利用者様が、住み慣れた地域で希望する在宅生活を継続するために、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がそれぞれに専門性を発揮し、チームとして利用者様を支援できる体制を構築する。

《重点推進課題》

1 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の専門性が発揮される、多面的リハビリテーションの実施

《中期経営計画(1)》

利用者様の在宅生活における「困りごと」や「できるようになりたいこと」など、具体的な場面ごとにおける課題の解決に向けて、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が持つ特有の能力が発揮されたアセスメントを実施するとともに、各専門職間で情報を共有し、多面的リハビリテーションが提供できる体制を構築する。

また、利用者様の日常生活における役割の創出から在宅生活での潤いを感じられるよう、活動のバリエーションにアプローチするリハビリテーションを提供する。

【指標・評価方法】

毎月行われる部署内のリハビリテーション会議で、個別のケースが持つ課題を共有し、各専門職の意見を交わすとともに、ICF(国際生活機能分類)モデルに基づく課題の整理により、「活動」や「参加」の可能性を評価する。また、歩行能力を始めとした運動器リハビリテーションのみならず、摂食嚥下機能やコミュニケーション機能に関するリハビリテーションのほか、認知症を患っている利用者様が意欲的に参加できるリハビリテーションを提供する。

【結果】

部署内で利用者様のニーズや課題を共有し、必要に応じて各専門職による評価、及び専門的見地を踏まえ、利用者様の目標実現に向けたリハビリテーションプログラムを提供した。具体例として、家庭内における役割の継続と拡大を目指し、家事動作に課題を抱える利用者様に対して、理学療法士が身体機能の評価を実施し、その結果をもとに作業療法士が、家事動作の課題解決、及び別な役割の創出を目的とするリハビリテーションを実施した。また、失語症を有する利用者様とご家族に対しては、理学療法士による運動機能に関する評価結果を踏まえ、言語聴覚士が運動器リハビリテーションに加えてコミュニケーション支援に関するリハビリテーションを行い、利用者様とご家族間の円滑な意思疎通を促進するための支援を行う等、利用者様一人ひとりの課題やニーズに対して、従来の担当者の専門性ととどまらず、各専門職による多角的なアセスメントを実施する体制を整えた結果、利用者様とご家族が願う居宅生活の実現に向けた支援を行うことができた。

また、これまではケアマネジャーへの情報提供が中心であったが、利用者様が利用する他の居宅サービス事業者とも積極的に情報を共有し、連携強化に努めることができた。

2.介護老人保健施設の運営

(1)施設の開設

第二種社会福祉事業としての老人施設の設置については、介護保険法第94条の第1項の規定にもとづき、平成9年4月28日付けで北海道知事に対し設置許可申請を行い、平成9年5月23日付けで許可を受けた。

平成9年6月1日付けで「老人保健施設事業開始届」を北海道知事に提出し受理された。平成10年4月1日から直接処遇職員の配置を3.6:1から3:1とした。併せて、デイケア利用定員を20名から32名とした。また、平成15年4月15日付けで訪問リハビリテーション事業所を開設した。

平成18年4月1日より介護保険制度の改正に伴い居宅系サービスについては予防事業を開設した。

平成27年10月1日よりデイケア利用定員を32名から37名とした。

平成28年5月1日より従来のサービス提供時間に加え3時間以上4時間未満の短時間デイケアを開始した。

平成28年8月1日より介護老人保健施設における「在宅復帰・在宅療養支援加算」を算定した。

令和3年4月1日より短時間デイケアを廃止し、短時間の利用者様は、通常のサービス提供時間内での対応とした。

概要は、次のとおり

施設 の 名 称	介護老人保健施設 手稲あんじゅ
施設 の 所 在 地	札幌市手稲区稲穂5条2丁目6番1号
施設 の 種 類	介護老人保健施設 (介護予防)短期入所療養介護 (介護予防)通所リハビリテーション (介護予防)訪問リハビリテーション
入 所 定 員	90名(うち、(介護予防)短期入所療養介護は空床利用での運営)
通 所 定 員	37名(1日当たり)

(2)施設職員の配置状況

2025.3.31現在

		施 設 長	医 師	事 務 長	事 務 員	支 援 相 談 員	介 護 職 員	看 護 職 員	管 理 栄 養 士	リ ハ ビ リ 職 員	介 護 支 援 専 門 員	薬 剤 師	介 護 ア シ ス タ ン ト	介 助 員	運 転 手 ・ 用 務 員	夜 間 警 備 員	調 理 員	計	
入 所	基準数 (人)	1	1			1	21	9	1	1	1	1							37
	現員 (人)	1	(1)	1	1	4	38 ⑧	9	1	10 ①	(4)	委 託	4 (1)④	4 ④	2 ②	5 ⑤	委 託	80 ②④	
通 所	基準数 (人)	1	1				5			1	1								9
	現員 (人)	(1)	(1)			1	9 ③	2		9 (9)	(3)		1 ①		1 ①		委 託	23 ⑤	
訪 問 リ ハ	基準数 (人)	1	1							1									3
	現員 (人)	(1)	(1)							(9)									(9)

* ()は兼務。○は非常勤の内数。

(3)行事实施状況表

(入所・短期)

月	実施日	内 容	場 所	参加人数
4月	15日～17日	変わり湯の日(桜湯)	浴室	78名
	30日	お花見ドライブ(2階)	施設近郊(手稲区内)	12名
5月	1日	お花見ドライブ(2階)	施設近郊(手稲区内)	10名
	5日	お茶会(3階)	3階談話室	41名
	9日	お花見ドライブ(2階)	施設近郊(手稲区内)	13名
	13日～15日	変わり湯の日(薬湯)	浴室	81名
	15日	お茶会(2階)	2階食堂	41名
	28日	ドライブ外出(3階)	施設近郊(手稲区内)	9名
6月	1日	開設記念祝賀会	2階食堂、3階談話室	83名
	11日	ドライブ外出(3階)	施設近郊(手稲区内)	10名
	17日、19日	変わり湯の日(ジャズミン湯)	浴室	82名
	26日	テラスde日光浴(2階)	2階テラス	41名
	28日	テラスde日光浴(3階)	3階テラス	40名
7月	12日	ドライブ外出(3階)	施設近郊(手稲区内)	10名
	17日	テラスdeカフェ(2階)	2階テラス	40名
	22日～24日	変わり湯の日(桃の湯)	浴室	85名
8月	9日	夏祭り(3階)	3階談話室	45名
	21日	夏祭り(2階)	2階食堂	42名
	26日～28日	変わり湯の日(スカイミントの湯)	浴室	84名
9月	10日	テラスdeおやつ(3階)	3階テラス	40名
	16日	敬老祝賀会	2階食堂、3階談話室	84名
	26日～28日	変わり湯の日(ラベンダーの湯)	浴室	89名
10月	15～16日	秋のドライブ(2階)	施設近郊(手稲山)	39名
	17～18日	紅葉ドライブ(3階)	施設近郊(手稲山)	39名
	21～23日	変わり湯の日(りんごの湯)	浴室	88名
11月	18～20日	変わり湯の日(みかんの湯)	浴室	85名
	20日	おやつの日(2階)	2階食堂、談話室	40名
	22日	おやつレク(3階)	3階談話室	43名
2月	17～19日	変わり湯の日(レモンの湯)	浴室	85名
3月	17～19日	変わり湯の日(森の香り湯)	浴室	87名
	19日	お食事会	2階食堂、3階談話室	87名
	25日	おやつレク(3階)	3階談話室	45名

(通所)

月	実施日	内 容	場 所	参加人数
4月	15日～17日	変わり湯の日(桜湯)	浴室	53名
	24日～30日	誕生祝い週間	デイケアルーム	5名
5月	13日～15日	変わり湯の日(薬湯)	浴室	55名
	25日～31日	誕生祝い週間	デイケアルーム	4名
6月	1日	開設記念の日	デイケアルーム	26名
	17日、19日	変わり湯の日(ジャズミン湯)	浴室	41名
	24日～29日	誕生祝い週間	デイケアルーム	4名
7月	22日～24日	変わり湯の日(桃の湯)	浴室	58名
	25日～31日	誕生祝い週間	デイケアルーム	5名
8月	12日～17日	夏祭り週間	デイケアルーム	139名
	26日～28日	変わり湯の日(スカイミントの湯)	浴室	61名
	26日～31日	誕生祝い週間	デイケアルーム	6名
9月	16日	敬老のお祝い(賀寿対象者)	デイケアルーム	1名
	20日	10年継続利用のお祝い	デイケアルーム	1名
	26日～28日	変わり湯の日(ラベンダーの湯)	浴室	62名
	24日～30日	誕生祝い週間	デイケアルーム	5名
10月	14日～19日	レクリエーション週間	デイケアルーム	130名
	25日～31日	誕生祝い週間	デイケアルーム	10名
	21日～23日	変わり湯の日(りんご湯)	浴室	57名
11月	26日～28日	変わり湯の日(みかん湯)	浴室	65名
	25日～30日	誕生祝い週間	デイケアルーム	3名
12月	23日～28日	クリスマス週間	デイケアルーム	115名
	24日～30日	誕生祝い週間	デイケアルーム	6名
1月	16日～18日	変わり湯の日(ゆず湯)	浴室	55名
	20日～22日	変わり湯の日(しょうが湯)	浴室	59名
	25日～31日	誕生祝い週間	デイケアルーム	4名
2月	17日～19日	変わり湯の日(レモン湯)	浴室	60名
	22日～28日	誕生祝い週間	デイケアルーム	8名
3月	3日～8日	野菜の袋詰め放題	デイケアルーム	152名
	17日～19日	変わり湯の日(森の湯)	デイケアルーム	58名
	25日～31日	誕生祝い週間	デイケアルーム	7名

(4) 利用者の状況

ア. 年齢別構成状況(人)

	未満 5 64	65 5 69	70 5 74	75 5 79	80 5 84	85 5 89	90 5 94	95 以上	合 計	最低 年齢	最高 年齢	平均 年齢	前年 平均
男	0	1	2	1	2	5	3	1	15	69	98	84.3	83.1
女	0	0	1	3	15	14	26	13	72	70	103	89.3	90.5
計	0	1	3	4	17	19	29	14	87			86.8	86.8

イ. 要介護度別利用者状況(延人数)

性別	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合 計	平 均	前年平均
男	96	1,728	616	2,590	451	5,481	3.28	3.56
女	4,422	3,431	4,071	8,362	4,984	25,270	3.23	3.13
計	4,518	5,159	4,687	10,952	5,435	30,751	3.24	3.20

ウ. 介護保険者別構成状況(人)

	札幌市								石狩市	小樽市	余市町	江別市	新得町	小清水町	後志広域	当別町	合 計
	北	豊平	白石	西	東	中央	南	手稲									
男	0	0	0	1	2	0	1	10	0	0	1	0	0	0	0	0	15
女	0	1	1	5	0	3	0	54	0	5	1	0	1	0	1	0	72
計	0	1	1	6	2	3	1	64	0	5	2	0	1	0	1	0	87

エ. 入所者所得段階(人)

	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	合 計
男	0	0	3	12	15
女	5	4	34	29	72
計	5	4	37	41	87

オ. 健康保険加入状況(人)

	後期高齢者医療制度	国民健康保険	社会保険	組合健康保険	生活保護	合 計
男	13	2	0	0	0	15
女	67	1	0	0	4	72
計	80	3	0	0	4	87

カ. 在所者利用期間別構成状況(人)

	1年未満	1~2	2~3	3~4	4~5	5~6	6~7	7~8	8~9	9~10	10年以上	合 計
男	11	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	15
女	40	15	6	2	1	1	4	2	0	0	1	72
計	51	18	7	2	1	1	4	2	0	0	1	87

キ. 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)

	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
男	0	0	2	2	3	3	4	1	0	15
女	1	1	4	10	16	18	13	5	4	72
計	1	1	6	12	19	21	17	6	4	87

ク. 認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	合計
男	0	1	3	4	6	0	1	0	15
女	0	5	4	20	20	4	18	1	72
計	0	6	7	24	26	4	19	1	87

ケ. 通院状況(延人数)

	内科	精神科	循環器科	呼吸器科	外科	整形外科	形成外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	婦人科	眼科	耳鼻科	肛門科	合計
男	2	0	3	2	1	0	0	1	1	3		0	1	0	14
女	23	9	6	0	2	30	2	13	5	4	0	2	7	0	103
計	25	9	9	2	3	30	2	14	6	7	0	2	8	0	117

(重複掲載)

コ. 往診状況(延人数)

	内科	歯科	眼科	皮膚科	合計
男	0	13	0	0	13
女	0	100	0	0	100
計	0	113	0	0	113

(重複掲載)

サ. リハビリ実施状況(延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
短期集中リハビリ	140	256	250	226	260	323	353	309	57	171	182	187	2,714
認知症短期集中リハビリ	72	101	94	109	116	165	165	116	32	52	61	86	1,169
合計	212	357	344	335	376	488	518	425	89	223	243	273	3,883

シ. 入所・短期利用状況

利用状況	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計
	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	
入所利用延人数	2,360	2,430	2,292	2,305	2,509	2,503	2,547	2,380	2,577	2,569	2,249	2,528	29,249	28,887
短期利用延人数	97	92	166	212	131	129	151	174	78	32	100	142	1,504	1,385
1日平均人数	81.90	81.35	81.93	81.19	85.16	87.73	87.03	85.13	85.65	83.90	83.89	86.13	84.25	82.71
入所率(%)	91.00	90.39	91.04	90.22	94.62	97.48	96.70	94.59	95.16	93.23	93.21	95.70	93.62	91.90

ス. 入退所状況(人)

入所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計	
	家庭	6	4	2	13	7	8	5	7	8	1	4	8		73
病院	5	6	2	8	2	5	3	7	1	5	4	4	52	38	
他施設	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
合計	11	10	4	21	10	13	8	14	9	6	8	12	126	108	
退所	家庭	8	2	8	5	5	4	7	7	0	1	6	5	58	62
	病院	11	3	6	8	2	5	5	4	8	4	6	1	63	37
	他施設	1	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	1	6	5
	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	20	5	14	13	7	11	13	11	9	5	12	7	127	104

セ. 入所待機者状況(人)

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0

ソ. 入所者・利用者減免状況

	入所減免額			(介護予防)短期入所減免額			合計 (円)
	通常減免		1件当たり平均 (円)	特別減免		1件当たり平均 (円)	
	件数	金額(円)		件数	金額(円)		
4月	5	178,230	35,646	0	0	0	178,230
5月	4	141,130	35,283	0	0	0	141,130
6月	3	129,650	43,217	0	0	0	129,650
7月	4	166,940	41,735	0	0	0	166,940
8月	4	179,190	44,798	0	0	0	179,190
9月	4	153,470	38,368	0	0	0	153,470
10月	3	130,050	43,350	0	0	0	130,050
11月	3	101,510	33,837	0	0	0	101,510
12月	2	84,930	42,465	0	0	0	84,930
1月	2	84,530	42,265	0	0	0	84,530
2月	2	76,310	38,155	0	0	0	76,310
3月	2	84,550	42,275	0	0	0	84,550
合計	38	1,510,490	39,750	0	0	0	1,510,490

タ. (介護予防)通所実施状況

	登録人数	開放日数	利用人員	一日平均人数	利用率(%)	介護度別延べ人数(人)							サービス状況(回)					
						要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	入浴介助加算I	中重度者ケア体制	食事	リハマネ加算	短期集中個別リハ	送迎減算
4月	77	26	533	20.50	71.07	0	93	145	124	95	74	2	381	440	533	0	13	3
5月	78	27	579	21.45	77.20	10	108	147	137	103	74	0	400	461	579	0	16	1
6月	74	25	559	22.36	74.54	8	88	144	143	95	75	6	387	463	559	0	6	2
7月	77	27	612	22.67	81.60	7	97	163	153	111	72	9	447	508	612	0	8	2
8月	83	27	622	23.04	82.94	8	105	180	135	117	68	9	455	412	622	0	8	4
9月	81	25	565	22.60	75.34	8	95	185	125	103	41	8	395	462	565	0	0	1
10月	81	27	599	22.19	79.87	15	86	189	142	115	43	9	423	483	599	0	0	5
11月	81	26	612	23.54	81.60	12	86	202	132	123	48	9	437	514	612	0	0	3
12月	81	25	504	20.16	67.20	12	84	178	108	76	38	8	321	408	504	0	0	1
1月	82	25	534	21.36	71.20	13	83	178	138	83	39	0	364	438	534	0	0	0
2月	86	24	569	23.71	75.87	7	102	203	128	78	51	0	394	460	569	0	0	2
3月	89	26	626	24.08	83.47	8	108	243	131	83	53	0	426	501	617	0	0	3
合計	310	6,914	22,311	22.31	76.83	108	1,135	2,157	1,596	1,182	676	60	4,830	5,550	6,905	0	51	27
前年合計	310	5,712	18,431	18.43	63.47	29	867	1,244	1,402	1,148	845	177	4,115	4,731	5,713	0	96	19

※1.利用率は通常規模の上限(750名/月)を基に計上しています。

※2. 8月21日、22日、23日、24日、26日及び10月10日は算定要件を満たしていないため、中重度者ケア体制加算を算定していません。

チ. (介護予防)訪問リハビリテーション実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数 ()内は予防	5 (1)	6 (1)	6 (1)	5 (1)	6 (2)	5 (1)	6 (1)	6 (1)	4 (2)	4 (2)	5 (2)	6 (2)	64 (17)
延べ人数	62	57	58	64	69	62	68	65	36	41	48	56	686
前年延べ人数	47	47	63	80	75	62	60	46	42	29	34	54	639

(5) 苦情受付件数と主な内容

2 件				
部門	苦情申出者	内 容	第3者委員等の報告	結果
入所	ご家族	施設への問い合わせ先がわからない。また、「血尿が出た」と連絡を受けた後の経過報告がないことや、老人保健施設の機能についてこれまでの説明がわかりづらい等、支援相談員の対応に不安を訴える。	なし	解決済み
		対応策 ⇒ 支援相談員間で情報を共有しているため、特定の支援相談員に限らず対応ができることを説明する。また、今後は体調不良時等の経過と結果を連絡すること。		
入所	ご家族	3か月の間に体重が8kg以上増加し受診を考えていると連絡を受けたが、新規入所時には「2~3週間で2kg以上増えたら受診する」と説明を受けていた。なぜ、8kgも増加してから受診となったのか。施設の対応に不信を抱いているため文書で回答して欲しい。	なし	解決済み
		対応策 ⇒ ご家族への連絡に使用する媒体は内容により使い分け、より正確に伝達できるように努める。また、連絡相手の心情を十分に考慮して連絡する内容や時期を設定する。		

(6) 介護事故件数

重大事故 (行政報告)		誤嚥 (誤飲・誤食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	17	2	8	3	1	6	0	0	1	0	0	1	39
	短期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	17	2	8	3	1	6	0	1	1	0	0	1	40

事故 (施設内処理)		誤嚥 (誤飲・誤食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	0	0	95	1	4	0	0	0	0	0	0	9	109
	短期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通所リハ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	96	1	4	0	0	0	0	0	0	10	111

ヒヤリハット		誤嚥 (誤飲・誤食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	36	2	111	27	65	8	16	0	0	0	0	32	297
	短期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通所リハ	4	1	21	5	6	1	8	0	0	1	3	14	64
	訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	40	3	132	32	71	9	24	0	0	1	3	46	361

(7) 慰問・ボランティア状況

	名 前	内 容	来 所 日	延べ人数
団体				0 名
個人				0 名
慰問関係				0 名
合 計	※ 札幌市手稲区社会福祉協議会を通じてボランティアを募集(広報誌への掲載)したが、応募は無し。		延べ人数(団体)	0 名
			〃 (個人)	0 名
			〃 (慰問)	0 名
			〃 合計	0 名

(8) 実習生受入れ状況

受 入 期 間	人 数	受入日数	延べ人数	学 校 名	学 部 ・ 学 科	実 習 内 容
2024 . 7 . 1 ~ 2024 . 7 . 12	1	4	4	札幌医学技術福祉歯科専門学校	理学療法学科	1年次見学実習
2024 . 10 . 21 ~ 2024 . 11 . 1	2	4	8	札幌医学技術福祉歯科専門学校	理学療法士科	1年次見学実習
2025 . 3 . 3 ~ 2025 . 3 . 8	1	5	5	専門学校北海道リハビリテーション大学校	理学療法士科	1年次見学実習
	4	13	17			

(9) 地域における公益的な取組

<p><地域支援活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手稲ふれあいフェスティバルにおける施設見学会の受け入れを再開した。 ・ 札幌市立前田中学校の職業体験の受け入れを再開した。 ・ 積雪により、施設周辺の歩道が歩行できなくなることから、地域の通学(勤)者が安全に歩行ができるよう、歩道の除雪作業を実施した。 ・ 路面凍結による車両事故を予防するために、当施設近隣の車道にすべり止めの砂まきを実施した。 ・ 施設近郊で埋まってしまった地域住民の自家用車を救出した。
--

在 宅 手 稻

(介護予防)認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう

1. 重点推進課題の実施報告

(介護予防)認知症対応型共同生活介護事業所 手稲ゆうゆう

入居者様が手稲ゆうゆうで継続的に暮らしていくために、日常で楽しみにしている食事と日々の運動を通して、健康で充実した生活が送れるように支援する。

《重点推進課題》

1. 健康保持及び重度化予防

《中期経営計画（1）》

入居者様が健康に暮らせるよう、運動及び食事摂取、睡眠状況等の観察を継続し、健康保持を図る。

また、心に寄り添ったケアを実施する中で、認知症になっても幸福感が得られる環境や関係作りに努める。

【指標・評価方法】

- ① ご家族・協力医療機関の訪問診療医と情報を共有し、連携体制を構築する。
- ② 管理栄養士が作成した献立により、栄養バランスの摂れた食事を提供する。
- ③ 予防対策を継続しながら、状況に合わせたBCPの作成及び見直しを図る。
- ④ 日々の体操や入居者様一人ひとりに合わせた運動を行って、体力を維持する。
- ⑤ コロナ禍で中止していたユニット毎での外出行事を再開する。

【結果】

- ① 月2回の訪問診療結果を毎月の定期便りにてご家族へ報告している。体調に変化があった場合には訪問診療医とご家族に相談し、情報共有しながら対応できている。
- ② 日本栄養食品株式会社に献立を依頼し、管理栄養士が作成した栄養バランスを考慮した食事が提供できている。
- ③ 感染症予防対策委員会を中心にマニュアルを作成して実践している。2025年1月に入居者様2名がインフルエンザ、2月に入居者様3名、職員3名が新型コロナウイルスに罹患した。訪問診療医のアドバイスを得て、マニュアルを見直して対応している。
- ④ 日々の集団体操と、入居者様の身体状況に合わせた個別運動を実施できているが、感染症予防対策による居室での隔離を行った結果、認知症進行と体力の低下がみられている。
- ⑤ 4月から5月にかけて、桜の花見外出を行った。

2 (介護予防)認知症対応型共同生活介護の運営

(1)施設の開設

第二種社会福祉事業としての認知症対応型共同生活介護については、介護保険法（平成9年法律123号）第70条の規定及び同法第41条第1項の規定にもとづき、平成14年3月13日付で北海道知事に対し居宅サービス事業者指定申請を行い、平成14年4月1日付（石社福9001-10号）で指定を受けた。

認知症対応型通所介護については、介護保険法第78条の2第一項及び法第115条の11第1項の規定及び法第42条の2第1項及び法第54条の2第1項の規定にもとづき、平成18年5月31日付で札幌市長に地域密着型サービス事業者指定申請を行い、平成18年7月1日付（札介保(指)第762号）で指定を受けた。平成28年6月30日付（札介保(指)第11557号）で利用者の減少により事業を廃止した。

令和3年4月1日、組織の再編成を行い、総称を在宅地域支援施設「手稲ゆうゆう」とした。

概要は、次のとおり

施設の名称 グループホーム手稲ゆうゆう
 施設の所在地 札幌市手稲区稲穂5条2丁目6番5号
 施設の種類 (介護予防)認知症対応型共同生活介護
 入所定員 9名×2ユニット 計18名

(2)施設職員の配置状況

2025.3.31 現在

		施 設 長	管 理 者	計 画 作 成 担 当 者	介 護 職 員	計
入 居	現 員 (人)	(1)	(1)	(2)	17 ③	17 ③

※1 ()は兼務。○は非常勤の内数。

※2 基準配置については表記困難な為、現員についてのみ掲載。

(3) 行事实施状況表

月	実施日	内 容	場 所	参加人数
4月	30日	桜の花見外出	軽川周辺	9名
	30日	お好み献立	手稲ゆうゆう	18名
5月	1日	桜の花見外出	軽川周辺	8名
	12日	母の日祝い	手稲ゆうゆう	18名
6月	3日	開設記念祝賀会	手稲ゆうゆう	17名
	16日	父の日祝い	手稲ゆうゆう	18名
	28日	お好み献立	手稲ゆうゆう	18名
8月	4日	夏祭り	手稲ゆうゆう	18名
9月	13日	敬老祝賀会	手稲ゆうゆう	18名
10月	28日	お好み献立	手稲ゆうゆう	18名
11月	28日	手作りおやつ	手稲ゆうゆう	18名
12月	25日	クリスマス・忘年会	手稲ゆうゆう	18名
1月	3日	新年会	手稲ゆうゆう	18名
	28日	手作りおやつ	手稲ゆうゆう	18名
2月	2日	節分	手稲ゆうゆう	18名
	22日	お好み献立	手稲ゆうゆう	18名
3月	3日	ひな祭り	手稲ゆうゆう	18名
	12日	手作りおやつ	手稲ゆうゆう	18名
<通年>	誕生会 …………… 各入居者の誕生日に実施		手稲ゆうゆう	18名
			参加述べ人数	322名

(4)利用者の状況

ア. 年齢別構成状況(人)

	未満 5 64	65 5 69	70 5 74	75 5 79	80 5 84	85 5 89	90 5 94	95 以上	合計	最低 年齢	最高 年齢	平均 年齢	前年 平均
男	0	0	0	0	1	1	0	0	2	84	87	85.5	83.0
女	1	0	0	0	2	4	3	6	16	63	103	90.0	88.8
計	1	0	0	0	3	5	3	6	18			89.5	88.5

イ. 要介護度別利用者状況(延人数)

性別	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	平均	前年平均
男	365	127	0	0	0	492	1.25	1.45
女	380	2,880	1,957	359	332	5,908	2.55	2.14
計	745	3,007	1,957	359	332	6,400	2.45	2.10

ウ. 介護保険者別構成状況(人)

	札幌市										合計
	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
女	1	1	0	0	0	0	0	0	1	13	16
計	1	1	0	0	0	0	0	0	1	15	18

エ. 健康保険加入状況(人)

	後期高齢者医療制度	国民健康保険	社会保険	組合健康保険	生活保護	合計
男	2	0	0	0	0	2
女	13	0	0	0	3	16
計	15	0	0	0	3	18

オ. 在所者利用期間別構成状況(人)

	1年未満	1~2	2~3	3~4	4~5	5~6	6~7	7~8	8~9	9~10	10年以上	合計
男	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
女	1	2	3	0	3	2	1	1	0	1	2	16
計	2	3	3	0	3	2	1	1	0	1	2	18

カ. 認知症の原因(人)

	脳血管障害	アルツハイマー	老年性	その他	合計
男	0	0	1	1	2
女	0	10	1	5	16
計	0	10	2	6	18

キ. 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)

	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
男	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
女	0	0	2	1	10	2	1	0	0	16
計	0	0	3	1	11	2	1	0	0	18

ク. 認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
男	0	0	0	2	0	0	0	0	2
女	0	0	2	2	6	1	3	2	16
計	0	0	2	4	6	1	3	2	18

ケ. 入居利用状況

利用状況	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計
	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
入所利用延人数	531	495	535	558	558	540	535	486	558	555	501	548	6,400	6,420
1日平均人数	17.70	15.97	17.83	18.00	18.00	18.00	17.26	16.20	18.00	17.90	17.89	17.68	17.54	17.54
入所率(%)	98.33	88.71	99.07	100.00	100.00	100.00	95.88	90.00	100.00	99.46	99.40	98.21	97.41	97.45

コ. 入退居状況(人)

入居	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計
	家庭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
他施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	5
退居	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計
	家庭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病院	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	3
他施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	5

サ. 入居待機者状況

	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男		0	0	0	0	0	0	0
女		0	0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	0	0	0	0

シ. 利用者減免状況

	入居減免額			合計
	通常減免		1件当平均	
	件数	金額		
4月	4	30,000	7,500	30,000
5月	4	35,800	8,950	35,800
6月	4	30,000	7,500	30,000
7月	4	35,800	8,950	35,800
8月	4	35,800	8,950	35,800
9月	4	30,000	7,500	30,000
10月	4	35,800	8,950	35,800
11月	4	30,000	7,500	30,000
12月	4	35,800	8,950	35,800
1月	4	35,800	8,950	35,800
2月	4	18,400	4,600	18,400
3月	3	26,850	8,950	26,850
合計	47	380,050	97,250	380,050

(5) 苦情受付件数と主な内容

0 件				
部門	苦情申出者	内 容		第3者委員等の報告
グループホーム		対応策 ⇒		無し
				解決

(6) 介護事故件数

重大事故 (行政報告)	種別	誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	件数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

事故 (施設内処理)	種別	誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	件数	0	0	11	1	2	1	0	0	0	0	0	0	15

ヒヤリハット	種別	誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	件数	0	2	3	1	3	0	0	0	0	0	0	5	14

(7) 慰問・ボランティア状況

	名 前	内 容	来 訪 日	延べ人数
慰問		感染症予防のため受入中止		0名
ボランティア		感染症予防のため受入中止		0名
			合計延べ人数	0名

(8) 地域における公益的な取組

<地域支援活動> 手稲ふれあいフェスティバル参加(R6.10.25開催)

手 稲 ゆ う ゆ う 通 所 介 護 事 業 所

1. 重点推進課題の実施報告

手稲ゆうゆう通所介護事業所

手稲ゆうゆう札幌市指定相当通所型サービス事業所

手稲ゆうゆう小樽市指定相当通所型サービス事業所

利用者様が自宅での生活を継続していくため、生活機能の維持及び向上を目指していく中で、感染予防対策を講じながらも、笑顔で楽しみながら参加できる環境をつくる。

また、利用者様の在宅生活に寄り添うため、ご家族が抱える不安や悩みを聞き取ることにより、ご家族の介護負担軽減を図り、利用者様とご家族がともに笑顔で過ごしていくことを支援する。

《重点推進課題》

1. 利用者様が笑顔で主体的に取り組むことができる活動の充実

《中期経営計画（1）》

新型コロナウイルス感染症に対する感染予防対策を見直して、事業所内外で行う活動や他者交流の機会を増やす。

【指標・評価方法】

- ① 利用者様への活動制限及び職員の業務負担軽減を考慮するため、感染症予防対策の見直しを図る。
- ② 一定の感染予防対策のルールを定めたうえで、ボランティアの受け入れを再開する。
- ③ 利用者様の満足度を高めるため、レクリエーションや小集団プログラムの種類を増やす。また、利用者様に地域・社会参加や運動の機会を提供するため、感染予防対策を実施したうえで、外出行事を再開する。

【結果】

- ① 利用者様の体温チェック表による管理を終了する。利用前の体温測定は継続して依頼。アンケート調査を行い、フロアのパーティション撤去を検討するも、少数の意見ながら設置していることで安心できるとのことで、撤去は見送る。外出行事や食レクを実施し、単発の増回希望者も募ることができた。
- ② 音楽ボランティアの受け入れを2度実施した。個別機能訓練実施については、参加者を増加、楽しく参加できるプログラムを実施できている。
- ③ レクリエーションについて、持ち帰り作品提供を再開することができた。感染予防対策で実施できなかった季節に応じた行事についても、随時再開することができている。

2. 利用者様が自宅での生活を続けていくために、効果的な運動機会の提供

《中期経営計画（1）（2）》

職員が利用者様の自宅を訪問する機会を増やすことにより、生活面での課題や、ご家族が抱えている潜在的なニーズを把握し、適切かつ効果的なプログラムを準備提供する。

【指標・評価方法】

利用者様の自宅環境を職員が把握することにより、サービス提供時の運動や訓練時に、自宅環境を想定した内容のプログラムを行う。また、ご家族から生活状況を定期的に聞き取るにより、利用者様の状態に応じた適切なケア方法を職員間で共有し、実践する。

【結果】

- ① セラピストによる個別機能訓練計画書に基づいたアセスメントができており、プログラムの内容を充実させている。運動による効果を今後評価するとともに、継続して増加者を見込んでいく。カンファレンスとデイサービス会議で利用者様の情報やケア方法を検討している。またヒヤリハット報告書を簡潔な書式に変更し、事故防止の目を養うことができている。

2 通所介護・第1号通所(介護予防)事業の運営

(1) 施設の開設

第二種社会福祉事業としての老人デイサービス事業の設置については、札幌市長に対し設置許可申請を行い、平成元年7月1日付で受理され、老人デイサービスB型事業を開始。

平成18年4月1日より介護保険制度の改正に伴い、居宅系サービスについては予防事業を開設した。

平成29年4月1日より介護予防・日常生活支援総合事業開始に伴い、介護予防事業については第1号通所事業へ移行となる。

令和元年5月1日に併設していた特別養護老人ホームが移転したため、その後、一部改築し令和元年10月28日より通所事業を移転する。

令和3年4月1日に「手稲ロータス通所介護所業所」から「手稲ゆうゆう通所介護事業所」へ名称を変更。

概要は、次のとおり

施設名称 手稲ゆうゆう通所介護事業所
 施設の所在地 札幌市手稲区稲穂5条2丁目6番5号
 施設の種類 通所介護・第1号通所(介護予防)事業
 通所定員 40名(1日当たり)

(2) 施設職員の配置状況

2025.3.31 現在

		施設 長	管 理 者	生 活 相 談 員	介 護 職 員	看 護 職 員	機 能 訓 練 指 導 員	介 護 支 援 専 門 員	介 護 ア シ ス タ ン ト	運 転 手	介 助 員	事 務 員	管 理 栄 養 士	栄 養 士	調 理 員	計
通 所	基準数 (人)		1	1	6	1	1									10
	現員 (人)	1 (1)	1 (1)	4 (4)	8② (4)	4③ (4)	4③ (4)			3②	1①				委 託	26 18

※ ()は兼務。○は非常勤の内数。

(3) 行事实施状況表

月	実施日	内 容	場 所	参加人数
4月	8-20日	持ち帰り作品	ダイルーム	10名
	25-27日	変わり湯(新緑)	浴室	57名
	29-5/4日	桜ドライブ	新川通	152名
5月	27-29日	変わり湯(ひのき)	浴室	48名
6月	10日	はっぴー☆コンサート	ダイルーム	33名
	19-21日	変わり湯(ラベンダー)	浴室	63名
7月	29-31日	変わり湯(濃厚リンゴ)	浴室	51名
8月	27日	食レク(どら焼き)	居室(ひさし)	26名
8月	29-31日	変わり湯(マスカット)	浴室	52名
9月	19-21日	敬老祝賀会	ダイルーム	68名
	23-25日	変わり湯(リリー)	浴室	51名
10月	7-9日	食レク(焼き芋)	ダイルーム・車庫前	69名
	19日	はっぴー☆コンサート	ダイルーム	30名
	24-26日	変わり湯(ローズ)	浴室	53名
11月	25-30日	変わり湯(リンゴ)	浴室	106名
12月	23-28日	変わり湯(ゆず)	浴室	96名
	25日	はっぴー☆コンサート	ダイルーム	18名
1月	20-22日	新年会	ダイルーム	70名
	20-25日	変わり湯(みかん)	浴室	112名
2月	17-22日	変わり湯(マスカット)	浴室	125名
3月	17-19日	変わり湯(みかん)	浴室	118名
	24-29日	食事レクリエーション(甘酒)	居室(ひさし)	6名
<通年>	誕生会	… 各利用者の誕生日に近い利用日に実施	施設内	85名
			参加延べ人数	1,499名

(4)利用者の状況

ア. 利用者減免状況

	通所介護・第1号通所事業減免額					合計 (円)
	通常減免		特別減免		1件当平均 (円)	
	件数	金額(円)	件数	金額		
4月	3	8,995	0	0	2,998	8,995
5月	3	8,900	0	0	2,967	8,900
6月	3	8,760	0	0	2,920	8,760
7月	3	9,816	0	0	3,272	9,816
8月	3	8,803	0	0	2,934	8,803
9月	3	8,069	0	0	2,690	8,069
10月	3	8,806	0	0	2,935	8,806
11月	3	7,745	0	0	2,582	7,745
12月	3	8,178	0	0	2,726	8,178
1月	2	5,449	0	0	2,725	5,449
2月	2	5,116	0	0	2,558	5,116
3月	2	5,087	0	0	2,544	5,087
合計	33	93,724	0	0	33,850	93,724

イ. 通所介護・第1号通所事業実施状況

	登録人数	開放日数	利用人員	一日平均人数	利用率(%)	介護度別延べ人数(人)						サービス状況(回)			
						要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	入浴	食事	個別機能訓練
4月	84	26	638	24.54	61.35	16	84	273	189	7	4	0	402	638	106
5月	89	27	661	24.49	61.21	26	85	294	194	52	5	5	386	661	111
6月	90	25	645	25.80	64.50	21	81	302	180	50	7	4	406	645	105
7月	90	27	701	25.97	64.91	25	87	333	193	52	7	4	431	701	121
8月	91	27	638	23.63	59.08	26	78	297	172	49	11	5	399	638	119
9月	87	25	573	22.92	57.30	26	81	260	162	31	10	3	373	573	131
10月	83	27	601	22.26	55.65	33	92	262	169	25	16	4	389	601	141
11月	86	26	567	21.81	54.52	33	75	255	151	32	18	3	377	567	140
12月	87	25	531	21.24	53.10	32	78	236	129	37	16	3	340	531	138
1月	85	25	553	22.12	55.30	32	87	245	142	33	14	0	365	553	136
2月	92	24	583	24.30	60.73	40	89	213	126	34	21	0	373	583	160
3月	92	26	643	24.74	61.83	47	111	296	116	44	29	0	397	643	198
合計	310	7,334	23,666	59.15	357	1,028	3,266	1,923	446	158	31	4,638	7,334	1,606	
前年合計	312	7,973	25,566	63.89	341	1,273	2,916	2,072	1,109	229	33	4,904	7,973	1,130	

(5) 苦情受付件数と主な内容

0 件						
部門	苦情申出者	内 容			第3者委員等の報告	結果
通所	無					

(6) 介護事故件数

(行重大事故報告)	種別	誤嚥 (誤飲・誤食・窒息等)	誤薬誤配	転倒	転落	打撲捻挫脱臼変色	火傷裂傷皮膚剥離	無断外出行方不明	送迎車による事故	自傷行為暴力	職員言動処遇	溺水	その他	合計
	件数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(施設内処理) 事故	種別	誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬誤配	転倒	転落	打撲捻挫脱臼変色	火傷裂傷皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車による事故	自傷行為暴力	職員言動処遇	溺水	その他	合計
	件数	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5

ヒヤリハット	種別	誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬誤配	転倒	転落	打撲捻挫脱臼変色	火傷裂傷皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車による事故	自傷行為暴力	職員言動処遇	溺水	その他	合計
	件数	0	1	39	2	0	0	0	4	0	0	0	15	61

(7) 慰問・ボランティア状況

	名前	内容	来訪日	延べ人数
個人	個人ボランティア様	利用者が書いた書道の添作	月1回 自宅玄関で受け渡し	1名 6回
個人	Torios Ensemble様	はっぴー☆コンサート(音楽演奏会)	6/12, 10/19	9名 2回
			合計延べ人数	10名

(8) 実習生受入れ状況

受入期間	人数	受入日数	延べ人数	学校名	学部・学科	実習内容
2024. 9. 24 ~ 2024. 9. 27	1	4	4	専門北海道福祉・保育大学校	介護福祉学科	施設内実習
2024. 11. 26	5	1	5	札幌市立前田中学校	なし	職業体験学習
合計	6	5	9			

(9) 地域における公益的な取組(事例について自由記述)

<地域支援活動> 手稲ふれあいフェスティバル参加(2024.10.25開催)

手稲ゆうゆう 指定居宅介護支援事業所

1. 重点推進課題の実施報告

手稲ゆうゆう指定居宅介護支援事業所

超高齢化社会(2025年問題)が目前に迫っており、札幌市の高齢者人口も年々増え、介護を必要とする方々も増えていきます。地域で介護を必要としている高齢者の方々、また、その家族の方々の心配や不安を軽減し、多くの方々が住み慣れた地域での生活を継続できるように支援していきます。

《重点推進課題》

1. 「担当利用者の安定と知識・職員個人のスキルアップ」

《中期経営計画 (3)(5)(7)》

より多くの利用者支援を目指し、契約終了と新規受け入れのバランスを考え、介護支援専門員一人当たりの担当件数の安定を図る。

また、様々な環境と背景をお持ちの方々に対応できるように、介護支援専門員個々の知識やスキルアップも図る。

【指標・評価方法】

- ① 当事業所の受け入れ可能情報を関係機関に定期的に発信する。
- ② 当事業所をより多くの方々に認知して頂けるように、手稲区合同で行われる認知症カフェへの参加継続や、事業所や高齢者住宅へのネットワーク強化を図る。特に、手稲区以外の提供地域である西区・北区・石狩市・小樽市の新規受け入れに力を入れる。また、利用者様の細目な統計をとることで、客観的な評価を行えるようにし、新規の利用者様受け入れに繋がるよう取り組む。
- ③ 高齢者分野に限らず、障がい者・ヤングケアラー等の他分野の研修に職員一人ひとりが参加し知識を深める。そして、学んだことを他職員に伝達研修し、口頭で他者に伝えるという対人援助技術の向上にも取り組む。

【結果】

- ① 事業所の新規受け入れ情報については、電話にてご相談をいただいた際や、施設見学等に出向いた際に発信し、気軽に相談をいただける様体制作りに努めた。
- ② 手稲区での認知症カフェの開催の連絡はなかった為、参加はできなかったものの、4月の異動に伴う介護支援専門員の着任により、小樽市の新規相談の件数を増やす事ができた。またネットワーク強化を目的として、新設や既存の高齢者住宅等に出向き、顔の見える関係作りを構築する事ができた。またその様な機会により新たな社会資源の情報収集と共に、事業所の営業も併せて行う事ができた。今後も地道な積み重ねを行いながら、事業所の存在をできるだけ多くアピールしていきたい。
- ③ 2024年度から特定事業所加算の算定要件として、ヤングケアラーの研修等に参加する事が必須となった為、年度後半に研修動画を、スタッフで視聴した。
今までは高齢者支援を主として、それを支える家族の支援も必要に応じて行ってきた

が、様々な家族背景がある中で、孫に相当する年代の方がその役割を担っている生活状況も出てくる事が予想される。そのようなケースの支援策を検討していく必要がある事を踏まえ、2024年度の研修動画を皮切りに、今後はもう少し踏み込んだ勉強会が必要であると感じている。

2 居宅介護支援の運営

(1) 事業所の開設

在宅介護支援センターの設置については、老人福祉法(昭和57年法律80号)第6条の2の規定にもとづき、平成10年10月16日付けで、札幌市長と委託契約締結した。

平成12年4月1日、介護保険法施行により、居宅介護支援事業所を開設した。

平成15年4月1日、支援費制度施行により、居宅介護事業所を開設した。

令和 3年4月1日、組織の再編成により、総称を在宅地域支援施設「手稲ゆうゆう」とし、事業所名を「手稲ゆうゆう指定居宅介護支援事業所」へ名称変更した。

概要は、次のとおり

施設 の 名 称	手稲ゆうゆう指定居宅介護支援事業所
施設 の 所 在 地	札幌市手稲区稲穂5条2丁目6番5号
施設 の 種 類	居宅介護支援事業所

(2) 施設職員の配置状況 2025.3.31 現在

		管 理 者	主任 介護 支援 専門 員	介 護 支 援 専 門 員	計
居 宅	現 員 (人)	1 (1)	1 (1)	1	3 (2)

※1 ()は兼務。○は非常勤の内数。

※2 基準配置については表記困難な為、現員についてのみ掲載。

(3) 居宅介護支援事業所 相談実件数及び相談内容

電話	来所	訪問	合計
108 件	0 件	383 件	491 件

介護保険関係						合計
制度全般	認定申請	在宅サービス	施設サービス	保険・利用料等	相談・苦情	
85 件	1 件	245 件	11 件	0 件	0 件	342 件

地域・福祉・医療関係						合計
高齢者福祉	障害制度	通院・入退院	介護予防	地域支援	その他	
4 件	0 件	13 件	0 件	0 件	246 件	263 件

(重複掲載)

(4) 介護度別 居宅介護サービス計画作成状況

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	前年合計
4月	0.0 件	0.3 件	3.0 件	49 件	36 件	14 件	5 件	1 件	108.3 件	128.5 件
5月	0.0 件	0.3 件	3.3 件	48 件	36 件	15 件	3 件	1 件	106.6 件	121.5 件
6月	0.0 件	0.3 件	3.0 件	50 件	34 件	16 件	4 件	1 件	108.3 件	122.5 件
7月	0.0 件	0.6 件	3.6 件	55 件	37 件	13 件	4 件	3 件	116.2 件	119.0 件
8月	0.0 件	0.6 件	4.0 件	53 件	34 件	13 件	4 件	3 件	111.6 件	123.5 件
9月	0.0 件	1.3 件	3.6 件	53 件	30 件	13 件	4 件	3 件	107.9 件	125.5 件
10月	0.0 件	1.0 件	4.3 件	54 件	33 件	11 件	5 件	2 件	110.3 件	117.5 件
11月	0.0 件	1.3 件	5.0 件	53 件	36 件	10 件	7 件	3 件	115.3 件	119.0 件
12月	0.3 件	1.3 件	5.3 件	53 件	37 件	10 件	4 件	3 件	113.9 件	120.0 件
1月	0.3 件	1.3 件	5.0 件	49 件	34 件	10 件	6 件	2 件	107.6 件	119.5 件
2月	0.3 件	1.3 件	5.0 件	55 件	34 件	9 件	6 件	2 件	112.6 件	120.5 件
3月	0.3 件	1.3 件	5.0 件	51 件	36 件	10 件	6 件	2 件	111.6 件	121.5 件
合計	1 件	11 件	50 件	623 件	417 件	144 件	58 件	26 件	1,330 件	1,459 件

(5) 苦情受付件数と主な内容

0 件						
部門	苦情申出者	内 容			第3者委員等の報告	結果
		対応策 ⇒ ()				

(6) 介護事故件数

	誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬誤配	転倒	転落	打撲捻挫脱臼変色	火傷裂傷皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車による事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
居宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※事故に至っていない「ヒヤリ・ハット」を含む件数を計上しております。

(重複掲載)

(7) 地域における公益的な取組

(地域支援活動及び住民ふれあいの場の提供) ・手稲ふれあいフェスティバル参加 (2024.10.25開催)
--

手 稲 ゆ う ゆ う 訪 問 介 護 事 業 所
手 稲 ゆ う ゆ う 居 宅 介 護 事 業 所

1. 重点推進課題の実施報告

手稲ゆうゆう訪問介護事業所

手稲ゆうゆう札幌市指定相当訪問型サービス事業所

手稲ゆうゆう小樽市指定相当訪問型サービス事業所

手稲ゆうゆう指定居宅介護事業所

訪問介護サービスの需要が増加する一方で、訪問介護員の不足を強く感じる状況にある。需要と供給のバランスを考え、利用者様の状態に応じて、必要となるサービスを安定的に提供していく。

《重点推進課題》

1. 安定したサービスの提供

《中期経営計画（1）（4）》

利用者様・ケアマネジャーとの信頼関係を築き、安定したサービスを提供することで利用者様の自立支援に向けた支援を行う。

【指標・評価方法】

- ① 報告・連絡・相談の的確な指示が可能となるよう、ICT(ケアパレット、LINE ワークス等)を活用し、職員間での情報共有を円滑に行う。
- ② 介護職員の高齢化や担い手不足により、訪問介護職員の新規採用については極めて難しい状況である。現在在籍中の職員一人ひとりが長期的に就労できるよう、稼働内容を確認しながら調整する。また、訪問介護職員の不安や不満を聞き取れる環境作りやヘルパー会議の機会を持つ。
- ③ 訪問介護員の欠員等の急な代行にも対応できるよう、サービス提供責任者の担当件数見直しを行う。

【結果】

- ① ICT 活用により、各ヘルパーとのやり取りが円滑に行われている。
- ② 2024年10月、職員紹介にて非常勤ヘルパー1名採用。毎月少人数でのヘルパー会議を行い、近況報告を受けて適宜対応している。
- ③ 非常勤ヘルパーの高齢化に伴い、新規受け入れが難しく、お断りせざるを得ない状況が出ている。常勤職員の業務量に余裕がなく、代行対応ができていない。

2 (介護予防)訪問介護の運営

(1) 事業所の開設

ホームヘルプサービス事業については、平成11年10月1日付けで、札幌市長と委託契約締結した。

平成12年4月1日、介護保険法施行により、訪問介護事業所を開設した。

平成15年4月1日、支援費制度施行により、居宅介護事業所を開設した。

令和 3年4月1日、組織の再編成により、総称を在宅地域支援施設「手稲ゆうゆう」とし、事業所名を「手稲ゆうゆう訪問介護事業所」へ名称変更した。

概要は、次のとおり

施設 の 名 称	手稲ゆうゆう(介護予防)訪問介護事業所 手稲ゆうゆう指定居宅介護事業所
施設 の 所 在 地	札幌市手稲区稲穂5条2丁目6番5号
施設 の 種 類	訪問介護事業所

(2) 施設職員の配置状況 2025.3.31 現在

		管 理 者	サ ー ビ ス 提 供 責 任 者	訪 問 介 護 員	計
訪 問	現 員 (人)	(1)	(1)	12 ⑫	15 (1) ⑫

※1 ()は兼務。○は非常勤の内数。

※2 基準配置については表記困難な為、現員についてのみ掲載。

(3)訪問介護事業 訪問時間数

ア. 介護保険サービス

月	利用実人数	身 体	身体・生活	生 活	合 計	前年合計
4月	67名	103.3時間	251.5時間	66.5時間	421.3時間	481.7時間
5月	67名	93.8時間	278.3時間	64.3時間	436.4時間	423.2時間
6月	62名	115.5時間	248.8時間	52.8時間	417.1時間	461.0時間
7月	67名	106.0時間	258.1時間	61.8時間	425.9時間	421.6時間
8月	64名	104.5時間	244.0時間	54.9時間	403.4時間	458.3時間
9月	67名	96.0時間	269.3時間	44.0時間	409.3時間	436.6時間
10月	62名	98.1時間	272.6時間	37.0時間	407.7時間	473.0時間
11月	60名	110.8時間	263.1時間	32.8時間	406.7時間	504.8時間
12月	60名	97.6時間	256.4時間	32.5時間	386.5時間	445.2時間
1月	61名	110.5時間	278.6時間	30.3時間	419.4時間	445.8時間
2月	64名	100.1時間	274.8時間	24.0時間	398.9時間	459.9時間
3月	63名	116.4時間	279.5時間	31.0時間	426.9時間	467.0時間
合計	764名	1,252.6時間	3,175.0時間	531.9時間	4,959.5時間	5,478.1時間

イ. 介護保険サービス (総合)

月	利用実人数	合計	前年合計
4月	48名	198.9時間	191.3時間
5月	46名	201.1時間	211.3時間
6月	46名	171.3時間	219.5時間
7月	45名	187.3時間	217.3時間
8月	47名	174.0時間	224.3時間
9月	46名	173.3時間	199.5時間
10月	51名	222.9時間	222.7時間
11月	54名	199.0時間	200.8時間
12月	54名	188.5時間	198.3時間
1月	52名	185.5時間	182.0時間
2月	52名	188.9時間	182.0時間
3月	45名	209.4時間	190.3時間
合計	586名	2,300.1時間	2,439.3時間

ウ. 障害福祉サービス

月	利用実人数	障 害	精 神	知 的	重 度	合 計	前年合計
4月	13名	129.0時間	56.0時間	0.0時間	62.5時間	247.5時間	274.6時間
5月	12名	128.0時間	42.5時間	0.0時間	71.0時間	241.5時間	272.8時間
6月	12名	109.0時間	23.5時間	0.0時間	62.0時間	194.5時間	269.8時間
7月	11名	120.3時間	43.5時間	0.0時間	64.5時間	228.3時間	286.8時間
8月	11名	106.0時間	36.0時間	0.0時間	67.5時間	209.5時間	253.0時間
9月	10名	90.5時間	33.0時間	0.0時間	57.5時間	181.0時間	248.6時間
10月	10名	107.5時間	32.0時間	0.0時間	67.5時間	207.0時間	254.6時間
11月	10名	104.0時間	32.0時間	0.0時間	64.5時間	200.5時間	279.0時間
12月	9名	101.3時間	34.3時間	0.0時間	63.5時間	199.1時間	260.8時間
1月	10名	95.8時間	30.0時間	0.0時間	67.0時間	192.8時間	252.1時間
2月	9名	97.0時間	29.0時間	0.0時間	56.5時間	182.5時間	243.3時間
3月	8名	107.5時間	28.8時間	0.0時間	64.0時間	200.3時間	256.6時間
合計	125名	1,295.9時間	420.6時間	0.0時間	768.0時間	2,484.5時間	3,152.0時間

(4) 苦情受付件数と主な内容

0 件				
部門	苦情申出者	内 容		第3者委員等の報告
訪介	無	対応策 ⇒		

(5) 介護事故件数

種 別	誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
訪 問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障 害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※事故に至っていない「ヒヤリ・ハット」を含む件数を計上しております。

(重複掲載)

札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置

1. 重点推進課題の実施報告

札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置

地域での活動が少しずつ活発になってきている。感染リスクへの配慮は継続するが、地域のニーズを把握し、介護予防活動を展開していく必要がある。

稲穂金山星置地区は、10年後に手稲区内でも高齢化率の高い地域となる為、地域やご自宅で介護予防に取り組める継続した支援と、ICTの活用ができるように進めていく。

《重点推進課題》

1. 介護予防教室の普及啓発と工夫

《中期経営計画（3）》

介護予防センターが地域の皆様にとって、より身近な相談機関であるために関係性を構築するとともに、すこやか倶楽部や運動教室に新規で参加して頂けるような工夫を行う。

【指標・評価方法】

- ① 既存の体操などのプログラムを継続しつつ、介護予防教室における参加者の定着と増加を目標に、他地区を参考に地元に適したプログラムを検討し実施する。
- ② すこやか倶楽部・通いの場参加者から、地域での活動の聞き取りを行い、予防事業の周知及び活動の幅を広げる。
- ③ ソーシャルメディアを取り入れている予防センターがあり、実施方法などを参考に取入れの検討を行う。他予防センターではLINEを取り入れており、その効果など確認の後、導入を検討したい。
- ④ 夏季は昨年同様の暑さが予測されるため、都度開催方法などの検討も行う。

【評価】

- ① 他予防センターの見学や情報交換を基に、他地区が行っている内容(レクレーション、体操及び講話講師)を自センターでも取り入れる事で、新たな新規参加者へとつながっている。

(新規参加数/2回以上の定期参加数)

稲穂地区:19名/11名

金山地区:8名/2名

星置地区:18名/4名

次年度も情報収集を継続実施し、新規参加者獲得へと繋げたい。

- ② 稲穂金山地区にて3箇所新規訪問し、継続へとつなげる。予防センター事業の周知活続けている。
- ③ 令和6年7月からLINEの導入を開始し、3月までに25名が登録。予防センター事業の周知をしている。老人クラブから講話依頼があり、実施につなげている。
- ④ 8月は屋外ウォーキングを中止、外気温や天候を見ながら、安全に配慮して内容変更を行い実施した。

2. 通いの場への支援

《中期経営計画（3）》

介護予防活動の間口を広げ、通いの場の参加率アップ(特に男性)を目指していく。

【指標・評価方法】

- ① 既存の通いの場における男性参加者は稲穂地区・星置地区で1割に満たない状況がある。男性参加を増やすべく、運動プログラムなどを男性メインに実施する。(周知の際には性差別へ該当しないよう、十分配慮を行う事とする)
- ② 昨年度実施できなかった、新しい運動プログラム(負荷強めのもの内容)の作成について理学療法士と相談し実施に繋げる。
- ③ 前年度、他地区介護予防センターの動きを参考に、当予防センターで取り組みを検討し、実施に移し地域還元を図る。実施後の反応を参加者へ確認する。

【評価】

- ①② 区内予防センター・理学療法士と協働し、男性を対象とした運動教室を開催した。それに伴い理学療法士指導の下で負荷が強めの体操を企画した。結果、当センターからは申し込み9名、うち2名が長期的な活動に繋がっている。次年度も、地域における高齢男性の発掘を目指して開催を予定している。
- ③ 他センターでは「ボッチャ」や「モルック」を導入し、希望時に実施としており、自センターでもレンタルにて定期的に実施した。好評であるため、令和7年度に新たな用具として導入したい。

認知症に関する講話依頼を老人クラブや運動教室より頂き実施している。区内の他センターの運動教室で講話が口コミで伝わり、そこでも認知症講話を行うことができた。

健康や病気に関して、「知りたい」「自分もなる可能性がある」といった声もあり、ニーズはある。運動だけでなく健康に関する講話などを組み合わせた企画を地域に周知し、地域福祉の一助となる活動をR7年度も目指していく。

2 介護予防センターの運営

(1)センターの開設

在宅介護支援センターの設置については、老人福祉法(昭和57年法律80号)第6条の2の規定にもとづき、平成10年10月16日付けで、札幌市長と委託契約締結した。

介護保険法(平成17年法律第77号)にもとづき、平成18年3月31日付けで在宅介護支援センターの委託契約を解除し、平成18年4月1日付けで、介護予防センターの設置を札幌市長と委託契約締結した。

令和 3年4月1日組織の再編制により、総称を在宅地域支援施設「手稲ゆうゆう」とした。

概要は、次のとおり

施設 の 名 称	札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
施設 の 所 在 地	札幌市手稲区稲穂5条2丁目6番5号
施設 の 種 類	介護予防センター

(2)施設職員の配置状況 2025.3.31 現在

		セ ン タ ー 長	相 談 員	計
予 防	現 員 (人)	(1)	2	2 (1)

※1 ()は兼務。○は非常勤の内数。

※2 基準配置については表記困難な為、現員についてのみ掲載。

(3) 介護予防センター 相談実件数及び相談内容

電話	訪問	面接	その他	合計
24 件	1 件	2 件	0 件	27 件

相談内容	件数
介護保険サービスの利用希望	10 件
介護保険制度	3 件
介護予防	12 件
保健福祉サービス	0 件
高齢者虐待に関すること	1 件
消費者被害に関すること	0 件
権利擁護	0 件
認知症に関すること	0 件
心身の健康に関すること	0 件
家族の疾患・障害に関すること	1 件
医療に関すること	0 件
住まいに関すること	0 件
処遇困難	0 件
苦情	0 件
その他	1 件
合計	28 件

(4) 介護予防事業実施回数及び参加人数

内容	開催回数	参加延べ人数	平均参加人数
介護予防教室 (屋内・屋外・オンライン)	91 回	794 名	8.7 名
地域福祉活動支援	217 回	2,646 名	12.2 名
イベント	3 回	28 名	9.3 名
文書等の支援	2 回	2 名	1.0 名
広報紙の発行	12 回	9,058 名	754.8 名
会議及び打ち合わせ	87 回	名	名
合計	412 回	12,528 名	一開催当り 30.4 名

(重複掲載)

(5) 苦情受付件数と主な内容

部門	苦情申出者	内容	第3者委員等の報告	結果
	0 件			
	無			

(6) 介護事故件数

	誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
予 防	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※事故に至っていない「ヒヤリ・ハット」を含む件数を計上しております。

(重複掲載)

(7) 地域における公益的な取組

介護予防教室・地域福祉活動支援・イベントの訪問を実施している。
新型コロナウイルス感染症で中止していた3地区の餅つきが再開となり、予防センターにて参加する。
北海道科学大学・地区担当理学療法士・手稲区予防センターと協働し、ウォーキングマップを作成し、イベントを2回実施している。

特 養 音 更

介護老人福祉施設 ロータス音更
ロータス音更（介護予防）通所介護事業所
ロータス音更（介護予防）認知症対応型通所介護事業所

1 重点推進項目の実施報告

特別養護老人ホーム ロータス音更

入居様が笑顔で穏やかな日々を過ごせるよう、施設及び職員の質を向上させるとともに、家族や地域、医療との連携を強化し、一人ひとりのニーズに応えるケアの提供を目指す。

《重点推進項目》

1. できる限りの感染対策の下、入居様が望む生活を実現する。

《中期経営計画 (1)(2)(3)(4)》

施設内の感染症対策を周知徹底することで、今まで中止していた居室内での入居者様とご家族の直接面会を再開させたい。また、特定の地域の方と少人数での交流の場を持つよう努め、季節行事も小規模ながら再開していくことで、みんなを笑顔にできるよう努める。

また、施設内のサービス内容を見直すことで、入居者様、ご家族が求めているニーズに近いサービスが提供できるよう努める。そのために、職員のスキル向上のための研修や就労意欲向上のための取り組みを行っていく。

【指標・評価方法】

- ① 感染症に配慮した居室内での面会を再開するために、施設内において、標準予防策や感染症別対策の研修を定期的で開催するほか、医療機関が主催する感染予防の研修へ参加し、全職員の知識と技術の均一化を図る。
- ② ご家族や地域社会との一部交流を再開し、四季に合わせた行事や外部余興などを開催することで、入居者様、ご家族が笑顔で、共に過ごす時間を提供する。
- ③ 入居者様の生活歴や認知症状、身体機能、及びLIFEのフィードバックの情報を取り入れたケア内容をユニット会議やカンファレンスにおいて共有し、検討するとともに、実施、評価する。
- ④ 主任職以上によるミーティングを月に1度開催し、入居者様や各ユニット、職員、他部署の情報を共有するとともに目標の進捗状況を報告し、サービス改善のための課題等を協議する。また、その結果を、各種会議において周知し、施設全体で改善に取り組む。
- ⑤ 自らの意見や考えをケアに反映させ、行動することができる、主体的な職員を育成するため、個人目標を設定し、定期的に面談及び評価を実施する。また、他職員と日常のケアや課題、介護観などについて意見交換会を行い、自らの考えを見直し、成長する機会を提供する。

【結果】

- ① 居室内での面会を再開するため、役職者及び感染予防対策委員会が中心となって標準予防策を見直し、研修を実施したほか、感染症罹患時の対応について、施設全体の動きをフロチャート化し、感染症予防対策についての周知を図った。結果、ご家族へも施設内の感染症予防対策を理解していただき、居室内での面会を再開することができた。

また、感染症がまん延することなく面会を継続することができている。

- ② ご家族とともに近隣のスーパーへの買い物や音更町の道の駅、帯広動物園へ外出することができた。また、秋には、音更町社会福祉協議会のボランティアセンターの協力を得て、町内の童謡サークルや大正琴サークルを招いた秋祭りを開催することもでき、入居者様やご家族の笑顔に繋げることができた。
- ③ LIFEのフィードバック情報をケアへ活かす取り組みはできなかったが、現在の特養入居者の要介護度や栄養・口腔、認知症状等の数値は、全国平均と同程度となっていることは確認できており、今後もケアの内容を維持していくとともに、LIFEのフィードバック情報を指標としてケアへ活かしていく。
- ④ 定期的に会議を開催し、目的としていた入居者様や職員の情報、認知症ケアの課題、他部署の情報、稼働目標の進捗状況などの報告を重点的に行い、役職者が稼働を意識し、新規入居者の受入れをスムーズに行うことができるようになった。その他、ユニット毎にレクリエーションの実施状況に差異が生じていることについて検討し、他ユニットを参考にしたレクリエーションや体操を実施できた。また、認知症の周辺症状への対応や職員の不適切ケアを課題として取り上げ、職員会議において事例検討を実施するなど、会議の内容を生かすことができた。
- ⑤ 職員育成のため、全職員を対象とした個別面談を定期的を実施する予定であったが、感染症及び職員不足により年度内に1度しか実施することができなかった。

面談では、新人職員の指導担当者になりたい、役割を貰いたい、責任のある仕事に就きたいという意欲的な職員もおり、職員の能力に合わせた目標や課題について助言を行ったほか、人間関係やユニットの課題については、自らの考えを発信することや同僚や上司とのコミュニケーションを密に図ることなどの助言を行った。結果、実際に指導担当を任せ、意欲的に仕事に取り組むことができた職員もおり、継続して面談の機会を設けていく。

ロータス音更(介護予防)通所介護事業所

ロータス音更(介護予防)認知症対応型通所介護事業所

利用者様が生きがいや楽しみを持って通い、充実して過ごしていただける通所事業所を目指す。また、ご家族や介護支援専門員と連携し、利用者様一人ひとりが抱えている課題を把握しケアに反映させ、課題の緩和・改善に努め、在宅生活が維持できるよう支援する。

《重点推進課題》

1. 利用者様一人ひとりの心身状態や身体状況、生活環境などを把握し、適切な支援を行う。 《中期経営計画 (1)(2)(3)(4)》

利用者様が希望するサービスや課題について、ご家族や介護支援専門員と共有し、解決に向けたプログラムを提案、実施する。また、定期的に見直し、個々に適したサービスを提供する。

【指標・評価方法】

- ① 利用者様が楽しみ、意欲的にサービスを継続するため、趣味活動や脳トレ・創作活動・運動など、個々に適した活動を模索し多様な活動を提供していく。また、定期的なその評価を行い、利用者様個々に合わせたプログラムを提供する。
- ② 利用者様が安心して通えるよう、ご家族と連携したサービスを提供する。そのために、連絡票を活用しご利用時の状況を報告するほか、送迎時にはご家族にこまめに声掛けを行い、情報の共有や相談しやすい環境を作り、ケアに反映することで信頼関係を築く。
- ③ 介護予防支援事業である「あすなろ」を今年度も継続して行う。そのノウハウを生かし、サロンや町内会の集まりで職員が手本となりながら介護予防運動を行い、地域の皆様の健康づくりのお手伝いができるよう努める。
- ④ 認知症についてや、身体介護技術・機能訓練・レクリエーションなどの専門的なスキルを向上させるため、内部研修や外部研修に積極的に参加し、職員個々の介護技術のスキルアップや認知症状についての専門性を高め、サービス内容へ反映させる。

【結果】

- ① 個々のレベルに合った計算問題や脳トレ問題、ジグソーパズル、キャップパズル、カード合わせなど色々な種類を用意し、利用者様が希望するものを選択してもらった。
また、創作活動については職員と相談しながら楽しんで実施できるよう支援を行った。
今後も個別機能訓練の評価を基に、利用者様個々の変化を職員で共有し、提供する内容の検討を行い、バリエーションを増やし適した活動を実施していく。
- ② ご利用時の様子等は連絡表や、送迎の際や電話連絡等でご家族に報告を行った。
ご家族からも家庭での状況を聞き取り、又、個々に寄り添ったケアを実施するよう努めた。その他、ケアマネジャーとも連絡を取り合い、利用者様へ適切なサービス提供ができるよう支援を行った。
また、毎月発行しているデイ通信の他に、利用者様の日常の様子や行事等での様子や写真を記載した通信号外を作成し、ご家族や居宅事業所へ配布したことで、デイでの様子をより細かくお知らせすることができた。今後も安心して通所して頂けるよう取り組みを継続し行っていく。
- ③ あすなろ事業は半年ごとに常勤職員で担当交代し、体操のバリエーションを増やしながら体力づくりや維持のための運動支援を行っており、町内会の方にも依頼があれば介護予防運動の指導を行えることを伝えた。
今後は、あすなろに通っていただいている以外の町内会の皆様にも介護予防運動を広め、地域の方々の健康維持のための活動を実施していきたい。
- ④ 施設内勉強会（WEB研修含む）や外部講師を招いての研修を実施、参加することで職員一人ひとりが自身の支援の振り返りを行い、スキルアップを目指すことができた。
今後もWEB研修やデイサービス内での研修を積極的に行い、職員全員が介護技術のほか、接遇や感染予防等の振り返りを定期的に行えるよう実施していく。

2 介護老人福祉施設・(介護予防)短期入所生活介護・

(介護予防)通所介護・(介護予防)認知症対応型通所介護の運営

(1)施設の開設

介護保険法第70条第1項（第79条第1項・第86条第1項・第94条第1項・第107条第1項・第115条の2第1項）の規定に基づき、平成20年4月17日付で北海道に対し指定（許可）申請を行い、平成20年4月28日付（老人福祉法第15条第4項）で認可を受け、同平成20年4月28日付で介護保険法第48条第1項第1号の指定介護老人福祉施設として指定された。

平成21年2月1日、標準型（介護予防）通所介護1日定員15名を開設。

平成22年3月1日、標準型（介護予防）通所介護1日定員を20名に変更。

平成22年8月1日、標準型（介護予防）通所介護1日定員を25名に変更

平成30年1月1日、標準型（介護予防）通所介護1日定員を30名に変更

平成30年1月1日、標準型（介護予防）通所介護1日定員を30名に変更

令和 3年2月1日、介護老人福祉施設の定員を80床、短期入所生活介護を空床型に変更

概要は、次のとおり

施設 の 名 称 介護老人福祉施設 ロータス音更

施設 の 所 在 地 河東郡音更町中鈴蘭元町2番地9

施設 の 種 類 介護老人福祉施設
(介護予防)短期入所生活介護
通所介護
第一号通所事業
(介護予防)認知症対応型通所介護

入 所 定 員 80名(空床型ショートステイ)

通 所 定 員 標準型30名・認知症型12名(1日当たり)

(2)施設職員の配置状況

2025.3.31現在

		施 設 長	医 師	事 務 員	生 活 相 談 員	介 護 職 員	看 護 職 員	管 理 栄 養 士	栄 養 士	介 護 支 援 専 門 員	機 能 訓 練 指 導 員	介 助 員	介 護 ア シ ス タ ン ト	夜 間 警 備 員	調 理 員	計	
入 所	基準数 (人)	1	1 ①		1	24	3	1		1	1					33 ①	
	現 員 (人)	1 (1)	1 ①	2 (1)	2 (1)	43 ⑦	6	1		2 (2)	1	5 ⑤	5 ⑤	3 ③	委 託	67 ⑳	
通 所	一 般 型	基準数 (人)	1		1	3	1				1					7	
		現 員 (人)	1 (1)			5 (5)	6 (6)③	2 (1)	1 (1)			2 (2)				委 託	17 ③
	認 知 症 型	基準数 (人)	1			1	2	1				1					6
		現 員 (人)	1 (1)			5 (5)	6 (6)④	2 (1)	1 (1)			2 (2)				委 託	17 ④

* ()は兼務。○は非常勤の内数。

(3) 行事实施状況表(入居)

月	実施日	内 容	場 所	参加人数
4月	24～26日	花見	帯広神社・ハナック	50名
	24日	ユニットレクリエーション(玉入れ)	やまもみじ・まろにえユニット	20名
	24日	ユニットレクリエーション(風船バレー)	やまもみじ・まろにえユニット	20名
	30日	ユニットレクリエーション(タケノコ狩りゲーム)	きたこぶし・なかかまどユニット	20名
5月	19日	ユニットレクリエーション(カラオケ)	もくれん・はなみずきユニット	20名
	20日	買い物外出	サンキ・ダイイチ	3名
6月	19日	個別外出	道の駅 なつぞら	5名
	18日	個別外出	帯広動物園	3名
7月	18日	個別外出	道の駅 なつぞら	9名
	20日	ユニットレクリエーション(七夕飾り作成)	もくれん・はなみずきユニット	18名
	21日	ユニットレクリエーション(葉書作成)	やまぐわ・すずかけのきユニット	20名
	31日	個別外出	道の駅 なつぞら	7名
8月	26日	個別外出	動物園	8名
9月	19日	ユニットレクリエーション(アロマセラピー)	もくれん・はなみずきユニット	15名
	19日	ユニットレクリエーション(玉入れ)	きたこぶし・なかかまどユニット	20名
	20日	ユニットレクリエーション(作品作り)	やまもみじ・まろにえユニット	20名
	21日	ユニットレクリエーション(映画鑑賞)	やまぐわ・すずかけのきユニット	20名
10月	30日	秋祭り	全利用者	76名
11月	30日	ユニットレクリエーション(年賀状作成)	もくれん・はなみずきユニット	20名
	25日	ユニットレクリエーション(貼り絵)	やまぐわ・すずかけのきユニット	19名
12月	11日	ユニットレクリエーション(クリスマス会)	きたこぶし・なかかまどユニット	19名
	16日	もちつき	2階、3階エレベーターホール	76名
	19日	ユニットレクリエーション(忘年会)	やまもみじ・まろにえユニット	20名
	20日	ユニットレクリエーション(クリスマス会)	やまぐわ・すずかけのきユニット	20名
	25日	ユニットレクリエーション(クリスマス会)	もくれん・はなみずきユニット	20名
1月	11日	ユニットレクリエーション(羽子板バレー)	もくれん・はなみずきユニット	13名
	26日	新年会	やまもみじ・まろにえユニット	19名
2月	3日	ユニットレクリエーション(節分)	もくれん・はなみずきユニット	17名
	3日	ユニットレクリエーション(節分)	やまぐわ・すずかけのきユニット	20名
3月	17日	ユニットレクリエーション(的当て・虫取りゲーム)	きたこぶし・なかかまどユニット	18名
	20日	ユニットレクリエーション(表札作成)	もくれん・はなみずきユニット	8名
	31日	ユニットレクリエーション(風船バレー)	やまぐわ・すずかけのきユニット	19名

(3)行事実施状況表 (通所)

月	実施日	内 容	場 所	参加人数
4月	9日	ごぼう先生のオンラインレクリエーション	ダイルーム	29名
	8日・19日	カフェ行事	ダイルーム	61名
5月	4日	入浴レク(菖蒲湯)	浴室	32名
	6日～11日	母の日週間	ダイルーム	63名
	23日	園芸活動	ダイルーム前ベランダ	7名
	9日・21日	カフェ行事	ダイルーム	57名
6月	10日～15日	父の日週間	ダイルーム	20名
	20日	ヴァイオリン演奏会	ダイルーム	29名
	4日・11日	カフェ行事	ダイルーム	57名
7月	6日・23日	カフェ行事	ダイルーム	61名
8月	15日・24日	カフェ行事	ダイルーム	52名
	5・9・14日	夏祭り行事	ダイルーム	77名
	17日	入浴レク(夏気分)	浴室	33名
9月	10日～16日	敬老週間	ダイルーム	179名
	6日・17日	カフェ行事	ダイルーム	68名
10月	10日・30日	カフェ行事	ダイルーム	46名
	26日	入浴レク(薬湯)	浴室	29名
	29日	運動会	ダイルーム	32名
11月	11日・26日	カフェ行事	ダイルーム	50名
12月	7日・20日	カフェ行事	ダイルーム	51名
	21日	入浴レク(ゆず湯)	浴室	29名
	23日～25日	クリスマス忘年会		83名
1月	10日	餅つき	ダイルーム	26名
	22日	昼食行事(天井)	ダイルーム	26名
	16日・29日	カフェ行事	ダイルーム	53名
2月	3日	節分行事	ダイルーム	24名
	14日	バレンタイン用事	ダイルーム	27名
	10日～25日	カフェ行事	ダイルーム	48名
3月	4日	ひな祭り行事	ダイルーム	25名
	15日	ホワイトデー行事	ダイルーム	26名
	14日・29日	カフェ行事	ダイルーム	53名

(4)利用者の状況

ア. 年齢別構成状況(人)

	未満 5 64	65 5 69	70 5 74	75 5 79	80 5 84	85 5 89	90 5 94	95 以上	合計	最低 年齢	最高 年齢	平均 年齢	前年 平均
男	0	0	0	2	4	5	2	1	14	75	99	85.7	84.6
女	1	0	1	6	9	17	24	5	63	63	98	87.8	87.9
計	1	0	1	8	13	22	26	6	77			87.4	87.2

イ. 要介護度別利用者状況(延人数)

性別	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	平均	前年平均
男	0	0	2,795	1,559	1,107	5,461	3.69	3.68
女	0	0	9,455	7,627	4,845	21,927	3.79	3.75
計	0	0	12,250	9,186	5,952	27,388	3.77	3.74

ウ. 介護保険者別構成状況(人)

	音更町	帯広市	芽室町	幕別町	大樹町	足寄町	大阪府堺市	東京都葛飾区	合計
男	10	3	0	1	0	0	0	0	14
女	42	15	1	1	1	1	1	1	63
計	52	18	1	2	1	1	1	1	77

エ. 入所者所得段階(人)

	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階	合計
男	2	1	2	3	6	14
女	2	8	12	18	23	63
計	4	9	14	21	29	77

オ. 健康保険加入状況(人)

	後期高齢者医療制度	国民健康保険	社会保険	組合健康保険	生活保護	合計
男	10	0	0	0	4	14
女	60	0	0	0	3	63
計	70	0	0	0	7	77

カ. 在所者利用期間別構成状況(人)

	1年未満	1～2	2～3	3～4	4～5	5～6	6～7	7～8	8～9	9～10	10年以上	合計
男	1	5	1	3	2	1	0	1	0	0	0	14
女	14	16	10	7	7	1	2	0	1	0	5	63
計	15	21	11	10	9	2	2	1	1	0	5	77

キ. 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)(人)

	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
男	0	1	0	1	5	0	6	0	1	14
女	0	1	0	3	21	6	20	5	7	63
計	0	2	0	4	26	6	26	5	8	77

ク. 認知症高齢者の日常生活自立度(人)

	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	合計
男	0	2	0	3	5	1	3	0	14
女	1	1	3	23	23	7	4	1	63
計	1	3	3	26	28	8	7	1	77

ケ. 通院状況(延人数)

	内科	精神科	循環器科	呼吸器科	外科	整形外科	形成外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	婦人科	眼科	耳鼻科	歯科	合計
男	12	32	0	0	36	16	0	4	0	12	0	0	0	0	112
女	42	60	1	0	24	48	20	20	12	0	2	20	4	0	253
計	54	92	1	0	60	64	20	24	12	12	2	20	4	0	365

(重複掲載)

コ. 往診状況(延人数)

	内科	歯科	皮膚科	合計
男	268	86	27	381
女	1,458	98	219	1,775
計	1,726	184	246	2,156

(重複掲載)

サ. 入所・短期利用状況

利用状況	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計
	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
入所利用延人数	2,285	2,370	2,292	2,325	2,311	2,319	2,357	2,273	2,294	2,203	2,058	2,317	27,404	26,595
短期利用延人数	57	45	36	41	44	46	60	56	79	93	64	85	706	934
1日平均人数	78.07	77.90	77.60	76.32	75.97	78.83	77.97	77.63	76.55	74.06	75.79	77.48	77.01	75.22
入所率(%)	97.58	97.38	97.00	95.40	94.96	98.54	97.46	97.04	95.69	92.58	94.73	96.85	96.27	94.02

シ. 入退所状況(人)

入所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計	
	家庭	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	3	8
病院	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	4	3	
他施設	1	1	0	3	0	0	0	1	0	1	0	1	8	11	
合計	2	2	0	3	1	0	0	3	0	1	2	1	15	18	
退所	家庭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	病院	1	2	0	0	1	0	0	3	0	0	0	7	4	
	他施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	死亡	0	0	2	1	0	0	1	1	1	2	0	1	9	17
	合計	1	2	2	1	1	0	1	1	4	2	0	1	16	21

ス. 入所待機者状況(人)

	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男	0	0	0	0	25	20	14	59
女	0	0	0	0	38	36	12	86
計	0	0	0	0	63	56	26	145

	入所減免額			(予防)短期減免額			(予防)通所減免額								合計 (円)	
	通常減免		1件当平均 (円)	通常減免		1件当平均 (円)	(一般型)				(認知症型)					1件当平均 (円)
	件数	金額(円)		件数	金額(円)		通常減免		特別減免		通常減免		特別減免			
			件数			金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)		
4月	13	356,222	27,402	0		0	1	4,532	0	0	2	6,133	19	87,630	4,468	454,517
5月	13	357,423	27,494	0		0	1	4,547	0	0	1	5,711	17	85,640	5,047	453,321
6月	14	356,606	25,472	0		0	1	4,555	0	0	1	5,775	16	80,310	5,036	447,246
7月	15	361,391	24,093	1	2,240	2,240	1	4,703	0	0	1	5,916	18	96,080	5,335	470,330
8月	15	417,518	27,835	1	2,360	2,360	1	4,703	0	0	1	5,916	19	90,150	4,799	520,647
9月	15	418,734	27,916	1	4,720	4,720	1	3,967	0	0	1	4,547	19	88,670	4,628	520,638
10月	15	433,821	28,921	1	5,900	5,900	1	5,018	0	0	1	5,446	19	86,300	4,608	536,485
11月	15	426,585	28,439	1	7,080	7,080	1	4,673	0	0	1	5,900	18	80,150	4,536	524,388
12月	15	441,837	29,456	2	7,080	3,540	1	4,297	0	0	1	4,539	19	73,570	3,924	531,323
1月	13	409,248	31,481	2	65,280	32,640	2	6,370	0	0	1	5,000	19	77,500	4,040	563,398
2月	13	352,071	27,082	2	31,624	15,812	2	6,210	0	0	1	917	22	75,983	3,324	466,805
3月	14	371,799	26,557	3	72,400	24,133	2	7,225	0	0	2	7,073	22	92,337	4,101	550,834
合計	170	4,703,255	27,666	14	198,684	14,192	15	60,800	0	0	14	62,873	227	1,014,320	53,845	6,039,932

ソ. (介護予防)通所実施状況

1)一般型

	登録人数	開放日数	利用人員	一日平均人数	利用率(%)	介護度別延べ人数(人)							サービス状況(回)		
						要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	入浴	食事	個別機能訓練
4月	77	26	586	22.54	75.1	12	36	294	175	51	18	0	547	585	217
5月	78	27	604	22.37	74.6	19	41	301	178	42	23	0	538	604	217
6月	83	25	601	24.04	80.1	15	42	292	193	40	19	0	536	601	188
7月	78	27	646	23.93	79.8	14	44	328	191	62	7	0	587	646	208
8月	77	27	613	22.70	75.7	14	52	302	178	59	8	0	563	613	201
9月	80	25	545	21.80	72.7	16	48	271	142	49	19	0	508	545	176
10月	80	27	579	21.44	71.5	17	51	303	114	59	35	0	536	579	156
11月	73	26	555	21.35	71.2	13	47	295	98	64	38	0	509	555	159
12月	74	25	514	20.56	68.5	18	40	277	89	61	29	0	470	514	159
1月	74	25	495	19.80	66.0	18	46	255	84	57	35	0	455	494	150
2月	71	24	426	17.75	59.2	10	42	235	58	53	28	0	397	425	142
3月	65	26	467	17.96	59.9	15	40	267	68	64	13	0	447	466	138
合計	310	6,631	21.39	71.30		181	529	3,420	1,568	661	272	0	6,093	6,627	2,111
前年合計	311	6,931	22.29	74.29		194	404	3,677	1,661	777	193	25	6,434	6,976	2,724

2)認知症対応型

	登録人数	開放日数	利用人員	一日平均人数	利用率(%)	介護度別延べ人数(人)							サービス状況(回)			
						要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	入浴	食事	個別機能訓練	若年性受入加算
4月	24	26	201	7.73	64.42	0	0	35	86	45	24	11	170	200	194	0
5月	23	27	195	7.22	60.19	0	0	41	76	48	18	12	161	195	195	0
6月	22	25	179	7.16	59.67	0	0	46	67	45	11	10	151	179	164	0
7月	20	27	212	7.85	65.43	0	0	60	81	48	12	11	169	212	212	0
8月	22	27	209	7.74	64.51	0	0	68	77	41	13	10	167	209	204	0
9月	21	25	197	7.88	65.67	0	0	72	70	31	13	11	158	197	183	0
10月	21	27	191	7.07	58.95	0	0	69	61	39	13	9	191	151	154	0
11月	19	26	184	7.08	58.97	0	0	74	67	32	0	11	139	184	158	0
12月	20	25	168	6.72	56.00	0	0	70	57	34	0	7	128	168	143	0
1月	20	25	179	7.16	59.67	0	0	76	60	35	0	8	134	179	158	0
2月	24	24	166	6.92	57.64	0	0	74	59	28	0	5	136	166	158	0
3月	23	26	224	8.62	71.79	0	0	95	79	45	0	5	178	224	190	0
合計	310	2,305	7.44	61.96		0	0	780	840	471	104	110	1,882	2,264	2,113	0
前年合計	311	2,681	8.62	71.84		0	0	1,286	644	375	253	123	2,239	2,680	2,674	0

(5) 苦情受付件数と主な内容

1 件		内 容	第3者委員等の報告	結果
部門	苦情申出者			
通所	ご家族	妻より、職員の言葉や対応について怒っている。こんな怒っている事はあまり見たことが無いと電話が入る。 対応策→ご本人へ謝罪。職員へ指導を続けていく事と、ご本人より今回の件については、施設長へ一任し「任せる」との言葉があり、ご納得された。また、職員に、ご本人、ご家族が不快に感じたことを伝え、言動に配慮するよう指導を行い、再発防止のために通所全体へ周知行う。	無	解決

(6) 介護事故件数

重大事故 (行政報告)		誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計	
	入所	0	18	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	5	30
	短期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通所	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	認知通所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0	18	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	5	31

事故 (施設内処理)		誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	2	6	20	13	0	9	0	0	0	0	0	18	68
	短期	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	通所	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
	認知通所	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
	合計	2	6	29	14	0	9	0	0	0	0	0	20	80

ヒヤリハット		誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	14	2	30	17	0	1	0	0	0	0	0	5	69
	短期	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	通所	0	0	6	2	0	0	0	0	0	0	1	0	9
	認知通所	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
	合計	15	3	37	19	0	2	0	0	0	0	1	5	82

(7) 慰問・ボランティア状況

	名 前	内 容	来 所 日	延べ人数
慰問関係	スマイルレクダンス	デイサービス敬老会 余興	R6.9.10	5名
	マイカイツラ	デイサービス敬老会 余興	R6.9.11	4名
	かしわの会	デイサービス敬老会 余興	R6.9.12	6名
	赤とんぼの会	デイサービス敬老会 余興	R6.9.14	7名
	スマイルレクダンス	デイサービス敬老会 余興	R6.9.16	8名
	赤とんぼの会	秋祭り	R6.10.30	5名
	音更大正琴サークル	秋祭り	R6.10.30	3名
その他	大福 順一	車椅子修理 清掃ボランティア	毎週火曜、水曜	78名
合 計			延べ人数(団体)	38名
			〃 (個人)	78名
			〃 合計	116名

(あんじゅ音更と重複掲載)

(8) 実習生受入れ状況

受入期間	人 数	受入日数	延べ人数	学 校 名	学 部 ・ 学 科	実 習 内 容
R 6 . 6 . 25 ~ R 6 . 6 . 26	2	2	4	帯広市医師会看護専門学校	看護学科	看護実習
R 6 . 10 . 2 ~ R 6 . 10 . 3	2	3	6	帯広大谷短期大学	看護学科	看護実習
R 7 . 2 . 10 ~ R 7 . 2 . 25	2	12	24	小博大谷短期大学	社会福祉科	介護実習
R 7 . 2 . 12 ~ R 7 . 2 . 18	1	5	5	帯広コア専門学校	介護実務科	初任者研修
R 7 . 3 . 4 ~ R 7 . 3 . 6	1	3	3	北海道介護支援専門員協会	介護支援専門員実務研修	実地研修
合 計	7	22	39			

(9) 地域における公益的な取組(事例について自由記述)

<ul style="list-style-type: none"> ・音更高校キャリアデザインセミナー2024 (職業紹介) 生徒7名参加 ・帯広大谷短期大学介護学科希望者のインターンシップの受入れ ・宝来第1町内会敬老事業(包括支援センターより依頼) 管理栄養士による講話を実施 ・帯広大谷短期大学オープンカレッジこども講座 介護職員派遣1名 ・音更高等学校インターンシップ 生徒2名参加 ・下音更中学校職場体験 生徒2名参加 ・音更町社会福祉協議会福祉フェスタへの参加(介護施設紹介、入所相談)

音更町地域包括支援センター ロータス音更

1.重点推進課題の実施報告

音更町地域包括支援センター ロータス音更

音更町 C 圏域の総合相談窓口として、ワンストップ機能を徹底し、必要に応じて関係機関との連携を図る。また 2024 年度については、地域課題にも重点を置き、地域ケア会議や実態把握調査を通じて、個々の生活課題から地域の課題にも目を向け事業を推進していく。また町内会や民生委員・老人会との関わりの中でも、各地域の課題の把握に努めて、地域の皆様が住み慣れた地域で、自分らしく生活出来る地域づくりに貢献していく。

《重点推進課題》

1. 地域包括ケア実現に向けた中核機関としての機能強化

《中期経営計画 (1)(2)(3)(4)》

総合相談窓口・介護予防計画作成など基本的な役割に加え、包括支援センター受託5年目の 2024 年度については、総合相談の拠点機能を通じて、地域の皆様の生活課題から地域課題を抽出し、地域包括ケア実現に向けた機能強化を図っていく。

また、各専門職の専門性の能力向上を図るために積極的に研修等を受講し、自己研鑽に努め、対応力の向上を図るとともに、関係機関の専門職とも協働し、地域の皆様のより良い生活の構築に寄与していく。

【指標・評価方法】

- ① 下記の7つの業務を円滑に行い、地域包括支援センターロータス音更が地域拠点の総合相談の拠点として機能していく。
 - 1) 介護予防ケアマネジメント業務
 - 2) 総合相談支援業務
 - 3) 権利擁護業務
 - 4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
 - 5) 認知症施策の推進業務
 - 6) 在宅医療・介護連携の推進業務
 - 7) 地域ケア会議開催業務
- ② 各専門職の能力を補い、資質の向上を図るため包括支援センター職員現任研修等年間2回は外部研修を受講する。また音更町や他圏域の専門職との会議などを通じて、対応力の向上に努めていく。
- ③ 町内会・老人会・民生委員等との意見交換会の開催を模索する。その中で地域の皆様の生活課題のみではなく、地域課題についても視野を広げ、具現化した課題については関係機関へ報告する。また独居高齢者世帯への独自の実態把握についても、継続実施し、効率良く実態を把握出来るように努めていく。
- ④ 2024 年度末で5年間の委託契約満了に伴い、年度内にプロポーザル公募が実施予定となっている。現在までの活動の実績を振り返り、2025 年度からの再受託を念頭に、プロポーザル公募に向けて準備を進めて行く。

【結果】

① 1)介護予防ケアマネジメント業務について

2024年度の介護予防ケアマネジメントA(介護給付実績)の実績は、自事業所担当件数が1,075件(前年比23件減)、居宅介護支援事業所への委託件数766件(前年比28件減)と前年度よりも自事業所担当件数及び委託件数ともに減少した。一方で介護予防ケアマネジメントB(音更町通所型介護予防事業)については、152件(前年比51件増)となっており、自事業所の総担当件数は28件増加したことになった。

2)総合相談支援業について

2024年度の総合相談件数は449件(前年比74件増)となった。最も増加した相談内容は「認定申請」に関する事、次いで「介護保険」に関する事で大幅に増加した。また「認知症」の相談も前年より増加したほか、医療機関からの相談も総合的に13件増えている。相談者としては、「家族・親族」が最多であり、「本人」からの相談も増えた。

② 各職員が年間2回以上の研修を受講した。内容は製薬会社主催の研修をはじめ、認知症体験やケアラー支援・人生会議(ACP)に関する内容など多岐に渡り、多角的な視点を持って相談対応を行えるように資質の向上に努めた。また町内の包括支援センターでは、3職種(主任介護支援専門員・保健師・社会福祉士)が、各職種の資質向上を目的とした、定例会を開催し、情報交換や外部講師を招き対応向上力を図った。

③ 町などとの共催を含め、2024年度については、地域活動は17回実施した。活動内容は民生委員との意見交換や社会福祉士・看護学生の実習への協力・出前講座の講師が主な活動内容であった。地域活動を通じて得た地域住民の声を、町の会議で情報を共有した。

また独居高齢者世帯への独自実態把握調査では、認知症に関する相談を把握し、専門医療機関を案内した事で、早期受診へ繋がったケースもあったほか、昨年度の調査地区の住民からも「調査を機に相談窓口を把握していた」と独自実態把握調査の成果を得る事が出来てきた。

④ 2025年度から業務委託を選定する公募型プロポーザルへ公募し、過去4年間に於ける活動実績等を評価して頂き、2025年から2029年度までの音更町地域包括支援センター(C圏域)の運営事業者を選定して頂く事が出来た。

2 地域包括支援センターの運営

(1) 事業所の開設

音更町より音更町地域包括支援センターC圏域の運営委託を受け、音更町地域包括支援センターロータス音更は2020年4月1日に開設した。主任介護支援専門員・保健師・社会福祉士等を配置して、3職種のチームアプローチにより、住民の健康保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する事を目的としている。

概要は、次のとおり

施設 の 名 称 音更町地域包括支援センターロータス音更
 施設 の 所 在 地 河東郡音更町中鈴蘭元町2番地9
 施設 の 種 類 地域包括支援センター・介護予防支援事業所

(2) 施設職員の配置状況

2025.3.31 現在

		管 理 者	主 任 介 護 支 援 専 門 員	保 健 師 （ 看 護 師 ）	社 会 福 祉 士	介 護 支 援 専 門 員	計
居 宅	現 員 （ 人 ）	1	1	1	1	1	5

※1 ()は兼務。

※2 基準配置については表記困難な為、現員についてのみ掲載。

(3) 利用者状況（介護給付実績 ケアマネジメントA）

2025.3.31現在

包括担当	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計	前年	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
要支援1	16	39	15	36	15	39	13	38	12	36	12	36	13	34	12	35	12	34	11	34	12	34	15	36	589	645	
要支援2	12	26	12	28	14	28	13	28	13	27	13	29	13	30	12	29	13	28	13	28	10	26	11	30	486	453	
計	93	91	96	92	88	90	90	88	87	86	82	92	1075	1098													
初回加算	3		1		7		1		1		0		1		1		2		0		3		7		27	48	
終了者 (前月末)	要介護	6		3		1		3		2		2		0		1		1		2		0		2		23	14
	施設入所	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	1
	死亡	0		0		0		0		0		0		0		0		0		1		0		0		1	4
	その他	1		1		0		0		0		0		0		1		0		0		0		0		3	6
	計	7		4		1		3		2		2		0		1		1		3		0		2		26	25

居宅委託	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計	前年
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
要支援1	7	16	9	15	8	19	8	19	9	19	8	19	8	20	8	19	9	20	7	19	7	18	8	21	320	277
要支援2	7	29	6	28	6	28	6	29	6	29	7	29	7	29	7	30	7	31	8	33	8	34	8	34	446	517
計	59	58	61	62	63	63	64	64	67	67	67	71	766	794												

(4) 利用者状況（音更町通所型介護予防事業 ケアマネジメントB）

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計	前年	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
事業対象者	0	9	0	9	0	9	0	9	0	10	0	10	0	10	0	11	1	12	1	9	1	9	1	10	121	88	
要支援1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	17	12	
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	3	0	3	0	3	13	0		
要介護	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
計	10	11	10	10	11	11	11	11	11	15	17	15	15	16	152	101											
初回加算	0		2		0		0		1		0		1		3		2		0		0		0		9	4	
終了者 (前月末)	要介護	0		0		1		0		0		1		0		0		0		0		0		0		2	2
	施設入所	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0
	死亡	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0
	その他	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0
	計	0		0		1		0		0		1		0		0		0		0		0		0		2	2

(5) 相談件数・内訳

相談件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年
新規	26	25	22	40	26	23	27	25	22	32	23	31	322	281
継続	11	5	6	12	11	12	15	9	5	13	17	11	127	94
計	37	30	28	52	37	35	42	34	27	45	40	42	449	375

受付時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年
平日	36	30	27	50	36	34	40	34	24	45	40	42	438	366
休日	1	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	5	3
夜間	0	0	0	0	1	0	2	0	2	0	0	0	5	6
早朝・深夜	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
計	37	30	28	52	37	35	42	34	27	45	40	42	449	375

相談方法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年
電話	16	7	9	16	16	13	13	6	8	16	21	10	151	112
訪問	6	3	2	3	4	0	5	3	3	6	5	5	45	40
来所	15	20	16	33	17	22	24	25	16	23	14	27	252	223
その他	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
計	37	30	28	52	37	35	42	34	27	45	40	42	449	375

相談者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年
本人	5	3	6	3	3	1	2	6	5	6	11	4	55	42
家族・親族	23	15	12	31	20	24	26	20	14	21	16	24	246	200
関係委員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	2
医療機関	7	4	3	6	6	2	3	0	4	8	4	4	51	39
近隣知人	0	0	0	2	0	0	1	0	1	0	0	0	4	5
行政	0	0	1	1	0	2	0	0	0	1	0	0	5	6
居宅介護支援事業所	2	7	6	6	6	4	10	8	2	9	5	9	74	68
介護サービス事業所・施設	0	1	0	3	1	1	0	0	0	0	0	1	7	7
地域包括支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0
民間業者	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
警察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
その他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	4
計	37	30	28	52	36	35	42	34	27	45	40	42	449	375

相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年
認定申請	24	24	18	39	25	23	36	29	19	33	25	35	330	271
介護保険	26	18	17	24	11	18	22	25	13	23	16	23	236	210
総合事業	3	0	1	0	0	1	4	2	1	2	0	0	14	12
認知症	5	1	1	7	6	6	5	5	2	3	2	4	47	32
施設サービス	4	2	2	7	3	2	4	1	1	1	0	4	31	33
介護保険外サービス	1	2	2	2	2	3	0	3	0	3	7	2	27	28
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
権利擁護	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	2	0	6	2
地域資源	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	4	5
心配な人（SOS）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心配な人（安否確認）	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
心配な人（認知・精神）	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4	8
心配な人（生活困難）	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	2
心配な人（その他）	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	3	1
医療・介護（退院支援）	7	0	1	3	2	1	0	0	1	3	2	3	23	16
医療・介護（制度・サービス）	0	4	2	3	0	0	0	0	1	3	2	2	17	13
医療・介護（在宅療養）	0	0	0	0	1	1	1	0	1	2	0	0	6	4
医療・介護（その他）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
事業所相談（ケアマネジメント）	0	1	1	1	1	0	0	0	1	0	1	2	8	2
事業所相談（ケース対応・困難事例）	0	0	2	1	3	0	0	1	0	1	1	0	9	8
事業所相談（その他）	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
その他	0	0	1	2	1	0	1	0	1	1	1	0	8	3
計	70	52	50	93	58	58	73	68	44	76	62	75	779	654

対応方法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年
制度や対応の説明	30	18	20	32	23	25	29	24	21	30	26	30	308	259
認定調査	22	21	17	29	18	20	30	27	17	29	17	28	275	214
家庭訪問	5	1	2	1	3	2	4	4	4	3	2	1	32	35
連絡調整	4	2	1	5	5	4	2	2	0	1	3	2	31	44
心配な人（家庭訪問）	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	3	4
心配な人（対応説明）	0	0	1	2	2	1	0	0	0	0	2	0	8	6
心配な人（連絡調整）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
心配な人（SOS）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・介護（制度や対応の説明）	6	3	3	5	3	2	1	0	2	6	3	3	37	28
医療・介護（ケアマネ調整）	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	4	5
医療・介護（家庭訪問）	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	5	2
その他	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
事業所相談（助言・指導）	0	1	3	0	4	1	0	1	0	1	1	2	14	9
事業所相談（継続支援）	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	0	4	1
事業所相談（保険者回答）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苦情（事業所への指導・助言）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
苦情（当事者間の調整）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苦情（相談者に説明・助言）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苦情（他機関を紹介）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苦情（道へ通報）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苦情（謝罪・対応）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	68	47	48	77	58	56	66	58	47	72	57	68	722	611

(6) 訪問件数・内訳

訪問件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年
アセスメント	7	9	6	9	13	14	22	11	14	14	16	11	146	122
ケアマネジメントA	55	69	63	44	63	44	45	60	38	39	45	42	607	696
ケアマネジメントB	2	4	3	2	3	6	3	2	7	6	3	12	53	37
サービス未利用者	0	0	0	2	9	12	9	6	7	3	0	0	48	46
継続支援	17	13	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	34	29
認知症初期集中	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
困難事例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
権利擁護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
虐待	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
安心ネットワーク	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	1	4	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	81	95	72	59	88	77	83	80	67	62	64	66	894	930

(7) 認定調査件数

認定調査件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年
新規調査	20	9	20	18	19	8	19	25	18	13	15	16	200	163
区分変更調査	6	9	5	9	11	5	9	10	7	4	9	11	95	110
更新調査	6	5	10	8	12	6	3	9	7	3	9	7	85	172
計	32	23	35	35	42	19	31	44	32	20	33	34	380	445

(8) 地域活動（出前講座など）

2024年6月17日（月）14時00分～14時30分			
開催場所	音更町保健センター		
対象者	音更町通所型介護予防事業 すまいる利用者	参加人数	12名
内容	排泄ケアについて		
担当職員	木戸看護師		

2024年6月25日（火）9時00分～16時45分			
開催場所	音更町地域包括支援センターロータス音更		
対象者	帯広市医師会看護専門学校 1学年	参加人数	1名
内容	看護学科 実習		
担当職員	武田部門長		

2024年6月26日（水）9時00分～16時45分			
開催場所	音更町地域包括支援センターロータス音更		
対象者	帯広市医師会看護専門学校 1学年	参加人数	1名
内容	看護学科 実習		
担当職員	武田部門長		

2024年7月10日（水）14時00分～14時30分			
開催場所	音更町保健センター		
対象者	音更町通所型介護予防事業 すまいる利用者	参加人数	13名
内容	排泄ケアについて		
担当職員	木戸看護師		

2024年7月12日（金）18時30分～19時30分			
開催場所	木野コミュニティセンター		
対象者	音更町民生・児童委員 第6部会	参加人数	12名
内容	研修（防災）・情報交換		
担当職員	武田部門長・若林社会福祉士		

2024年7月24日（水）10時00分～11時30分			
開催場所	十勝川温泉湯の里会館		
対象者	十勝川温泉幸生会	参加人数	19名
内容	地域リハビリテーション事業		
担当職員	武田部門長・若林社会福祉士		

2024年8月30日（金）13時30分～14時40分			
開催場所	音更町地域包括支援センターロータス音更		
対象者	社会福祉士 実習生	参加人数	1名
内容	音更町地域包括支援センターロータス音更		
担当職員	武田部門長		

2024年9月17日（火）11時00分～11時35分			
開催場所	宝来団地集会場		
対象者	宝来第一区町内会	参加人数	17名
内容	講話「規則正しい食事と水分補給」		
担当職員	木戸看護師・楡木副主任管理栄養士（特養ロータス音更と共催）		

2024年10月1日（火） 11時10分～11時40分				
開催場所	とかちYMCA			
対象者	とかちYMCA年長児	参加人数	12	名
内容	認知症キッズサポーター養成講座（町と共催）			
担当職員	武田部門長・木戸看護師			

2024年10月9日（水） 13時25分～14時10分				
開催場所	音更町立下土幌小学校			
対象者	音更町立下土幌小学校5・6年生	参加人数	12	名
内容	認知症キッズサポーター養成講座（町と共催）			
担当職員	武田部門長・加須屋主任			

2024年10月24日（木） 13時30分～15時10分				
開催場所	宝来福祉館			
対象者	宝来・ひびき野・藤ヶ丘地区住民	参加人数	35	名
内容	地域で見守る認知症支援学習会			
担当職員	武田部門長・若林社会福祉士（町と共催）			

2024年11月7日（木） 10時00分～11時15分				
開催場所	ひびき野会館			
対象者	音更町民生・児童委員第9部会	参加人数	11	名
内容	認知症サポーター養成講座			
担当職員	武田部門長・若林社会福祉士			

2024年12月3日（火） 13時00分～13時45分				
開催場所	音更町立木野東小学校			
対象者	音更町立木野東小学校4年生（地域公開講座）	参加人数	70	名
内容	認知症キッズサポーター養成講座（町と共催）			
担当職員	武田部門長・若林社会福祉士			

2025年1月15日（水） 13時00分～13時30分				
開催場所	木野南保育園			
対象者	木野南保育園年長児	参加人数	28	名
内容	認知症キッズサポーター養成講座（町と共催）			
担当職員	加須屋主任・木戸看護師			

2025年1月22日（水） 10時00分～10時30分				
開催場所	すずらん保育園			
対象者	すずらん保育園年長児	参加人数	32	名
内容	認知症キッズサポーター養成講座（町と共催）			
担当職員	加須屋主任・木戸看護師			

2025年2月8日（土） 14時00分～17時30分				
開催場所	音更町立下音更小学校			
対象者	音更町民	参加人数	39	名
内容	音更町冬季避難所訓練（担当：要配慮者移乗訓練）			
担当職員	武田部門長・若林社会福祉士（包括ほほえみと共催）			

2025 年 3 月 4 日 (火) 11 時 00 分 ~ 12 時 00 分				
開催場所	北蘭老人憩いの家			
対象者	北蘭友愛クラブ	参加人数	54	名
内容	自宅で安心して暮すために			
担当職員	加須屋主任・若林社会福祉士			

あんじゅ音更 指定居宅介護支援事業所

1. 重点推進課題の実施報告

あんじゅ音更指定居宅介護支援事業所

利用者様・ご家族が望む生活を実現するため、心身の状況や病状の理解、利用者様に影響を与えるその他の因子などを把握し、保険・医療・福祉サービス事業所とその情報を共有し、連携することで、利用者様に適したサービスが行われるようなケアマネジメント業務を行う。

《重点推進課題》

1. 事業所内勉強会や外部研修等を通じて、介護支援専門員の立場と役割を再確認し、利用者様一人ひとりがその人らしく地域で暮らしを継続していくためのケアマネジメントを検討し、提供する。
《中期経営計画 (1)(2)(4)》

【指標・評価方法】

- ① 独居高齢者やターミナル期の利用者様など、地域で生活を継続するにあたり、困難な状況が想定される事例について、適切なアセスメントのもと、事業所・関係機関等と連携し、ケアマネジメントを実践する。
- ② 日常的に介護等を行っている児童や、障害者、生活困窮者、難病患者等、高齢者以外の対象者への支援に関する知識等の事例検討、研修等に参加し、多様化・複雑化している課題に対応する能力向上を目指す。
- ③ BCP の周知と年1回以上、BCP発動を想定したシミュレーション・研修会を実施する。災害等発生時に地域において早期に安全な暮らしが送ることができるよう、利用者様・ご家族・行政とともに対策を検討していく。

【結果】

- ① 利用者様の心身の状況や生活状況を勘案し、利用者様やご家族の意向を尊重した上で、住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう、利用者様の立場に立った計画を作成し支援を行った。各事業所、各関係機関等と情報を共有、連携することで困難な状況にも対応することができている。
- ② 毎週開催している居宅会議において事例検討会を実施。独居認知症、ヤングケアラー、障害者、生活困窮者、難病患者における課題を明確化し検討、各種制度やサービスの情報共有を行い、各ケアマネジャーが状況に合わせて適切な判断や対応をすることができた。避難訓練の参加、感染予防に関する研修会、訓練を実施している。ケアマネ連絡会や各種研修に参加、地域との連携について確認ができ、情報共有や学びの機会とすることができた。

2 居宅介護支援の運営

(1) 事業所の開設

居宅介護支援事業は、介護保険法に基づき平成18年2月1日に開設した。

利用者が要介護状態になった場合、適切でかつ速やかに介護支援を受けることが出来るように、利用者の選択に基づき保健サービス及び福祉サービスが総合的・効率的に提供できるように運営。

概要は、次のとおり

施設 の 名 称 あんじゅ音更 指定居宅介護支援事業所
施設 の 所 在 地 河東郡音更町中鈴蘭元町2番地9
施設 の 種 類 居宅介護支援

(2) 施設職員の配置状況 2025.3.31 現在

		管 理 者	主 任 介 護 支 援 専 門 員	介 護 支 援 専 門 員	計
居 宅	現 員 (人)	1	1 (1)	5	7

※1 ()は兼務。○は非常勤の内数。

※2 基準配置については表記困難な為、現員についてのみ掲載。

(3) 居宅介護支援事業所 相談実件数及び相談内容

電話	来所	訪問	合計
72 件	6 件	3,550 件	3,628 件

介護保険関係						合計
制度全般	認定申請	在宅サービス	施設サービス	保険・利用料等	相談・苦情	
4 件	6 件	80 件	40 件	1 件	3 件	134 件

地域・福祉・医療関係						合計
高齢者福祉	障害制度	通院・入退院	介護予防	地域支援	その他	
17 件	17 件	0 件	36 件	0 件	3 件	73 件

(重複掲載)

(4) 介護度別 居宅介護サービス計画作成状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	前年合計
4月	4.3 件	5.3 件	107 件	52 件	18 件	12 件	4 件	202.6 件	229.0 件
5月	4.7 件	5.0 件	102 件	57 件	17 件	11 件	4 件	200.7 件	238.5 件
6月	5.0 件	4.3 件	106 件	56 件	14 件	9 件	3 件	197.3 件	237.0 件
7月	5.0 件	4.7 件	110 件	51 件	18 件	7 件	4 件	199.7 件	233.0 件
8月	5.3 件	4.7 件	109 件	52 件	20 件	5 件	4 件	200.0 件	224.0 件
9月	5.0 件	4.7 件	110 件	53 件	16 件	4 件	3 件	195.7 件	217.0 件
10月	5.7 件	4.3 件	110 件	53 件	16 件	8 件	4 件	201.0 件	212.5 件
11月	6.0 件	4.7 件	110 件	52 件	15 件	9 件	4 件	200.7 件	212.5 件
12月	6.3 件	5.0 件	113 件	49 件	20 件	10 件	3 件	206.3 件	206.0 件
1月	5.7 件	5.7 件	110 件	46 件	18 件	9 件	5 件	199.4 件	205.0 件
2月	5.3 件	6.0 件	106 件	44 件	18 件	8 件	6 件	193.3 件	205.0 件
3月	6.3 件	6.0 件	108 件	45 件	22 件	10 件	6 件	203.3 件	204.5 件
合計	64.6 件	60.4 件	1,301 件	610 件	212 件	102 件	50 件	2,400.0 件	2,624.0 件

(5) 苦情受付件数と主な内容

3 件				
部門	苦情申出者	内 容	第3者委員等の報告	結果
居宅	一般企業	利用者の情報を訪問介護事業所へFAXするところ、誤って一般企業へ誤送信した。 対応策 ⇒ 施設長・部門長・副主任で申出者のところへ行き謝罪及び資料を回収。また当該利用者へも状況を説明し謝罪し理解を得た。	無	解決
居宅	ご家族	入院後に関する担当ケアマネージャーの対応について、説明が不十分であるとの内 部門長・担当ケアマネージャーでご家族との面談をし、入院後については病状や今後の方向性についての窓口は、医療ソーシャルワーカーに確認するように伝え理解を得た 対応策 ⇒	無	解決
居宅	利用者ご家族	担当のケアマネージャーを変更してほしい。早くサービス調整してほしいが、訪問調整の対応が遅く不信感を招いた。 対応策 ⇒ 部門長より謝罪し他事業所を紹介した。また事業所内で苦情内容を共有し、今後の対応について検討した。	無	解決

(6) 介護事故件数

	誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車 による事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
居宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※事故に至っていない「ヒヤリ・ハット」を含む件数を計上しております。

(重複掲載)

(7) 地域における公益的な取組

介護支援専門員現場実習事業による実習生受け入れ 本年度2名実績
自立支援型個別ケア会議への参加及び事例提供(音更町地域包括支援センターロータス音更/らんらん 各包括主催)

老 健 音 更

介護老人保健施設 あんじゅ音更
あんじゅ音更(介護予防)通所リハビリテーション事業所
あんじゅ音更(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

1. 重点推進課題の実施報告

(1)介護老人保健施設 あんじゅ音更

利用者様が、住み慣れた環境(地域)において、笑顔で自立した生活を送ることができるよう、個々に合わせたリハビリやレクリエーション、軽作業、季節ごとの行事などの活動を提供し、生活機能の維持・向上を図り、老人保健施設の役割である在宅復帰・在宅療養支援の機能を果たしていく。

《重点推進課題》

1. 老健施設の役割を踏まえた活動内容の見直し 《中期経営計画(1)》

入所者様のできる事が1つでも増えるよう各階の活動内容の見直しやケアカンファレンスでの各職種の意見を通じ、生活の中にリハビリを組みながら機能の維持・向上を図る。

【指標・評価方法】

- ① 業務改善会議の中で、業務のスリム化を図ると共に日中の活動プログラムを見直す。
- ② ケアカンファレンスでは「できている事に対し、可能な限り続けられるための視点」「できそうなことに対し、できるようになるための視点」「できない事に対し、できそうなことやできる事につなげられる視点」を踏まえて評価を行い支援内容の検討を行う。
- ③ 日常生活で実施できるリハビリや自主訓練を各職種で検討し実施する。

【結果】

- ① 立ち上がりが困難な方でも参加できる「座って行える体操」や「脳トレ」の種類を増やし、日中の活動プログラムの中に取り入れていった。その他、調理レクリエーションでは作りたい物の候補を挙げ、入所者様に投票いただき、その結果を踏まえて行事内容を決める新しい取り組みも導入し、入所者様が楽しみを持って活動プログラムに参加をされていた。
- ② 日時を決めて行うカンファレンスの開催が職員の出勤状況等により、全ての職種を招集することが難しく、書面カンファレンスの開催が増え、話し合う機会が少なかった。しかし、老健施設のリハビリ・在宅復帰などの役割を踏まえ、自立支援等にむけた取り組みができる可能性を一つも見つけるためにはケア内容の協議が必要不可欠であり、次年度においてはミニカンファレンスを随時開催できる仕組みを導入し、入所者様の日々の変化を感じ必要な時に必要な内容を話し合っていけるような方針へ切り替えていきたい。
- ③ 歩行器歩行に転換できそうな入所者様への歩行訓練をリハビリ職員以外の職種も日々の生活の中で実施するなど、多職種が連携しながら関わりもち機能回復を目指すことができた。また、今まで職員が全て支援していた入浴後の着替えの用意や調理レクリエーションでの包丁の使用など、入所者様を個別評価し、できる方には自ら残存機能を活用し実践していただくなどの生活リハビリを積極的に導入していった。

今後も日常の中でできる生活リハビリを増やしていけるよう検討・実施していく。

2. 安定した入所率の確保

《中期経営計画(5)》

事前に入所判定会議を済ませ空所が出た際にすぐに入所対応を行い、入所率の安定化を目指す。

【指標・評価方法】

- ① 今年度は94%を目標に施設全体で共有する。
- ② 空所情報案内の活用と定期的に医療機関・居宅介護事業所へ申込み者数の状況をお知らせする。
- ③ 申し込みの時点で「即入所希望者」「待機者」の2グループに分けて管理し、優先順位をつけて素早く面談を実施。退所後の空床期間を短縮できるように、事前に入所判定会議を行う。

【結果】

- ① 4月、8月、12月から1月にかけて新型コロナウイルスへの感染予防対応を強いられ、収束までの間、新規入所を一部止めざるを得ない時期もあったが、1年間の平均稼働率を94.66%まで上昇させることができ、目標である94%を達成することができた。
- ② 年度をとおして十勝管内の老健施設で共有している空所情報を確認した結果、多くの施設に空所があり、待機者が少ない状況が目立っている。当施設においても同じような状況が当てはまり、多くの待機者を確保するのは非常に困難な状況である。
そのため、相談を受けてから入所までの期間を短くすることが安定した稼働確保に必要となっていると思われ、相談員の新規入所までの対応にはスピード感をもつことを意識しながら新規入所者の獲得に努めた。
- ③ 新規入所相談を受けた時点で優先順位をつけ、早急に面談に行き、事前に入所判定会議を済ませ待機者を準備し、空床(入所者の退所等)から短期間で新規入所の受入れを行えるよう努めた。今後も安定した稼働には必要な事であり継続して取り組んでいきたい。

あんじゅ音更(介護予防)通所リハビリテーション事業所

自立支援を念頭におき、心身機能の維持回復を図る通所リハビリテーションの役割を踏まえ、リハビリテーションの適正評価を行いながら、住み慣れた地域や自宅で継続した生活が送れるよう支援を行っていく。

又、業務刷新への取り組みを継続することで、さらなる業務改善を図り、新たに確保した時間を利用者様へ還元することを目指す。

《重点推進課題》

1 リハビリ評価尺度の運用促進

《中期経営計画 ①》

現在、リハビリ職員とマンツーマンで行う「個別リハビリ」、介護職員が付き添い指導する「リハ補助」、決められたメニューを利用者様自身でこなして頂く「自主訓練」と段階的にリハビリを提供している。新たに作成したリハビリ評価尺度を運用することで、定期的且つ多角的にリハビリ内容を評価し、利用者様の身体機能や生活ニーズに合わせた適切なリハビリが提供できる体制を構築する。

【指標・評価方法】

- ① 新たに作成した評価尺度を用いて、3か月に1回、現状のリハビリ提供の整合性を評価するためのミニカンファレンスを開催し、評価内容を記録に残す。
- ② 「リハ補助」に登録されている利用者様の人数が偏っているため、利用者様への適切な移行評価の説明を行いつつ、「自主訓練」へ移行する人数をさらに増加し、自主的なリハビリテーション実施へと繋げていく。

【結果】

- ① ミニカンファレンスの開催回数は年間で23回。利用者様総数は78名のため、開催実績は3割弱に留まる結果となった。ただ、3割弱とはいえミニカンファレンス内で介護・リハビリ・相談員の多角的な視点で様々な意見交換を行い、リハビリ内容を評価・修正できたことは進歩であると考え。課題としては、新たに作成した評価尺度をうまく活用できず、ミニカンファレンス内でも評価尺度を活用した会議進行が不十分に終わってしまったため、評価尺度をより活用できるものへと修正していきたい。
- ② 令和6年4月時点で「リハ補助」対象者71名、「自主訓練」対象者20名。
令和6年9月末時点で「リハ補助」対象者59名、「自主訓練」対象者28名。
令和7年3月末時点で「リハ補助」対象者61名、「自主訓練」対象者17名で推移。
上半期では自主訓練への移行者微増できたが、下半期ではその流れに乗ることができなかった。大きな要因としては、主軸で進めてきたリハビリ主任が異動となり、通所を担当するリハビリ担当者の自主訓練移行スピードが滞り、適切な評価や移行判断にもかなりの時間を要する形となった事が結果に繋がったものと考え。

2 業務刷新に向けた取り組み

《中期経営計画 ⑦》

記録の電子化を主軸とした業務改善に取り組んできたが、まだまだ見直す点や利用者様へ還元できる点など考慮の余地がある。介護、リハビリ、相談の各部門が一体となって業務刷新に取り組む事で、地域の皆様に選んで頂けるような通所サービスへとさらに進化する。

【指標・評価方法】

- ① 記録の充実化を図る観点から、定期的に勉強会を開催し、職員ひとり一人の記録能力の向上に向けたアプローチを行う。
- ② 「個別運動メニュー」がマンネリ化しないよう、半年に1度、新たな運動メニューの発案及び改善検討を行う。
- ③ 新型コロナウイルス感染症が蔓延して以降、外出行事が実施できていなかったため、行事再開を目指す。但し、「飲食」を目的とした行事の実施では無く、買い物を通じてIADL能力の評価を目的とした外出行事を企画し、実践していく。

【結果】

- ① 定期的な勉強会の開催までには至らなかったが、毎月のデイケア会議内にて介護主任や相談員より、具体例を出し、記録内容の脆弱性に触れ、修正するよう指導した。指導を受け、早々に修正できた職員もいたが、改善出来ない職員もあり、個々人で記録能力にかなりの差があることが分かった。
- ② 上半期にはYouTubeにて職員が実施する音楽体操の動画を導入・実践した。下半期には間違い探しや穴埋め問題の動画を作成し、導入・実践した。利用者様からは新しい動画に対する評判は上々で、特に音楽体操においては見慣れた職員が映っている事で、「親近感を感じながら楽しく体操に取り組むことができた」との声を頂いた。
- ③ 9月下旬～10月に「道の駅おとふけ」「柳月スイートピアガーデン」への外出行事を再開することができた。道の駅や柳月での買い物の機会を通じ、店舗内での移動能力評価や支払い能力の評価など、普段の通所では評価できない視点での情報収集を行うことができた。

あんじゅ音更(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

生活機能の維持・向上のための個別リハビリを行う事に加えて、自主訓練や生活の中で出来る活動の提案及び定着を図っていくことで、住み慣れた家と地域で、利用者様、ご家族が笑顔で在宅生活を続ける事ができるよう支援する。

《重点推進課題》

1 継続した在宅生活への支援

《中期経営計画(1)(2)》

利用者様の機能・能力、日常生活や家屋状況を把握し、適切なリハビリテーションプログラムを立案・実行する事で、安心安全な生活を送れるよう支援する。個別訓練に偏った関わりから脱却するため、訪問リハビリ以外の時間をどう過ごして頂くかマネジメントすることにも重点を置き、個々に合わせた自主訓練メニューを行って頂く事や、他サービスを利用している方についてはその事業所とも連携を取り運動機会を増やすことで効果的に心身機能の維持向上に繋がるよう支援する。

【指標・評価方法】

- ① 医師の診察・指示のもと、利用者様個々の状態に合わせたリハビリテーションプログラムを作成・実施し、心身機能の維持・向上を図る。また利用者様やご家族の在宅生活を営む上での希望と、家屋環境を踏まえたリハビリテーションプログラムを作成し、実際の生活に即した訓練を提供する。
- ② 自主訓練メニューの提供とそのメニューを継続して行って頂けるように支援することや、他サービスも併せて利用している方についてはその事業所との連携を図り、訪問リハビリテーション以外の時間にも訓練を行う時間を持っていただくことで効果的に心身の維持向上を図っていく。
- ③ 3カ月ごとにリハビリテーション会議を開催し、利用者様とご家族、医師、担当リハビリ職員でリハビリテーションの進捗状況の確認や今後の方針について情報共有を行う。また訪問リハビリテーションから他の居宅系サービスへの移行など現状に適したサービスへの切り替えも検討する。必要に応じて関係機関へ会議の内容を伝達し、情報共有を図る。
- ④ 年1回、利用者様・ご家族へのアンケートを実施し、リハビリテーションの満足度や職員の対応、態度等について意見を聞き、今後の業務に活かす。

【結果】

- ① 利用者様の希望や心身機能、家屋環境を踏まえてリハビリテーションプログラムを作成しそれに基づいてリハビリテーションを実施できた。訪問リハビリテーションはご自宅でのご本人の動きを確認できるので、実際の生活に合わせた訓練を行う事が出来た。
- ② 自主訓練メニューは継続して提供している。他事業所を利用している利用者様には、事業所と連携し運動メニューをお伝えし、運動メニューを実施してもらったが、それについての評価検討が行えていなかったため、定期的に実施状況等を確認するなどの連携体制については来年度以降の課題である。

③ リハビリテーション会議を定期的に行い、利用者様とご家族、医師、担当リハビリ職員で、利用者様の心身機能やリハビリテーションの進捗状況、今後の方針を話し合い情報を共有している。ケアマネージャーにも毎月利用者様の状況報告をして情報を共有している。

利用者様の状況に合わせて、訪問リハビリテーションから他の居宅系サービスへの移行の提案も行っているが、他のサービス移行には繋がらなかった。

④ 利用者様・ご家族へのアンケートについては、受持ち件数が少ないため今年度は見合わせた。

2 介護老人保健施設・(介護予防)短期入所療養介護・

(介護予防)通所リハビリテーション・(介護予防)訪問リハビリテーションの運営

(1) 施設の開設

第二種社会福祉事業としての老人保健施設の設置については、介護保険法（平成9年法律123号）第94条の第1項の規定に基づき、平成16年4月7日付で北海道知事に対し設置許可申請を行い、平成16年4月23日付（十保保第153号-1号指令）で許可を受けた。

平成16年5月1日付で「老人保健施設事業開始届」を北海道知事に提出し受理された。併せて、デイケアサービス利用定員20名の開始も受理された。

また、平成18年1月1日より事業拡大の為、通所利用定員30名に変更した。
平成21年8月20日付けで介護保険法第70条第1項の規定に基づく同法第41条第1項本文の指定居宅サービス事業者、並びに同法第115条の2第1項の指定に基づく同法第53条第1項本文の指定介護予防サービス事業者として指定され、訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーションのサービスを平成21年8月25日より開始した。

概要は、次のとおり

施設名称	介護老人保健施設 あんじゅ音更
施設の所在地	河東郡音更町中鈴蘭元町2番地9
施設の種類	介護老人保健施設 (介護予防)短期入所療養介護 (介護予防)通所リハビリテーション (介護予防)訪問リハビリテーション
入所定員	100名(短期入所療養介護・定員10名、ただし空床利用)
通所定員	30名(1日当たり)

(2) 施設職員の配置状況

2025.3.31現在

		施設長 (医師・管理者)	事務 長	事務 員	支 援 相 談 員	介 護 職 員	看 護 職 員	管 理 栄 養 士	セラ ピ スト	介 護 支 援 専 門 員	介 護 ア シ ス タ ン ト	介 助 員	運 転 手	用 務 員	夜 間 警 備 員	調 理 員	計
入 所	基準数 (人)	1			1	24	10	1	1	1							39
	現員 (人)	1 (1)	1	2	4 (4)	38 ⑧	15 ⑥	2 (2)	8 (8)	4 (4)	7 ⑦	5 ⑤		1 ①	3 ③	委 託	91 (19) 29
通 所	基準数 (人)	1				3			1								5
	現員 (人)	1 (1)			1	10 ③		2 (2)	8 (8)		1 ①		2 ②			委 託	25 (10) ⑥
訪 問	基準数 (人)								1								1
	現員 (人)								8 (8)							委 託	8 (8)

* ()は兼務。○は非常勤の内数。

(3)行事実施状況

月	実施日	内 容	場 所	参加人数
4月	各誕生日	誕生会	各階食堂	11名
	24日	お寿司行事(2階)	2階食堂	48名
	25日	お寿司行事(3階)	3階食堂	46名
5月	各誕生日	誕生会	各階食堂	9名
	24日	開設20周年記念食事会	2階3階食堂	95名
6月	各誕生日	誕生会	各階食堂	7名
	26日	季節の行事(餃子作り)	2階食堂	50名
	27日	うどん作り	3階食堂	47名
7月	各誕生日	誕生会	各階食堂	7名
	24日	夏まつり(2階)	2階食堂	49名
8月	各誕生日	誕生会	各階食堂	7名
	8日	スイカ割(3階)	3階食堂	48名
	14日	季節のレクリエーション(2階)	2階食堂	44名
	27日	アイスクリーム行事(3階)	3階食堂	48名
9月	各誕生日	誕生会	各階食堂	5名
	20日	敬老祝賀会(3階)	3階食堂	49名
	20日	敬老会(2階)	2階食堂	49名
	25日	おにぎり作り(2階)	2階食堂	48名
10月	各誕生日	誕生会	各階食堂	5名
	21日	寿司行事(3階)	3階食堂	49名
	23日	寿司行事(2階)	2階食堂	42名
11月	各誕生日	誕生会	各階食堂	0名
	11日	調理レク(カレー・ふかし芋(3階)	3階食堂	48名
	13日	ジャガイモ料理(芋団子) (2階)	2階食堂	49名
12月	各誕生日	誕生会	各階食堂	2名
	23日	クリスマス会.運動会(3階)	3階食堂	50名
	25日	クリスマス会(2階)	2階食堂	47名
	19~21日	入浴行事(ゆず湯)	2階浴室	74名
1月	各誕生日	誕生会	各階食堂	11名
	20日	クレープ作り(3階)	3階食堂	50名
	28日	調理レク お汁粉 (2階)	2階食堂	45名
2月	各誕生日	誕生会	各階食堂	9名
	3日	節分 豆まき (3階)	3階食堂	47名
	5日	節分 豆まき (2階)	2階食堂	45名
	26日	鍋行事(2階)	2階食堂	47名
	27日	鍋行事(3階)	3階食堂	48名
3月	各誕生日	誕生会	各階食堂	10名
	3日	調理レク(関西風桜餅・甘酒) (3階)	3階食堂	47名
	26日	調理レク 喫茶店(2階)	2階食堂	45名
	27日	尻相撲大会(3階)	3階食堂	46名

(通所)

月	実施日	内 容	場 所	参加人数
4月	各誕生日	誕生会	デイルーム	8名
5月	各誕生日	誕生会	デイルーム	9名
	24日	昼食行事(開設記念行事食)	デイルーム	29名
6月	各誕生日	誕生会	デイルーム	8名
7月	各誕生日	誕生会	デイルーム	2名
	17日	調理レク(お汁粉作り)	デイルーム	26名
8月	各誕生日	誕生会	デイルーム	4名
9月	各誕生日	誕生会	デイルーム	3名
	9~14日	敬老会(表彰者16名)	デイルーム	145名
	26日	昼食行事(やきいも作り)	デイルーム	26名
10月	各誕生日	誕生会	デイルーム	9名
	1~17日	外出行事	道の駅おとふけ・柳月スイートピアガーデン	49名
11月	各誕生日	誕生会	デイルーム	8名
	19日	調理レク(餃子作り)	デイルーム	24名
12月	各誕生日	誕生会	デイルーム	6名
	21日	入浴行事(ゆず湯)	お風呂場	29名
	23日~28日	クリスマス会&忘年会	デイルーム	138名
1月	各誕生日	誕生会	デイルーム	12名
	20日	昼食行事(海鮮ちらし)	デイルーム	21名
2月	各誕生日	誕生会	デイルーム	8名
3月	各誕生日	誕生会	デイルーム	9名
	21日	昼食行事(たこやき作り)	デイルーム	20名

(4)利用者の状況

ア. 年齢別構成状況(人)

		未満	65	70	75	80	85	90	95	合計	最低年齢	最高年齢	平均年齢	前年平均
		5	5	5	5	5	5	5	以上					
一般棟	男	1	1	0	0	2	2	1	1	8	64	96	83.1	84.0
	女	0	1	2	2	4	8	10	6	33	66	102	87.4	87.5
	計	1	2	2	2	6	10	11	7	41			86.6	86.8
認知症専門棟	男	0	0	1	0	3	1	3	0	8	74	92	84.6	84.6
	女	0	0	1	4	4	5	13	8	35	71	106	89.6	88.5
	計	0	0	2	4	7	6	16	8	43			88.7	87.9
合計		1	2	4	6	13	16	27	15	84			87.7	87.4

イ. 要介護度別利用者状況(延人数)

性別	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	平均	前年平均
男	721	1,533	922	1,065	1,228	5,469	3.10	2.65
女	6,654	7,458	3,559	5,333	3,995	26,999	2.72	2.79
計	7,375	8,991	4,481	6,398	5,223	32,468	2.79	2.77

ウ. 介護保険者別構成状況(人)

	帯広市	音更町	士幌町	上士幌町	清水町	池田町	本別町	鹿追町	広尾町	芽室町	陸別町	豊頃町	幕別町	合計
男	3	12	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	16
女	13	51	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	68
計	16	63	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	84

エ. 入所者所得段階

	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階	合計
男	1	1	3	3	8	16
女	5	8	14	18	23	68
計	6	9	17	21	31	84

オ. 健康保険加入状況(人)

	後期高齢者医療制度	国民健康保険	社会保険	組合健康保険	生活保護	合計
男	13	2	0	0	1	16
女	62	1	0	0	5	68
計	75	3	0	0	6	84

カ. 在所者利用期間別構成状況(人)

	1年未満	1~2	2~3	3~4	4~5	5~6	6~7	7~8	8~9	9~10	10年以上	合計
男	10	4	1	0	0	0	0	0	0	0	1	16
女	35	11	6	5	4	0	0	2	0	2	3	68
計	45	15	7	5	4	0	0	2	0	2	4	84

キ. 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)

	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
男	0	0	0	0	1	6	3	5	1	16
女	0	0	2	4	24	11	22	2	3	68
計	0	0	2	4	25	17	25	7	4	84

ク. 認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	合計
男	1	0	0	2	10	1	2	0	16
女	2	2	4	13	18	21	7	1	68
計	3	2	4	15	28	22	9	1	84

ケ. 通院状況(延人数)

	内科	精神科	循環器科	呼吸器科	外科	総診	整形外科	形成外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	婦人科	眼科	耳鼻科	神経内科	口腔外科	合計
男	13	10	2	0	0	2	1	0	8	16	4	1	8	5	9	0	78
女	37	30	16	0	25	5	56	0	6	24	10	1	35	2	0	0	247
計	50	40	18	0	25	7	57	0	14	40	14	1	43	7	9	0	325

(重複掲載)

コ. 往診状況(延人数)

	内科	歯科	眼科	皮膚科	合計
男	0	14	0	0	14
女	0	58	0	0	58
計	0	72	0	0	72

(重複掲載)

サ. リハビリ実施状況(延人数)

		入所	通所	合計
内 容	集団活動 体操	0	0	0
	個別訓練 機能訓練・ADL訓練・嚥下訓練・言語訓練(入所:ショート ステイの個別訓練含む) 知的活動(パズル・計算・語想起等)	13,091	1,861	14,952
合計		13,091	1,861	14,952

シ. 入所・短期利用状況

利用 状況	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月													合計	前年合計
	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	366
入所利用延人数	2,652	2,799	2,749	2,801	2,727	2,705	2,731	2,627	2,718	2,777	2,489	2,693	32,468	31,341	
短期利用延人数	176	171	134	181	186	134	170	227	244	126	108	226	2,083	1,502	
1日平均人数	94.27	95.81	96.10	96.19	93.97	94.63	93.58	95.13	95.55	93.65	92.75	94.16	94.66	89.73	
入所率(%)	94.27	95.81	96.10	96.19	93.97	94.63	93.58	95.13	95.55	93.65	92.75	94.16	94.66	89.73	

ス. 入退所状況(人)

入 所	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月													合計	前年合計
	家庭	8	6	6	4	7	6	6	11	8	7	2	8	79	66
病院	5	5	3	2	3	4	3	6	4	3	4	3	45	67	
他施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	13	11	9	6	10	10	9	17	12	10	6	11	124	133	
退 所	家庭	9	9	3	9	6	5	9	8	7	0	5	9	79	
	病院	4	2	1	3	1	1	5	8	3	3	3	5	39	
	他施設	0	0	1	1	0	1	2	0	0	1	0	0	6	
	死亡	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	1	6	
合計	14	11	5	13	7	7	16	16	10	7	9	15	130	129	

セ. 入所待機者状況(人)

	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男			6	3	6	3	1	19
女			4	1	2	2	1	10
計			10	4	8	5	1	29

ソ. 入所者・利用者減免状況

	入所減免額			(予防)短期減免額			(予防)通所減免額					合計 (円)
	通常減免		1件当平均 (円)	音更町減免		1件当平均 (円)	通常減免		音更町減免他		1件当平均 (円)	
	件数	金額(円)		件数	金額(円)		件数	金額(円)	件数	金額(円)		
4月	6	241,100	40,183	1	23,526	23,526	0	0	2	2,164	1,082	266,790
5月	6	244,900	40,817	1	7,641	7,641	0	0	2	6,239	3,120	258,780
6月	5	217,250	43,450	2	16,122	8,061	0	0	2	6,239	3,120	239,611
7月	5	224,470	44,894	1	8,346	8,346	0	0	2	7,055	3,528	239,871
8月	4	176,340	44,085	1	2,572	2,572	0	0	2	6,784	3,392	185,696
9月	4	170,720	42,680	1	10,418	10,418	0	0	2	6,437	3,219	187,575
10月	4	176,340	44,085	0	0	0	0	0	2	6,479	3,240	182,819
11月	5	210,860	42,172	3	41,605	13,868	0	0	2	2,644	1,322	255,109
12月	5	219,860	43,972	4	53,080	13,270	0	0	2	2,515	1,258	275,455
1月	5	220,870	44,174	2	13,014	6,507	0	0	1	1,160	1,160	235,044
2月	5	197,760	39,552	0	0	0	0	0	1	1,160	1,160	198,920
3月	5	218,180	43,636	3	43,476	14,492	0	0	2	3,132	1,566	264,788
合計	59	2,518,650	513,700	19	219,800	108,701	0	0	22	52,008	27,164	2,790,458

タ. (介護予防)通所実施状況

	登録人数	開放日数	利用人員	一日平均人数	利用率(%)	介護度別延べ人数(人)							サービス状況(回)							
						要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	入浴	入浴(予)	食事	リハマネロ(イ)	短期集中リハ	認知症短期	運動機能	送迎減算
4月	92	26	709	27.27	90.90	23	61	311	178	101	18	17	522	49	708	0	0	0	0	11
5月	97	27	781	28.93	96.42	29	56	328	224	104	18	22	575	51	781	0	0	0	0	7
6月	95	25	734	29.36	97.87	27	51	309	207	109	16	15	544	46	734	0	0	0	0	10
7月	91	27	749	27.75	92.47	28	56	306	226	109	18	8	552	59	749	0	0	0	0	5
8月	92	27	776	28.75	95.81	33	51	331	218	125	10	8	570	57	776	0	0	0	0	9
9月	89	25	710	28.40	94.67	29	37	300	209	120	15	0	535	38	710	0	0	0	0	5
10月	89	27	747	27.67	92.23	37	46	324	222	101	17	0	550	46	746	0	0	0	0	7
11月	87	26	687	26.43	88.08	28	37	310	189	98	14	9	498	44	686	0	0	0	0	11
12月	89	25	627	25.08	83.60	30	33	284	181	66	18	14	459	42	627	0	0	0	0	17
1月	79	25	565	22.60	75.34	22	38	269	139	62	11	24	417	38	564	0	0	0	0	41
2月	77	23	499	21.70	72.32	21	33	234	117	56	16	22	362	31	499	0	0	0	0	11
3月	78	26	558	21.47	71.54	22	36	257	143	52	21	27	413	33	558	0	0	0	0	12
合計	309	8,142	26.35	87.84	329	535	3,563	2,253	1,103	192	166	5,997	534	8,138	0	0	0	0	146	
昨年同期	311	8,061	25.92	86.40	347	748	3,940	1,734	904	259	129	6,069	650	8,061	0	8	0	15	113	

チ. (介護予防)訪問リハビリテーション実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	2	1	2	1	1	1	0	1	0	1	1	2	13
()内は予防	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(0)	(0)	(7)
延べ人数	10	2	6	8	7	5	8	6	4	3	2	6	67
昨年同期	2	5	5	3	5	6	9	13	12	12	13	12	97

(5) 苦情受付件数と主な内容

1 件		内 容										第3者委員等の報告	結果
部門	苦情申出者												
入所	ご家族	看護職員からご家族への電話対応に対する苦情										無	解決
		対応策 ⇒ 相談員より謝罪し一応の理解は得られた。											

(6) 介護事故件数

重大事故 (行政報告)		誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計	
	入所	0	11	2	1	4	1	0	0	0	0	0	0	1	20
	短期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	デイケア	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
	合計	1	12	2	1	4	1	0	0	0	0	0	0	2	23

事故 (施設内処理)		誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	6	2	44	29	16	21	0	0	2	0	0	6	126
	短期	0	0	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	デイケア	1	0	6	0	3	0	0	0	0	0	0	1	11
	合計	7	2	52	35	19	21	0	0	2	0	0	7	145

ヒヤリハット		誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	2	16	40	23	0	1	2	0	1	0	1	1	87
	短期	0	2	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	6
	デイケア	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	合計	2	18	42	25	0	1	2	0	2	0	1	2	95

(7) 慰問・ボランティア状況

	名前	内容	来所日	延べ人数
慰問 関係	佐藤様・長尾様	ヴァイオリン・トランペット演奏会	2024年11月17日	2名
			〃 (個人)	2名
			〃 合計	2名

(8) 実習生受入れ状況

受入期間	人数	日数	延べ人数	学校名	学部・学科	実習内容
2024. 8. 29 ~ 2024. 8. 31	2	3	6	帯広大谷短期大学	社会福祉科1年	介護実習 I
2024. 10. 1 ~ 2024. 10. 3	3	3	9	帯広大谷短期大学	看護学科1年	老年看護実習 I
合計	5	6	15			

(9) 地域における公益的な取組(事例について自由記述)

- | | |
|-------------------------------------|------------|
| ①包括支援センター主催の自立支援型個別ケア会議に管理栄養士を派遣 | 2024年7月18日 |
| ②音更町社会福祉協議会の音更福祉フェスタ2024 開催準備ボランティア | 2024年11月2日 |
| ③RUN伴北海道2024 とから 企画・参加 | 2024年9月28日 |
| ④認知症キツサポーター養成講座 鈴蘭保育園 講師派遣 | 2025年1月22日 |